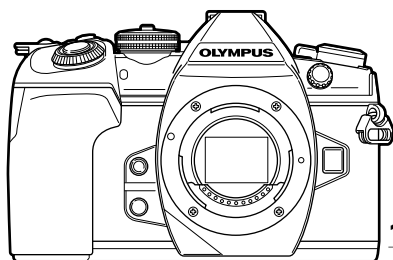


OLYMPUS®

デジタルカメラ

E-M1 Mark II

取扱説明書



もくじ

やりたいこと別かんたん検索

1. 準備する

2. 撮影する

3. 再生する

4. メニューの機能

5. スマートフォンと接続する

6. パソコン・プリンターと接続する

7. ご注意

8. 資料

9. 安全にお使いいただくために

10. ファームアップによる追加・変更

Model No. : IM002

■ オリンパスデジタルカメラのお買い上げ、ありがとうございます。カメラを操作しながらこの説明書をお読みいただき、安全に正しくお使いください。特に「安全にお使いいただくために」は、製品をご使用になる前によくお読みください。またお読みになったあとも、必ず保管してください。

■ ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みになり、海外旅行などの大切な撮影の前には試し撮りをしてカメラが正常に機能することをお確かめください。

■ 取扱説明書で使用している画面やカメラのイラストは、実際の製品とは異なる場合があります。

■ カメラのファームアップにより機能の追加・変更があった場合、記載内容が異なります。最新情報は当社ホームページをご確認ください。

■これは付属のフラッシュに関する、主に北米の方へのお知らせです。

Information for Your Safety

IMPORTANT SAFETY INSTRUCTIONS



When using your photographic equipment, basic safety precautions should always be followed, including the following:

- Read and understand all instructions before using.
- Close supervision is necessary when any flash is used by or near children. Do not leave flash unattended while in use.
- Care must be taken as burns can occur from touching hot parts.
- Do not operate if the flash has been dropped or damaged - until it has been examined by qualified service personnel.
- Let flash cool completely before putting away.
- To reduce the risk of electric shock, do not immerse this flash in water or other liquids.
- To reduce the risk of electric shock, do not disassemble this flash, but take it to qualified service personnel when service or repair work is required. Incorrect reassembly can cause electric shock when the flash is used subsequently.
- The use of an accessory attachment not recommended by the manufacturer may cause a risk of fire, electric shock, or injury to persons.

SAVE THESE INSTRUCTIONS

本書の表記について

本文中、以下の表記を使用しています。

 こんなときは	知っておくと便利なことや役に立つ情報を記載しています。
	関連する情報の参照ページを記載しています。

やりたいこと別かんたん検索	8	各種設定をして使う	40
各部の名称	10	画像の明るさを変えて 撮影する(露出補正)	40
準備する	12	AFターゲットモードを 選択する(AFターゲット設定)	40
同梱品を確認する	12	ピントの位置を自分で決める	41
電池を充電する／入れる	13	顔優先AF / 瞳優先AFを使う	41
カードを入れる	15	拡大枠AF / 拡大AFを使う (スーパースポットAF)	42
レンズを取り付ける	16	感度を変更する(ISO感度)	43
モニターを操作する	17	画像の色合いを調整する (ホワイトバランス)	43
電源を入れる	18	ピントの合わせ方を設定する (AF方式)	44
日時を設定する	19	明るさを測る方法を選ぶ(測光)	46
撮影する	20	露出を固定する(AEロック)	46
撮影時の情報表示	20	連写する／セルフタイマーを使う	47
表示の切り換え	22	シャッター動作時の振動 を防いで撮影する(低振動撮影)	48
情報表示を切り換える	23	シャッター音を立てずに撮影する (静音撮影)	48
静止画を撮る	24	レリーズタイムラグを防いで撮影する (プロキャプチャー撮影)	49
絞り値とシャッター速度を自動で設定 して撮影する(Pプログラム撮影)	26	より解像度の高い静止画を撮影する (ハイレゾショット)	49
絞りを決めて撮影する (A絞り優先撮影)	27	HDR(ハイダイナミックレンジ) 撮影をする	50
シャッター速度を決めて撮影する (Sシャッター優先撮影)	28	スーパーコンパナから設定する	51
絞り値とシャッター速度を自分で決めて 撮影する(Mマニュアル撮影)	29	ホワイトバランスを微調整する (ホワイトバランス補正)	53
長秒時(バルブ/タイム)撮影	30	手ぶれを抑えて撮影する (手ぶれ補正)	54
ライブコンポジット (比較明合成)撮影	31	アスペクト比を設定する	55
カメラまかせで撮影する (iオートモード)	32	撮影データの記録方法を設定する (記録設定)	56
アートフィルターを使う	34	画質を選択する(画質モード)	57
カスタムモード(C1 / C2 / C3)を 使う	36	画質を選択する(画質モード)	58
タッチパネルを使って撮る	36	フラッシュを使って撮影する (フラッシュ撮影)	59
ムービーを撮る	37	フラッシュの発光量を調節する (フラッシュ発光量補正)	61
ムービーモード(映画)を使う	38	画像の仕上がりを設定する (ピクチャーモード)	62
ムービー録画時の静音機能を使う	39	鮮鋭さを微調整する(シャープネス)	63

明暗の差を微調整する (コントラスト).....	63
色の鮮やかさを微調整する(彩度).....	64
画像の階調を微調整する(階調).....	64
モノトーンにフィルター効果をつける (フィルター効果).....	65
モノトーンの調色をする(調色).....	66
i-Finishの効果を調整する(効果).....	66
色の再現方式を設定する (カラー設定).....	67
ハイライト部/シャドウ部の明るさを変 えて撮影する.....	67
ボタン機能を割り当てる (ボタン機能).....	68
画像全体の色味を調整する (カラークリエイター).....	73
マイクリップスを撮る	74
マイクリップスの編集.....	75
スロー/クイック撮影.....	77
再生する	78
再生時の情報表示	78
再生画像情報.....	78
情報表示を切り換える.....	79
撮った画像/ムービーを見る	80
インデックス再生/カレンダー再生.....	81
静止画を見る.....	81
音量の調節.....	82
ムービーを見る.....	83
画像のプロテクト(保護).....	83
画像のコピー(1コマコピー).....	83
画像の消去(1コマ消去).....	84
画像の選択(プロテクト・ 選択コマコピー・選択コマ消去・ 選択コマシェア予約).....	84
画像に転送予約をつける (シェア予約).....	84
音声録音.....	85
静止画をマイクリップスに追加する (マイクリップス追加).....	85
タッチパネルを使う	86
画像を選択する/プロテクトする.....	86

メニューの機能 87

メニューの基本操作	87
撮影メニュー 1 / 撮影メニュー 2を使う	88
カメラの設定を初期値に戻す (リセット).....	88
お気に入りの設定を登録する (カスタム登録).....	89
画像の仕上がりを設定する (ピクチャーモード).....	90
画質を選択する(画質モード).....	90
被写体を拡大して記録する (デジタルテレコン).....	90
カスタムセルフタイマーを設定する (セルフタイマー).....	91
一定時間ごとに自動的に撮影する (インターバル撮影).....	92
条件を少しずつ変化させて撮影する (ブラケット撮影).....	93
複数の画像を重ね合わせて撮影する (多重露出撮影).....	97
台形補正をする/遠近感を強調する (デジタルシフト撮影).....	98
低振動撮影/静音撮影を設定する (低振動/静音撮影).....	99
ハイレゾショットを設定する (ハイレゾショット).....	100
ワイヤレスRCフラッシュ撮影.....	100
動画メニューを使う	101
ムービーに効果をつける.....	103
画質モードを設定する (画質モード).....	103
ムービー撮影の録音の設定をする (ムービー録音).....	104
ICレコーダーによるムービー 音声録音.....	105
再生メニューを使う	106
画像を回転して再生する (回転再生).....	106
画像編集.....	106
ムービーから静止画を保存する (静止画切り出し).....	108
ムービーをトリミングする (トリミング).....	109
全プロテクト解除.....	109
全コマコピー.....	109

■ セットアップメニューを使う.....	110
カードを初期化する (カードセットアップ)	111
全コマを消去する (カードセットアップ)	111
■ カスタムメニューを使う	112
A1 AF/MF	112
A2 AF/MF	113
A3 AF/MF	114
B ボタン/ダイヤル/レバー	114
C1 レリーズ/連写/手ぶれ補正	115
C2 レリーズ/連写/手ぶれ補正	115
D1 表示/音/接続	116
D2 表示/音/接続	116
D3 表示/音/接続	117
D4 表示/音/接続	118
E1 露出/ISO/BULB/測光	118
E2 露出/ISO/BULB/測光	119
E3 露出/ISO/BULB/測光	119
F フラッシュ	120
G 画質/WB/色	120
H1 記録/消去	121
H2 記録/消去	122
I EVF	123
J1 その他	123
J2 その他	124
AEL/AFLモード	125
MFアシスト	125
Fn レバー機能	126
操作画面の表示を選ぶ (Control 表示)	126
情報表示の画面を追加する	128
自分撮りアシストメニューを使って 自分を撮る	130
カメラの画像をテレビで見る	131
フラッシュ発光時のシャッター 速度	132
JPEGの画像サイズと圧縮率の 組み合わせ	132
記録先カードを設定する	133
レンズ情報を登録する	134
ファインダー内表示のスタイルを 選ぶ	135

スマートフォンと接続する 136

■ スマートフォンに接続する	137
■ スマートフォンに画像を 転送する	138
■ スマートフォンからリモート 撮影する	138
■ 画像に位置情報をつける	139
■ 接続方法を変更する	140
■ パスワードを変更する	140
■ シェア予約を解除する	141
■ 無線LAN設定を初期化する	141

パソコン・プリンターと接続する

142

■ カメラをパソコンに接続する	142
■ パソコンに画像を取り込んで 保存する	142
■ ソフトウェアのインストール	143
■ オリンパスデジタルカメラアップデー ターのインストール	143
■ ユーザー登録について	143
■ ダイレクトプリント (PictBridge)	144
かんたんプリントでプリントする	145
カスタムプリントでプリントする	145
■ プリント予約(DPOF)	147
プリント予約する	147
プリント予約を選択して解除する/ すべて解除する	148

ご注意 149

■ 電池/充電器についてのご注意 ...	149
■ 別売のACアダプターを使う	149
■ 海外での使用について	150
■ 使用できるカード	150
■ 画質モード/ファイル容量/ 撮影可能枚数	151
■ 交換レンズについて	152
■ パワーバッテリーホルダー (HLD-9)	153

■ 専用フラッシュ	155
ワイヤレスRCフラッシュ撮影	156
■ 市販のフラッシュについて	157
■ 主なアクセサリについて	157
■ システムチャート	158
■ カメラのお手入れと保管	160
カメラのお手入れ	160
カメラの保管	160
撮像素子のクリーニングと チェック	160
画像処理機能をチェックする — ピクセルマッピング	161
■ アフターサービス	161
資料	162
■ こんなときは?	162
■ エラーコード	165
■ メニュー一覧	168
■ 工場出荷時のカスタムモード の設定	179
■ 仕様	181
安全にお使いいただくために	184
■ 安全にお使いいただくために	184
■ 使用上のご注意	187
■ その他のご注意	188
ファームアップによる追加・変更	191
索引	216

作例写真を使った撮影テクニック

ハウツー グッド ピクチャー


<http://www.olympus.co.jp/jp/imsmsg/webmanual/>

やりたいこと別かんたん検索

撮影について



AFエリアサイズやAF位置を変えたい	▶ AFターゲット選択	41
オートフォーカスの駆動範囲を制限して、より素早くピントを合わせたい	▶ AFリミッター	112
被写体距離の変化に対するAF追従性を調整したい	▶ C-AF追従感度	112
ファインダーを覗きながらタッチでフォーカス位置を変えたい	▶ AFターゲットパッド	113
タッチAFを使いたい	▶ タッチパネルを使う	36
細かい一点にAFを合わせたい	▶ 拡大枠AF / 拡大AF	42
ファインダーのフレームレートを換えたい	▶ フレームレート(高速)	116
光学ファインダーのようなダイナミックレンジで使いたい	▶ OVFシミュレーション	123
シャッター音をさせずに撮影したい	▶ 静音撮影	48
シャッターぶれを軽減したい	▶ 低振動モード / 静音撮影	48
タイムラグなく撮りたい	▶ ブロキャプチャー撮影	49
50M画素相当の解像度で撮影したい	▶ ハイレゾショット	49
バースを補正して撮りたい	▶ デジタルシフト	98
手前から奥までピントの合った写真を撮りたい	▶ 深度合成	96
自動的にピント位置をずらして撮りたい	▶ フォーカスブラケット	95
比較明合成を使った撮影をしたい	▶ ライブコンポジット	31
撮影経過を見ながら長秒時撮影したい	▶ バルブ撮影 / タイム撮影	30
手ぶれを軽減したい	▶ 手ぶれ補正	54
長秒時撮影における固定パターンノイズを低減したい	▶ 長秒時ノイズ低減	119
低照度下の撮影でもファインダーで被写体を確認できるようにしたい	▶ LVブースト	116
2枚のSDカードを同時に使いたい	▶ ダブルスロット	15, 56, 133
水平・垂直を確認しながら撮りたい	▶ 水準器	23

構図を意識して撮影したい	▶ 表示罫線選択(ガイド線表示設定)	117
動画編集に適した撮影モードで撮影したい	▶  ピクチャーモード( 画質設定)	101
外部レコーダーを使用して録音したい	▶ 外部機器連携	105
撮った写真をすぐに拡大してピントを確認したい	▶ Auto  (撮影確認)	110
電池を長持ちさせて撮りたい	▶ 低消費電力撮影	124
電池の使用状況・状態を確認したい	▶ 電池ステータス表示	124

再生／編集について

外部モニターに出力して撮影する	▶ HDMI	118
暗く影になった部分を明るくしたい	▶ 階調オート(JPEG編集)	107
赤目を修正したい	▶ 赤目補正(JPEG編集)	107
4K動画から静止画を切り出したい	▶ 静止画切り出し	108
動画の必要ない部分を削除したい	▶ トリミング	109
スマートフォンに画像を送りたい	▶ スマートフォンに画像を転送する	138
画像に位置情報を付与したい	▶ 画像に位置情報をつける	139

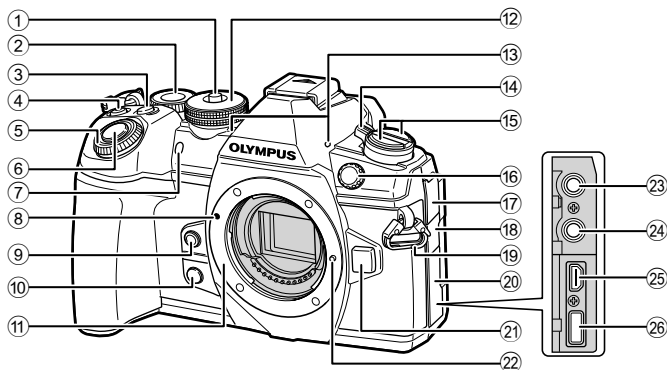
その他

設定した内容を保存したい	▶ カスタム登録	89
メニューの表示言語を切り換えたい	▶ 言語切り換え	110
AF合焦音を鳴らないようにしたい	▶ 電子音	118

その他 基本撮影について

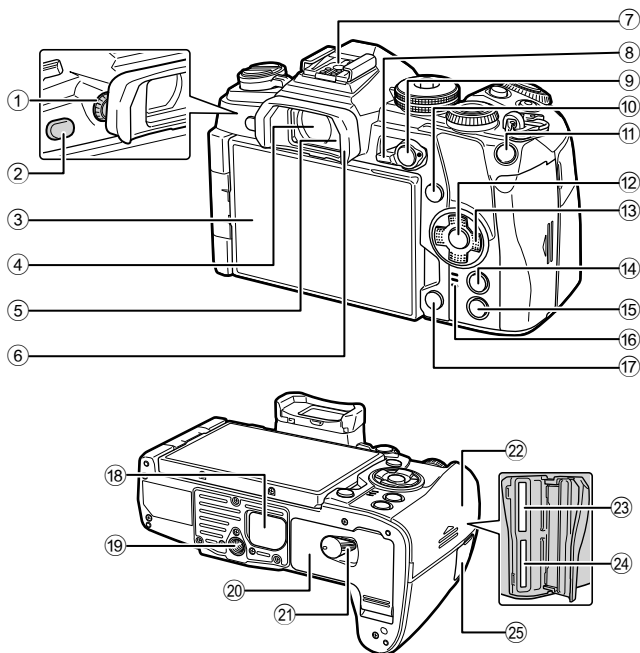
撮るものに合った仕上がりにしたい／モノクロ撮影したい	▶ ピクチャーモード アートフィルター (ART)	62, 90 34
----------------------------	------------------------------	--------------

各部の名称



- | | |
|---|---|
| ① モードダイヤルロックP.24 | ⑭ ON/OFF レバー.....P.18 |
| ② リアダイヤル* (☉)
.....P.26–29, 43, 71, 80, 129 | ⑮ 電源ボタン
AF () (AF / 測光モード) ボタン
..... P.44, 46 |
| ③ Fn2 ボタンP.39, 71 |  HDR (連写 / セルフタイマー / HDR) ボタンP.47, 50, 93 |
| ④  (ムービー) /  ボタン
..... P.37 / P.84 | ⑯ 外部フラッシュ端子.....P.157 |
| ⑤ フロントダイヤル* (☉)
.....P.26–29, 40, 43, 71, 80 | ⑰ マイク端子カバー |
| ⑥ シャッターボタン.....P.25 | ⑱ ヘッドホン端子カバー |
| ⑦ セルフタイマーランプ /
AFイルミネーター P.47, 55 / P.113 | ⑲ ストラップ取り付け部P.12 |
| ⑧ レンズ合わせマーク.....P.16 | ⑳ コネクタカバー |
| ⑨  (ワンタッチホワイトバランス) ボタン
.....P.69 | ㉑ レンズ取り外しボタンP.17 |
| ⑩  (プレビュー) ボタンP.69 | ㉒ レンズロックピン |
| ⑪ マウント(ボディキャップを外してから
レンズを取り付けます。) | ㉓ マイク端子(市販のマイクを接続できます。
φ3.5ステレオミニプラグ)P.105 |
| ⑫ モードダイヤル.....P.24 | ㉔ ヘッドホン端子(市販のヘッドホンを使用
できます。φ3.5ステレオピンジャック) |
| ⑬ ステレオマイクP.85, 104, 108 | ㉕ HDMI端子(タイプD)P.131 |
| | ㉖ USB端子(タイプC)P.105, 142, 144 |

* 本書では、フロントダイヤルやリアダイヤルの操作を☉や☉のアイコンで示しています。



- | | |
|--|---|
| ① 視度調整ダイヤル.....P.22 | ⑭ MENU ボタン.....P.87 |
| ② IOI (LV) ボタン.....P.22, 70 | ⑮ ▶ (再生)ボタン.....P.80 |
| ③ モニター (タッチパネル)
.....P.20, 22, 36, 51, 78, 86 | ⑯ スピーカー |
| ④ ファインダー.....P.20, 22, 135 | ⑰ ⌫ (消去)ボタン.....P.84 |
| ⑤ アイセンサー | ⑱ PBHカバー.....P.153 |
| ⑥ アイカップ.....P.157 | ⑲ 三脚穴 |
| ⑦ ホットシュー.....P.59, 155 | ⑳ 電池カバー.....P.13 |
| ⑧ Fn レバー.....P.26–29, 126 | ㉑ 電池カバーロック.....P.13 |
| ⑨ AEL/AFL ボタン.....P.46, 83, 125 | ㉒ カードカバー.....P.15 |
| ⑩ INFO ボタン.....P.23, 79 | ㉓ カードスロット1 (UHS II 対応).....P.15 |
| ⑪ Fn1 ボタン.....P.41, 80 | ㉔ カードスロット2 (UHS I 対応).....P.15 |
| ⑫ ⊞ ボタン.....P.51, 80, 87 | ㉕ リモートケーブル端子カバー
(リモートケーブル端子).....P.157 |
| ⑬ 十字ボタン*.....P.80 | |

* 本書では十字ボタンの操作を△▽◀▶のアイコンで示しています。

1 準備する

1

準備する

同梱品を確認する

お買い上げの商品には次の付属品が入っています。

万一、不足していたり、破損していた場合には、お買い上げ販売店までご連絡ください。



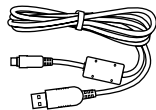
カメラ



ボディキャップ



ストラップ



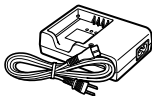
USBケーブル
CB-USB11



フラッシュ
FL-LM3



リチウムイオン電池
BLH-1

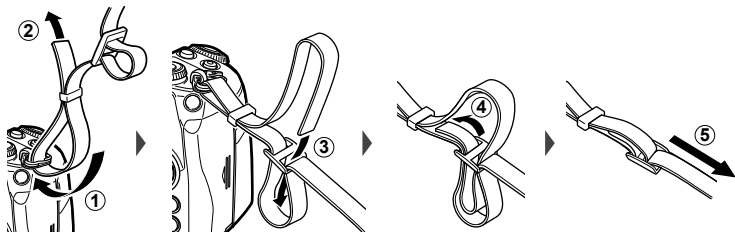


リチウムイオン充電器
BCH-1



ケーブルクリップ
CC-1

ストラップを取り付ける

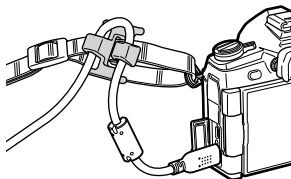


- 同様に逆側も取り付けます。
- 最後にストラップを少し強めに引っ張り、抜けないことを確認してください。

ケーブルクリップを取り付ける

ケーブルクリップにケーブルをとめ、ストラップに取り付けます。

ケーブルクリップはストラップ取り付け部にも取り付けられます。



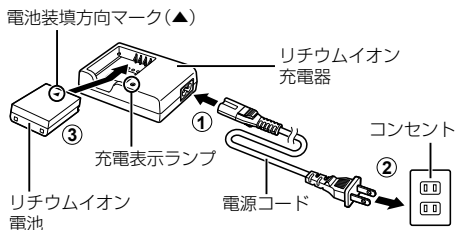
電池を充電する／入れる

1 電池を充電します。

充電表示ランプ

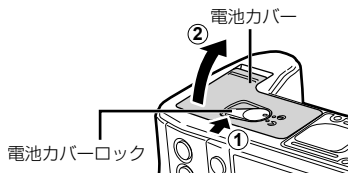
充電中	50%未満	1回/秒 橙点滅
	50%以上 80%未満	2回/秒 橙点滅
	80%以上 100%未満	3回/秒 橙点滅
	充電完了	緑点灯
充電エラー		5回/秒 緑点滅

(充電時間：約2時間)

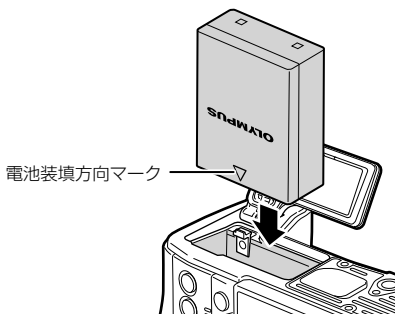


- 充電が完了したら必ず充電器の電源プラグをコンセントから抜いてください。

2 電池カバーを開けます。



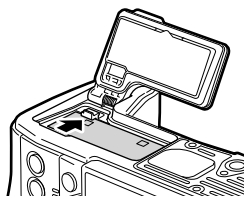
3 電池を入れます。



電池を取り出す

電池カバーを開け閉めする際は、カメラの電源を切ってください。電池を取り出すには、電池ロックノブを矢印の向きに押し、ロックを外してから取り出します。

- カメラから電池を取り出せなくなった場合は無理に取り出さず、当社修理センターまたはサービスステーションまでご相談ください。



- 長時間の撮影には、電池の消耗に備えて予備の電池を用意されることをおすすめします。
- 「電池／充電器についてのご注意」も併せてお読みください(P.149)。

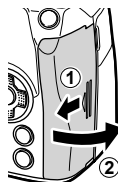
カードを入れる

このカメラで使用できるカードは、SD規格に準拠したSD/SDHC/SDXC/Eye-Fiカード(市販)です。

Eye-Fiカードをお使いのお客様へ

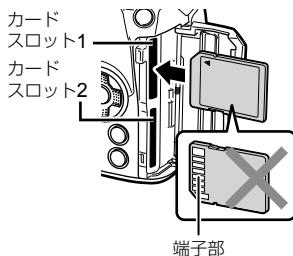
「使用できるカード」(P.150)をよく読んでからお使いください。

1 カードカバーを開けます。



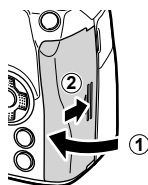
2 カードがロックされるまで差し込みます。

- 撮影データの記録方法は【記録設定】(P.56)に従います。
- 「使用できるカード」(P.150)
- カードの出し入れは電源を切ってから行ってください。
- 破損、変形したカードを無理に入れないでください。カードスロットを破損させる場合があります。



3 カードカバーを閉めます。

- カチッと音がするまでしっかりと閉めます。
- カメラをご使用の際は、必ずカードカバーを閉じてください。

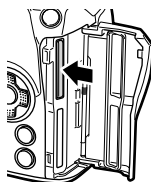


- カードの初回使用時は、必ずこのカメラで初期化してからお使いください(P.111)。
- スロット2 (UHS-I 対応)にUHS-IIカードを入れるとUHS-Iとして動作します。
- Eye-Fiカードは2枚同時に使用できません。

■ カードの取り出し方

差し込まれているカードを押し込むと、カードが出てきます。カードをつまんで取り出します。

- カード書き込み中のマーク(P.21)が表示されている間は、絶対に電池やカードを抜かないでください。

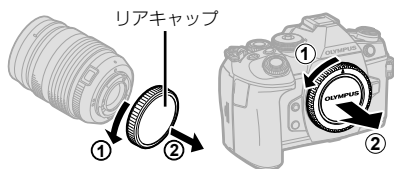


レンズを取り付ける

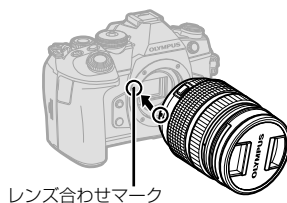
1

準備する

- 1 レンズのリアキャップ、カメラのボディキャップを外します。



- 2 カメラのレンズ合わせマーク(赤印)にレンズの取り付け指標(赤印)を合わせ、レンズをボディに差し込みます。

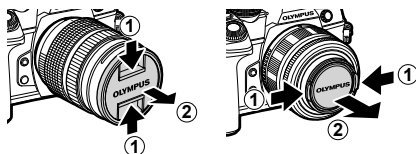


- 3 レンズをカチッと音がするまで右に回します(矢印③の方向)。



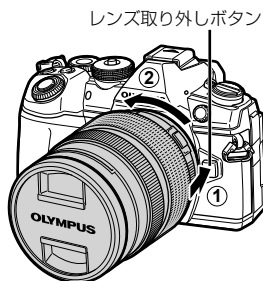
- レンズの取り付けや取り外し時は、カメラの電源が切れていることを確認してください。
- レンズ取り外しボタンは押さないでください。
- カメラ内部には触らないでください。

■ レンズキャップの外し方



■ レンズの取り外し方

レンズの取り外し時は、カメラの電源が切れていることを確認してください。レンズ取り外しボタンを押しながら、矢印の方向に回します。

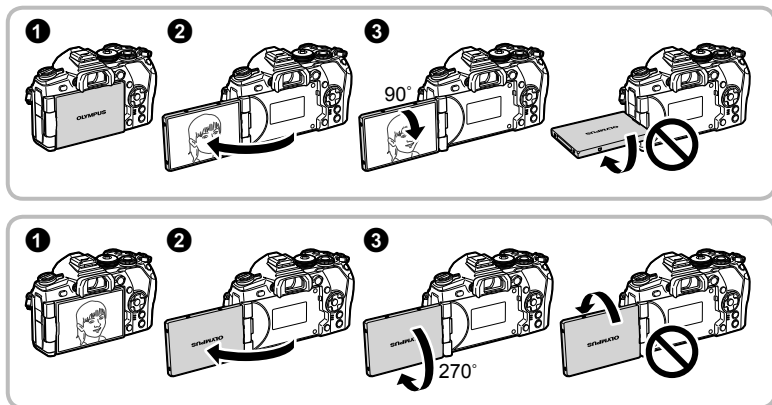


交換レンズについて

「交換レンズについて」(P.152)をお読みください。

モニターを操作する

モニターの向きと角度を変えることができます。



- モニターを回転させるときは、回転範囲内でゆっくりと回してください。無理な力がかかると接続部の破損の原因となります。
- 電動ズームレンズを使用しているときは、自分撮り位置に向けてと自動的にズーム位置が広角側に移動します。
- モニターを自分撮り位置に向けて、自分撮り用の画面に切り換えることができます。
 ■ 「自分撮りアシストメニューを使って自分を撮る」(P.130)

電源を入れる

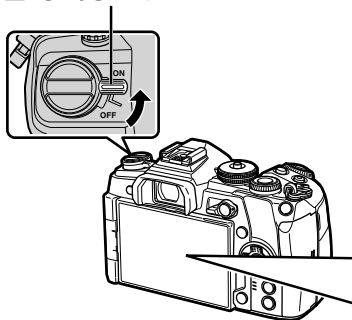
1

準備する

1 ON/OFFレバーをONの位置に合わせます。

- 電源が入るとモニターが点灯します。
- 電源を切るには、レバーをOFFの位置に戻します。

■ ON/OFFレバー



■ モニター

電池残量

電池アイコンと電池残量(%)が表示されます。

- 点灯(緑)：撮影できます。
- 点灯(緑)：電池が減っています。
- 点灯(緑)：電池が少なくなっています。
- 点滅(赤)：充電してください。



カメラのスリープ動作について

1分間何も操作しないとスリープモード(待機状態)になってモニターが消灯し、カメラは動作を停止します。シャッターボタンや▶ボタンなどを操作するとカメラは動作を再開します。スリープモードで4時間放置すると電源が切れます。お使いになるときは、電源を入れなおしてください。

日時を設定する

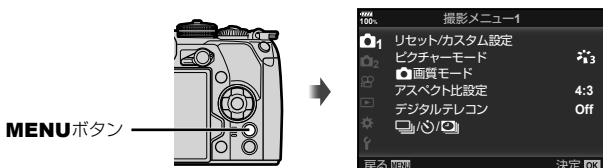
日時の情報は画像とともにカードに記録されます。また、ファイル名も日付の情報をもとに付けられます。お使いになる前に必ず正しい日時を設定してください。設定されていないと使用できない機能もあります。

1

準備する

1 メニューを表示します。

- **MENU**ボタンを押すとメニュー画面が表示されます。



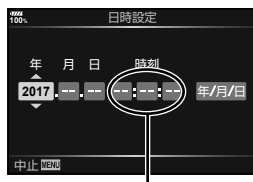
2 [f]タブの[日時設定]を選びます。

- 十字ボタンの△▽で[f]を選択し、▶を押します。
- [日時設定]を選んで▶を押します。



3 日付/時刻/日付表示順序を設定します。

- ◀▶で項目を選びます。
- △▽で内容を選びます。



4 設定を終了します。

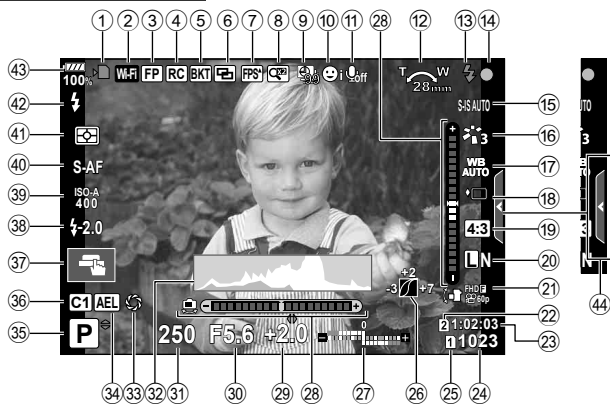
- **OK**ボタンを押して日付/時刻を確定しメニューに戻ります。
- **MENU**ボタンを押してメニューを終了します。
- カメラから電池を取り外してしばらく放置すると、日時が初期状態にリセットされる場合があります。

2 撮影する

撮影時の情報表示






撮影する

静止画像撮影時のモニター表示



ムービーモード中のモニター表示



- ① カード書き込み中.....P.15
- ② 無線LAN接続.....P.136-141
- ③ スーパー FP発光.....P.155
- ④ RCモード.....P.156
- ⑤ オートブラケット/HDR撮影
.....P.93 / P.50
- ⑥ 多重露出撮影.....P.97
- ⑦  デジタルシフト撮影.....P.98
- ⑧ 高速フレームレート.....P.116
- ⑨  OVFシミュレーション*.....P.123
- ⑩ デジタルテレコン.....P.90
- ⑪ インターバル撮影.....P.92
- ⑫ 顔優先/瞳優先.....P.41
- ⑬ ムービー録音.....P.104
- ⑭ズーム操作方向/焦点距離/
内部温度上昇警告 °C/°F.....P.166
- ⑮ フラッシュ.....P.59
(点滅：充電中、点灯：充電完了)
- ⑯ 合焦マーク.....P.25
- ⑰ 手ぶれ補正.....P.54
- ⑱ ピクチャーモード.....P.62, 90
- ⑲ ホワイトバランス.....P.43, 53
- ⑳ 連写/セルフタイマー/低振動撮影/
静音撮影/プロキャプチャー撮影/
ハイレゾショット.....P.47-49, 55
- ㉑ アスペクト比.....P.55
- ㉒ 画質モード(静止画).....P.57, 90
- ㉓ 画質モード(ムービー).....P.58
- ㉔  記録スロット.....P.133
- ㉕ 録画可能時間.....P.151
- ㉖ 撮影可能枚数.....P.151
- ㉗  記録設定.....P.56
- ㉘ ハイライト&シャドウコントロール.....P.67
- ㉙ 上：フラッシュ補正.....P.61
下：露出補正.....P.40
- ㉚ 水準器.....P.23
- ㉛ 露出補正值.....P.40
- ㉜ 絞り値.....P.26-29
- ㉝ シャッター速度.....P.26-29
- ㉞ ヒストグラム.....P.23
- ㉟ プレビュー.....P.69
- ㊱ AEロック.....P.46, 125
- ㊲ 撮影モード.....P.24-38
- ㊳ カスタムモード.....P.36, 89
- ㊴ タッチ操作.....P.36
- ㊵ フラッシュ補正.....P.61
- ㊶ ISO感度.....P.43, 52
- ㊷ AF方式.....P.44, 52
- ㊸ 測光方式.....P.46, 52
- ㊹ フラッシュモード.....P.59
- ㊺ 電池残量.....P.18
- ㊻ ライブガイド呼び出し.....P.32

* OVFシミュレーションアイコンはファインダー内のみの表示です。

- ④⑤ 録音レベルメーター.....P.104
- ④⑥ 静音操作タブ.....P.39
- ④⑦ ムービー(露出)モード.....P.103
- ④⑧ 動画エフェクト.....P.38
- ④⑨ タイムコード.....P.102

表示の切り換え

このカメラはアイセンサーの動きにより、ファインダーに目を近づけるとファインダーが自動的に点灯し、目を離すとファインダーが消えモニターが点灯します。

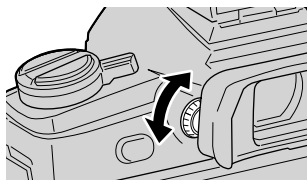


モニターの撮影画面がライブビュー表示されます。



目を近づけると自動的にファインダーが点灯します。ファインダー点灯中は、モニターは消灯します。

- モニターの角度を変えている場合、ファインダーは点灯しません。
- ファインダー内の表示がぼやけて見えるときは、ファインダーをのぞきながらファインダー内の表示がはっきり見えるまで視度調整ダイヤルを回します。

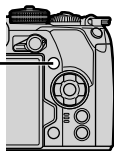


- **[O]** ボタンを押すと、ライブビュー撮影とファインダー撮影(ライブビューとスーパーコンパネ表示)が切り換わります。モニターにスーパーコンパネ(P.51)が表示されているときは、ファインダーに目を近づけるとファインダーに表示が切り換わります。
- **[O]** ボタンを長押しすると、ファインダーの自動切り換え設定変更メニューが表示されます。**[EVF自動切替設定]** (P.123)

情報表示を切り換える

INFO ボタンで撮影時の情報表示の切り換えができます。

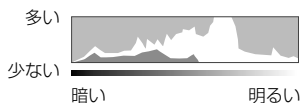
INFO ボタン



- カスタム表示1とカスタム表示2の設定は変更できます。☞ **[Info表示設定]**の **[LV-Info]** (P.116)、**[Info表示設定]** (P.123)
- ムービーモード (🎥) では、静止画撮影モードとは異なる情報表示の設定ができます。☞ 動画メニューの **[表示設定]** (P.102)
- **INFO** ボタンを押しながらダイヤルを回して撮影時の情報表示を双方向に変更することもできます。

ヒストグラム表示

画像の明るさの分布をヒストグラムで表示します。横軸は明るさ、縦軸は明るさごとの画素数を表しています。撮影時は上限値以上の部分を赤、下限値以下の部分を青、スポット測光のエリアを緑で表示します。

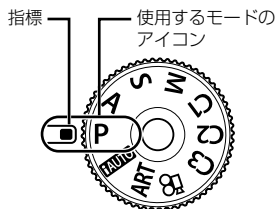


水準器表示

カメラの傾きを表示します。「あおり」方向は縦のバー、「水平」方向は横のバーで表示します。水準器の表示は目安としてお使いください。

静止画を撮る

モードダイヤルを使って撮影モードを選んで撮影します。



2

撮影する

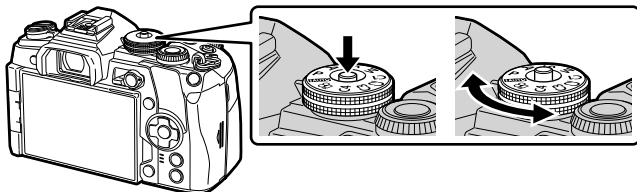
■ 撮影モードの種類

各撮影モードの使い方は以下をご覧ください。

PP.26	AUTOP.32
AP.27	ARTP.34
SP.28	P.38
MP.29	C1 / C2 / C3P.36

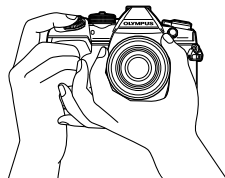
1 モードダイヤルロックを押してロックを解除し、モードダイヤルを回して使用するモードに設定します。

- モードダイヤルロックが押し込まれているとき、モードダイヤルはロックされています。モードダイヤルロックを押すたびにロック／解除が切り換わります。

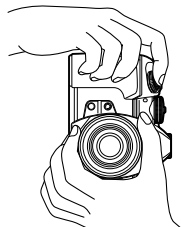


2 カメラを構えて構図を決めます。

- レンズやAFイルミネーターに指やストラップがかからないよう、ご注意ください。



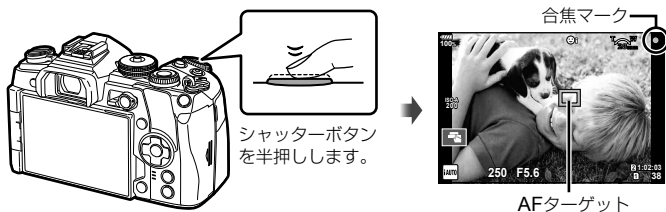
横位置



縦位置

3 ピントを合わせます。

- 被写体がモニター中央にくるようにして、シャッターボタンを1段階まで浅く押し込みます(半押し)。
合焦マーク(●)が表示され、ピントの合ったところに緑の枠(AFターゲット)が表示されます。



- 合焦マークが点滅しているときは、被写体にピントが合っていません。(P.162)

4 撮影します。

- 半押しの状態から、さらにシャッターボタンを押し込みます(全押し)。
- シャッターが切れ、撮影されます。
- 撮影された画像がモニターに表示されます。
- タッチ操作でもピント合わせや静止画の撮影ができます。📷 「タッチパネルを使って撮る」(P.36)

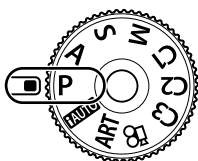
シャッターボタンの半押しと全押し

シャッターボタンは2段階になっています。シャッターボタンを1段階まで浅く押し、そのままの状態にすることを半押しといい、2段階まで深く押し込むことを全押しといいます。



絞り値とシャッター速度を自動で設定して撮影する (Pプログラム撮影)

Pモードは被写体の明るさに応じて、最適な絞り値とシャッター速度をカメラが自動的に設定する撮影モードです。モードダイヤルを**P**に設定します。



絞り値
シャッター速度
撮影モード

- カメラが設定したシャッター速度と絞り値が表示されます。
- Fn**レバーの位置によって、ダイヤルで設定できる機能が変わります。

ダイヤル	Fnレバーの位置	
	1	2
	露出補正	ISO
	プログラムシフト	ホワイトバランス

- シャッター速度と絞り値が点滅しているときは、適正露出が得られません。

警告表示例(点滅)	状態	対処方法
F2.8	被写体が暗すぎます。	<ul style="list-style-type: none"> フラッシュを使用してください。
F22	被写体が明るすぎます。	<ul style="list-style-type: none"> カメラの測光範囲を超えています。市販のNDフィルター（光量調節用）が必要です。

- 使用されるレンズおよび焦点距離により、点滅時の絞り値は変わります。
- [ISO感度]**の設定を固定しているときは、設定を変更してください。☞「感度を変更する(ISO感度)」(P.43, 52)

プログラムシフト(Ps)

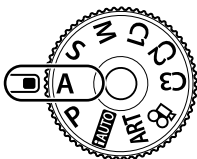
Pモードでは、適正露出を維持したまま、絞り値とシャッター速度の組み合わせを変更できます。プログラムシフトにすると、撮影モードの横に「s」が表示されます。プログラムシフトを解除するには、「s」が消えるまでダイヤルを回します。



プログラムシフト

絞りを決めて撮影する(A絞り優先撮影)

Aモードは、絞り値を設定するとカメラが適正なシャッター速度を自動的に設定する撮影モードです。モードダイヤルをAに設定してから、絞り値を設定します。絞り(F値)を開く(絞り値の数値を小さくする)ほど、ピントの合う範囲(被写界深度)が狭くなり、背景のボケが強くなります。絞りを絞る(絞り値の数値を大きくする)ほど、ピントの合う範囲が前後に広がります。



絞り値

- Fnレバーの位置によって、ダイヤルで設定できる機能が変わります。

ダイヤル	Fnレバーの位置	
	1	2
	露出補正	ISO
	絞り値	ホワイトバランス

絞り値の設定例

絞り値を小さくする←

→絞り値を大きくする

F2.8← F4.0← **F5.6** →F8.0 →F11

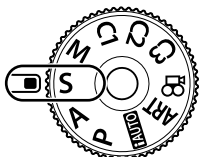
- シャッター速度が点滅しているときは、適正露出が得られません。

警告表示例(点滅)	状態	対処方法
	露出アンダーです。	• 絞り値を小さくしてください。
	露出オーバーです。	• 絞り値を大きくしてください。 • それでも解消されないときは、カメラの測光範囲を超えています。市販のNDフィルター(光量調節用)が必要です。

- 使用されるレンズおよび焦点距離により、点滅時の絞り値は変わります。
- **[ISO感度]**の設定を固定しているときは、設定を変更してください。 「感度を変更する(ISO感度)」(P.43, 52)

シャッター速度を決めて撮影する(Sシャッター優先撮影)

Sモードは、シャッター速度を設定するとカメラが適正な絞り値を自動的に設定する撮影モードです。モードダイヤルを**S**に設定してから、シャッター速度を設定します。シャッター速度を速くすると、動きの速い被写体でも止まっているように撮影できます。シャッター速度を遅くすると、動いているものはぶれて撮影されますが、躍動感や動きのある仕上がりになります。



シャッター速度

- Fnレバーの位置によって、ダイヤルで設定できる機能が変わります。

ダイヤル	Fnレバーの位置	
	1	2
	露出補正	ISO
	シャッター速度	ホワイトバランス

シャッター速度の設定例

シャッター速度を遅くする ← → シャッター速度を速くする

60" ← 15 ← 30 ← 60 → 125 → 250 → 8000

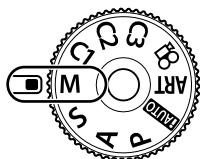
- 絞り値が点滅しているときは、適正露出が得られません。

警告表示例(点滅)	状態	対処方法
2000 F2.8	露出アンダーです。	<ul style="list-style-type: none"> • シャッター速度を遅くしてください。
125 F22	露出オーバーです。	<ul style="list-style-type: none"> • シャッター速度を速くしてください。 • それでも解消されないときは、カメラの測光範囲を超えています。市販のNDフィルター（光量調節用）が必要です。

- 使用されるレンズおよび焦点距離により、点滅時の絞り値は変わります。
- **[ISO感度]**の設定を固定しているときは、設定を変更してください。 「感度を変更する(ISO感度)」(P.43, 52)

絞り値とシャッター速度を自分で決めて撮影する(Mマニュアル撮影)

Mモードは絞り値とシャッター速度を自分で設定する撮影モードです。バルブ/タイム/ライブコンポジット撮影にも設定できます。モードダイヤルを**M**に設定してから、絞り値とシャッター速度を設定します。



適正露出との差

- Fnレバーの位置によって、ダイヤルで設定できる機能が変わります。

ダイヤル	Fnレバーの位置	
	1	2
	絞り値	露出補正*
	シャッター速度	ISO

* [ISO感度]を[AUTO]に設定すると、露出補正を設定できます。



露出補正值

補正値を加味した
露出設定値との差

- 設定されている絞り値とシャッター速度による露出と、カメラが測った適正露出との差が画面に表示されます。
- シャッター速度は1/8000～60秒、[BULB]、[LIVE TIME]および[LIVECOMP]に設定できます。
- 絞り値とシャッター速度を変更してもモニター（またはファインダー）の表示画像の明るさは変化しません。実際に撮影される画像を表示するには、カスタムメニューの[LVPブースト] (P.116)で設定します。
- [長秒時ノイズ低減]が設定されていても、温度などの環境条件やカメラの設定条件により、モニターに表示される画像や撮影画像にノイズや輝点が目立つ場合があります。

画像のノイズについて

長秒時の撮影では、画面にノイズが多く発生する場合があります。これは撮像素子の温度上昇や、撮像素子内部の駆動回路が熱源となり、本来撮像素子に光のあたっていない部分にも電流を発生させてしまうためです。この現象は、高温の環境でISO感度を上げたり、長秒時の露出で顕著に表れます。これらのノイズを軽減するために、このカメラは長秒時ノイズ低減が働きます。🔧 [長秒時ノイズ低減] (P.119)

長秒時(バルブ/タイム)撮影

花火や夜景などの撮影に使います。Mモードでシャッター速度を[BULB]または[LIVE TIME]に設定します。

バルブ撮影(BULB)： シャッターボタンを押している間、露光を続けます。シャッターボタンを放すと露光が終了します。

タイム撮影(LIVE TIME)： シャッターボタンを全押しすると露光を始めます。露光を終了するときは、もう一度シャッターボタンを全押しします。

- バルブ/タイム撮影中は、画面の明るさが自動的に変わります。🔧 [BULB/TIME輝度設定] (P.119)
- [LIVE TIME]では、撮影中の画面が表示されます。また、シャッターボタンを半押ししても表示を更新できます。
- バルブ撮影でも、[ライブBULB設定] (P.119)を使って露光中に画像を表示することができます。
- [BULB] / [LIVE TIME]では設定できるISO感度に制限があります。
- カメラのぶれを抑えるために、しっかりした三脚でカメラを固定して、リモートケーブル(P.157)をお使いください。
- 撮影中は、以下の撮影機能の設定に制限があります。
連写/セルフタイマー撮影/インターバル撮影/AEブラケット撮影/手ぶれ補正/フラッシュブラケット/多重露出撮影* など
* [ライブBULB設定]または[ライブTIME設定] (P.119)が[Off]以外のとき
- [手ぶれ補正] (P.54)は自動的にオフになります。

ライブコンポジット(比較明合成)撮影

背景の明るさを変えずに、花火や星などの明るい光跡の変化を観察しながら、複数枚を合成した1枚の画像に記録することができます。

1 [コンポジット撮影設定] (P.119)で基準となる露出時間を設定します。

2 Mモードでシャッター速度を[LIVECOMP]に設定します。

- シャッター速度が[LIVECOMP]に設定されているときは、**MENU**ボタンで[コンポジット撮影設定]を表示できます。

3 撮影準備のためにシャッターボタンを一度押します。

- モニターに準備完了の表示が出たら撮影できます。

4 シャッターボタンを押します。

- ライブコンポジット撮影が始まります。基準露出時間ごとに合成された画像が表示されるので、光跡の変化を観察できます。
- コンポジット撮影中は、画面の明るさが自動的に変わります。☰ [BULB/TIME 輝度設定] (P.119)

5 シャッターボタンを押して撮影を終了します。

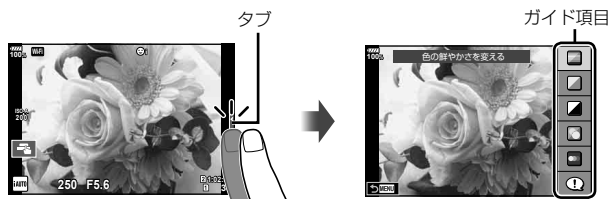
- コンポジット撮影は最長で3時間撮影可能です。撮影環境や充電状態等により撮影可能時間は変わります。
- 設定できるISO感度は制限されます。
- カメラのぶれを抑えるために、しっかりした三脚でカメラを固定して、リモートケーブル(P.157)をお使いください。
- 撮影中は、以下の撮影機能の設定に制限があります。
連写/セルフタイマー撮影/インターバル撮影/AEブラケット撮影/手ぶれ補正/フラッシュブラケットなど
- [手ぶれ補正] (P.54)は自動的にオフになります。

カメラまかせで撮影する(iオートモード)

シャッターボタンを押すだけで、撮影シーンに適した撮影ができます。
ライブガイドを使って、色合いや明るさ、ぼかし等の効果を簡単に設定できます。

- 1 モードダイヤルを**IAUTO**に設定します。
- 2 タブにタッチして、ライブガイドを表示します。

- ガイド項目をタッチすると、レベルバーのスライダーが表示されます。



- 3 レベルバーのスライダーを指で上下させて設定します。

- **OK**にタッチして設定を確定します。
- ライブガイドの設定を解除するときは、画面の**MENU**にタッチします。
- **[撮影のヒント]**を選んだときは、項目を選び**OK**にタッチすると説明が表示されます。
- レベルを選択すると画面で効果を確認できます。
[背景をぼかす]、**[動きを表現する]**では設定を確定すると元の表示に戻りますが、撮影した画像に効果は反映されます。



- 4 複数のライブガイドを設定する場合は、手順2と3を繰り返します。

- 設定済みのライブガイドには、ガイド項目にチェックが表示されます。



- 5 撮影します。
- **MENU**ボタンを押すとライブガイドは終了します。

- **【背景をぼかす】**、**【動きを表現する】**は同時に設定できません。
- 画質モードが**【RAW】**のときは、自動的に**【■N+RAW】**に設定されます。
- ライブガイド設定はRAW画像には適用されません。
- ライブガイドの設定レベルによっては、画像の粗さが強調される場合があります。
- ライブガイドの設定レベルを変えても、効果をライブビューであまり確認できない場合があります。
- **【動きを流す】**では表示のフレームレートが遅くなります。
- ライブガイドではフラッシュは無効です。
- ライブガイドの設定がカメラの連動範囲外になると、白くとんだり暗い画像になる場合があります。

アートフィルターを使う

アートフィルターで芸術的な表現を気軽に楽しめます。

■ アートフィルターの種類

ポップアートⅠ／Ⅱ*	色の美しさを強調した画像になります。
ファンタジックフォーカス	柔らかいトーンの中で空気感を表し、幻想的な画像になります。
デイドリームⅠ／Ⅱ*	全体的に光を散らし、露出をややオーバー気味にして、やさしい光に包まれた浮遊感を表現した画像になります。
ライトトーン	シャドウ部もハイライト部も柔らかく描写し、上質で落ち着いた画像になります。
ラフモノクロームⅠ／Ⅱ*	モノクロならではの力強さ、荒々しさを表現した画像になります。
トイフォトⅠ／Ⅱ／Ⅲ*	画面周辺部を暗くして、古いカメラやトイカメラを使って撮ったときのような画像になります。
ジオラマⅠ／Ⅱ*	彩度やコントラストを強調し、ピントを合わせた位置以外をぼかし、ミニチュアのような雰囲気画像になります。
クロスプロセスⅠ／Ⅱ*	不安定で非現実的な雰囲気を表現した画像になります。クロスプロセスⅡは、マゼンタを強調した画像になります。
ジェントルセピア	全体的に柔らかい描写で、落ち着いた雰囲気の中にもシャドウ部が引き締まった、しっとりとした上品な画像になります。
ドラマチックトーンⅠ／Ⅱ*	部分的にコントラストを強くし、明暗差を強調した画像になります。
リーニュクレールⅠ／Ⅱ*	エッジラインを強調し、イラストテイストを付加した画像になります。
ウォーターカラーⅠ／Ⅱ*	暗部を大胆に削除し、白いキャンバスに淡く明るい色彩をなじませ、さらに柔らかい輪郭線を載せて、ほんわりとした明るい雰囲気の画像になります。
ヴィンテージⅠ／Ⅱ／Ⅲ*	フィルムプリントの変色や退色など、日常のひとコマをノスタルジックなヴィンテージ調に表現します。
パートカラーⅠ／Ⅱ／Ⅲ*	強調したい色を抽出し、それ以外はモノトーンに抑えることで、被写体を印象的に表現します。
ART BKT (アートフィルターブラケット)	1回の撮影で、選択したすべてのアートフィルター画像を記録します。選択画面で INFO ボタンを押すと、記録するフィルターの選択ができます。

* Ⅱ、Ⅲは、オリジナル(Ⅰ)に対して変化をつけたものです。

1 モードダイヤルを**ART**に設定します。

- アートフィルターメニューが表示されます。リアダイヤルでフィルターを選択します。
- Δ / ∇ でエフェクト(効果)をつけることができます。設定できる効果はアートフィルターごとに異なります(ソフトフォーカス効果、ピンホール効果、枠(フレーム)効果、ホワイトエッジ効果、スターライト効果、フィルター効果、調色、ぼかし効果、シェード効果)。
- \odot ボタンを押すかシャッターボタンを半押しすると設定が確定され、アートフィルターメニューを終了します。



2 撮影します。

- 他の設定を選ぶときは、 \odot ボタンを押してアートフィルターメニューを表示します。
- アートフィルターの効果を最大限に引き出すため、撮影機能の設定変更には制限があります。
- 画質モード(P.57, 90)が[RAW]のときは、自動的に[**N+RAW**]に設定されます。アートフィルターの効果はJPEG画像にのみ適用されます。
- 撮影シーンによっては階調が崩れたり、補正の効きが弱くなったり、また画像の粗さが強調される場合があります。
- エフェクトの設定によっては、ライブビューやムービー撮影に反映しないものもあります。
- フィルター、効果、ムービーの画質設定によっては、再生時の動きが異なります。

■ [パートカラー]で撮影する

特定の色のみを残した画像にできます。

1 モードダイヤルを**ART**に設定します。

2 [パートカラー]を選択します。

3 タイプや効果を選択して \odot を押します

- 画面にカラーリングが表示されます。

4 フロントまたはリアダイヤルを回して色を選択します。

- 画面で効果を確認できます。

5 撮影します。



カスタムモード(C1 / C2 / C3)を使う

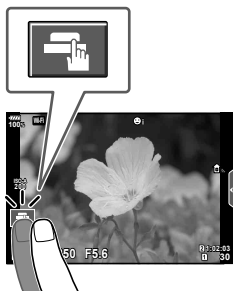
撮影でよく使う設定等、お好みの撮影設定を登録しておき、その設定を呼び出して撮影します。

- **C1**、**C2**、**C3**にそれぞれに設定の登録ができます。カスタムモードの設定は、撮影メニュー 1の[リセット/カスタム設定] (P.89)で登録します。
- モードダイヤルを**C1** / **C2** / **C3**に設定して使います。

タッチパネルを使って撮る

ボタンにタッチするたびに操作方法が切り換わります。

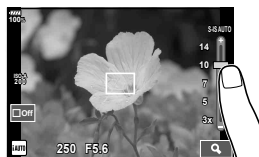
- タッチした箇所にピントを合わせて自動的に撮影します。モードでは使えません。
- タッチ操作を禁止します。
- タッチした箇所にAFターゲットを表示してピントを合わせます。AFフレームの大きさや位置は指で操作できます。撮影はシャッターボタンを押します。



■ ピントを合わせる被写体を確認する()

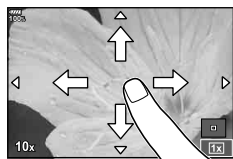
1 ピントを合わせたい被写体にタッチします。

- AFターゲットが表示されます。
- レベルバーを指で上下させると枠の大きさを変えられます。
- にタッチするとAFターゲット表示を終了します。



2 レベルバーでAFターゲットの大きさを調節してから にタッチすると、枠の位置を拡大表示します。

- 拡大中に、タッチした状態で指を動かすとスクロールできます。
- にタッチすると拡大表示を終了します。



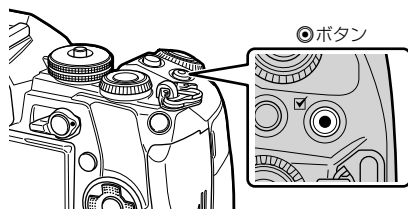
- 次の場合はタッチ操作できません。
多重露出中 / ワンタッチWB取得画面 / ボタンまたはダイヤル操作中など
- 先のとがったものや爪で操作しないでください。
- モニター保護シートや手袋を使っていると、うまく操作できない場合があります。
- タッチパネルの操作を禁止することができます。 【タッチパネル設定】 (P.123)

ムービーを撮る


◎ボタンを押すとムービーを撮影できます。

1 ◎ボタンを押してムービー撮影を始めます。

- モニターに撮影中の画像が表示されます。
- ファインダーをのぞくと、ファインダーに撮影中の画像が表示されます。
- 撮影中に画面にタッチして、ピントを合わせる位置を変えることができます。



2 再度◎ボタンを押してムービー撮影を終了します。

- 撮像素子にCMOSを搭載したカメラの場合は、ローリングシャッターによる動体歪みという現象が発生します。これは、動きの速い被写体や手ぶれのときに撮影画像に歪みが発生する物理現象です。
特に長焦点で使用すると、この現象が顕著になります。
- 撮影中のムービーのファイルサイズが4GB以上になると、ファイルは自動的に分割されます。(撮影条件によっては4GB以下で分割される場合があります。)
- ムービー撮影の場合は、SDスピードクラス10以上に対応したカードをご使用ください。
- 次の場合は、UHS-II またはUHS-I のUHSスピードクラス3以上をご使用ください。
【**画質モード**】の画像サイズが【4K】または【C4K】のとき / 【**画質モード**】のビットレートが【A-I】 (All-Intra)のとき
- 【4K】または【C4K】に設定して撮影する場合は、【**動画エフェクト**】 (P.38)を  (マルチエコー)以外に設定してください。
- 長時間使用すると撮像素子の温度が上昇し、画像にノイズや色むらが発生します。しばらく電源を切ってください。また、ISO感度が高い設定の画像でもノイズや色むらが発生します。さらに温度が上がると、カメラの電源が切れます。
- フォーサースマウント規格レンズ使用時は、ムービー撮影中のAFは動作しません。
- 次の場合、◎ボタンを押してもムービー撮影はできません。
多重露出中(静止画撮影も終了します。) / シャッターボタン半押し中 /
バルブ、タイムまたはコンボジット撮影中 / 連写中 / インターバル撮影中

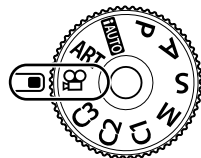
ムービーモード(📹)を使う

ムービーモード(📹)にすると、静止画の撮影モードの効果を活かしたムービー撮影が可能です。また、ムービー撮影中に残像を残したり、一部を拡大するなどの効果を使うことができます。

■ ムービーに効果をつける【動画エフェクト】

動画メニューの[📷表示設定]の[📷 Info表示]で[カスタム表示1]を選択して▶を押し、【動画エフェクト】にあらかじめチェックを入れておく必要があります(P.102)。

- 1 モードダイヤルを📹に設定します。
- 2 ●ボタンを押して撮影を始めます。
 - 撮影を終了するときにはもう一度●ボタンを押します。
- 3 効果を使うときに画面のアイコンにタッチします。



	アートフェード	選択したピクチャーモードの効果で撮影できます。切り換えり時は、フェード効果がつきます。
	オールドフィルム	古い映画のような、傷やほこり状のノイズを無作為につけます。
	マルチエコー	残像効果をつけます。動きのある被写体の残像を残したムービーが撮影できます。
	ワンショットエコー	ボタンを押したときの画像をしばらく残像として残します。残像は時間が経つと自動的に消えます。
	ムービーテレコン	レンズのズームを使わずに、画面の一部を拡大します。カメラを固定したままでも画面の選んだ位置の拡大をすることができます。

アートフェード

アイコンをタッチします。使用するピクチャーモードにタッチして指を放したときに、徐々に効果が反映されます。

オールドフィルム

アイコンをタッチすると効果が反映されます。もう一度タッチすると解除されます。

マルチエコー

アイコンをタッチすると効果が反映されます。もう一度タッチすると解除されます。

ワンショットエコー

アイコンをタッチするたびに効果が加えられます。

- 録画中も**INFO**ボタンを押すと画面の情報表示の切り換えができます。ただし、録画中に**INFO**ボタンを押した場合は【動画エフェクト】が解除されます。

ムービーテレコン

1 アイコンにタッチして拡大枠を表示します。

- タッチ操作または、 $\Delta \nabla \langle \triangleright$ で拡大枠の位置を変更できます。
- \odot ボタンを長押しすると拡大枠は中央に戻ります。

2 \square にタッチすると拡大表示します。

- \square にタッチすると拡大枠の表示に戻ります。

3 \square Off にタッチするか \odot ボタンを押すと、拡大枠が消えてムービーテレコンモードから抜けます。

- 同時に2つの効果を使うことはできません。
- ピクチャーモードによっては、設定できない効果があります。
- タッチ操作やボタンの操作音が録音されることがあります。
- クリップスの撮影ではアートフェードは使えません。
- スロー／クイック撮影では、ムービーテレコン以外の動画エフェクトは使用できません。
- ムービーモード(M)で表示されるドライブモードは静止画の機能です。ムービーモード(M)では静止画は撮影できません。
- 画像サイズで**[4K]**や**[C4K]**などサイズの大きなムービー画質モードを設定しているときにアートフィルターや動画エフェクトを使用した場合、フレームレートが低下することがあります。
- スロー／クイック撮影では、アートフィルターは使用できません。
- ムービー専用のピクチャーモードやスロー／クイック撮影では、動画エフェクトは使用できません。
- 画像サイズで**[4K]**または**[C4K]**を設定しているときは、ムービーテレコンは使用できません。

ムービー録画時の静音機能を使う

録画中のカメラの操作による操作音が録音されるのを防ぐことができます。

以下の機能がタッチ操作できます。

- 電動ズーム*1 / 録音レベル / 絞り / シャッター速度 / 露出補正 / ISO感度 / ヘッドホン音量*2

*1 電動ズーム機能つきレンズを使用時のみ

*2 ヘッドホン使用時のみ

静音操作タブにタッチすると機能項目が表示されます。項目にタッチした後、表示される矢印にタッチして設定します。

- 撮影モードによって設定できる項目は異なります。



各種設定をして使う

画像の明るさを変えて撮影する(露出補正)

フロントダイヤルを回して露出補正を行います。+補正にするとより明るく、-補正にするとより暗く表現できます。±5.0EVの範囲で補正できます。

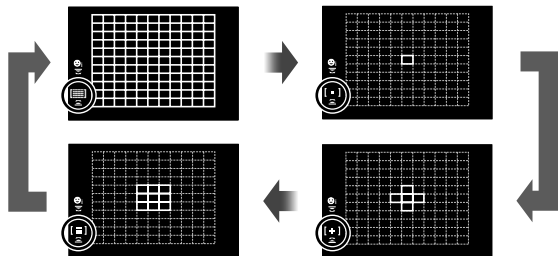


- **IAUTO**では、露出補正はできません。
- ファインダー、ライブビューの表示は±3.0EVまでしか変化しません。露出補正バーは±3.0EVを超えると点滅します。
- ムービーで補正できる範囲は±3.0EVまでです。

AFターゲットモードを選択する(AFターゲット設定)

ターゲットの選択方法や、ターゲットのサイズを変更できます。また、顔優先AF(P.41)を選択することができます。

- 1 **Fn1**ボタンを押して、AFターゲットを表示します。
 - 十字ボタンを押しても表示できます。
- 2 AFターゲット選択中にフロントダイヤルで選択方法を選びます。



(オールターゲット)	すべてのAFターゲットからカメラが自動的にピントを合わせるAFターゲットを選びます。
(シングルターゲット)	1つのAFターゲットを選びます。
(5点グループターゲット)	選択した5点グループの中からカメラが自動的にピントを合わせるAFターゲットを選びます。
(9点グループターゲット)	選択した9点グループの中からカメラが自動的にピントを合わせるAFターゲットを選びます。

- ムービー撮影時は、グループターゲットはシングルターゲットになります。

ピントの位置を自分で決める

シングルターゲットモード、グループターゲットモードの位置を選びます。

1 Fn1ボタンを押して、AFターゲットを表示します。

- 十字ボタンを押しても表示できます。

2 AFターゲット選択中に十字ボタンでAF位置を選択します。

- [デジタルテレコン] (P.90)、[アスペクト比設定] (P.55)、グループターゲット (P.40) の設定により、AFターゲットの数や大きさが変わります。
- カスタムメニューの[:::]カスタム設定 (P.113) で、AFターゲット選択画面の、ダイヤルと△▽<▷ ボタン機能を変更できます。

顔優先AF / 瞳優先AFを使う

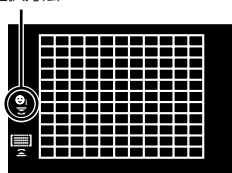
カメラが自動的に人物の顔を検出して、ピント合わせやデジタルESP測光の調整を行います。

1 Fn1ボタンを押して、AFターゲットを表示します。

- 十字ボタンを押しても表示できます。

2 AFターゲット選択中にリアダイヤルで設定を選択します。

選択方法



	顔優先On	顔優先AFを行います。
	顔優先Off	顔優先AFを行いません。
	顔・瞳優先On	近い方の瞳を検出して、顔優先AFを行います。
	顔・瞳(右側)優先On	被写体の右側の瞳を検出して、顔優先AFを行います。
	顔・瞳(左側)優先On	被写体の左側の瞳を検出して、顔優先AFを行います。

4 カメラを被写体に向けます。

- 顔が検出されたら白い枠が表示されます。

5 シャッターボタンを半押しして、ピントを合わせます。

- 枠の顔にピントが合うと、枠が緑に変わります。
- 被写体の目を検出できるときは、設定された方の目にピントが合い緑の枠が表示されます。(瞳優先AF)

6 シャッターボタンを全押しします。

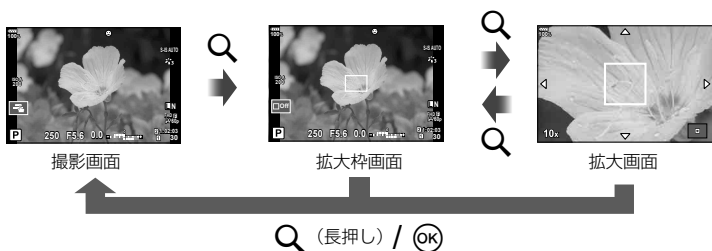


- 被写体やアートフィルターの設定によっては、顔が検出できないことがあります。
- [ESP]** (デジタルESP測光) (P.46, 52)では顔を優先して測光します。
- [MF]** (P.44, 52)でも顔の検出ができます。顔を検出すると白い枠が表示されます。

拡大枠AF / 拡大AFを使う(スーパースポットAF)

画面の一部を拡大してピント合わせをすることができます。拡大倍率を高くして通常のAFターゲット枠より小さい範囲でオートフォーカスすることができます。また、より細かく位置の変更ができます。

- スーパースポットAFを使用するには、あらかじめボタン機能でいずれかのボタンに**[Q]**を割り当てておく必要があります(P.68)。



1 Qボタンを押して放すと、拡大枠を表示します。

- 直前にオートフォーカスでピント合わせをしたときは、その位置に拡大枠が表示されます。
- △▽<>**で位置を変更できます。
- INFO**ボタンを押して、**△▽**で拡大倍率を変更できます。(×3、×5、×7、×10、×14)

2 再度Qボタンを押して放すと、拡大枠の部分拡大表示します。

- △▽<>**で位置を変更できます。
- フロントダイヤル(☉)またはリアダイヤル(☉)を回して拡大倍率を変更できます。

3 シャッターボタンを半押ししてAF動作します。

- 画面中央の枠の中でピントが合わせられます。ピント合わせの位置を変えるときは、**△▽<>**で画面を移動します。
- 拡大表示はモニター上の表示のみです。実際に拡大されて写ることはありません。
- 拡大表示中は、IS (手ぶれ補正)の駆動音がします。

感度を変更する(ISO感度)

ISO感度の数値を大きくするとノイズ(ざらつき)が大きくなりますが、暗いところでの撮影が可能になります。通常は、ノイズと階調のバランスのとれたISO200を基準とし、撮影状況に応じて感度が変わる【AUTO】のご使用をおすすめします。

1 Fnレバーを2の位置に合わせて、フロントダイヤルを回して設定値を選択します。

- Mモードでは、フロントダイヤルで露出補正を調整できます。

AUTO	撮影状況に応じて自動的に感度が変わります。カスタムメニューの【ISOオート設定】(P.118)でISO感度の上限や、感度を上げ始めるシャッター速度などを設定できます。
LOW、200～25600	ISO感度を選択できます。

画像の色合いを調整する(ホワイトバランス)

ホワイトバランス(WB)は白いものを白く写すための機能です。通常は【AUTO】(オート)で問題ありませんが、適切な白にならない場合や、逆に色合いを出したい場合は光源に合わせて、【AUTO】以外のホワイトバランスを手動で設定します。

1 Fnレバーを2の位置に合わせて、リアダイヤルを回して設定値を選択します。

- Mモードでは、リアダイヤルでISO感度を調整できます。

WB モード		設定される色温度	適した撮影シーン
オート ホワイトバランス	AUTO	—	一般的なほとんどの撮影シーン(画面内に白に近い色が存在する撮影シーン)。通常はこのモードをお使いください。
プリセット ホワイトバランス		5300K	晴天の日に屋外で撮るとき、夕焼けを赤く撮るとき、花火を撮るとき
		7500K	晴天の日に屋外の日陰で撮るとき
		6000K	曇天の日に屋外で撮るとき
		3000K	電球に照らされている被写体を撮るとき
		4000K	蛍光灯に照らされている被写体を撮るとき
		—	水中で撮るとき
	WB7 	5500K	フラッシュ撮影のとき
ワンタッチ ホワイトバランス	   	ワンタッチホワイトバランスで設定した色温度	白かグレーの測定できる被写体があり、特性のわからないフラッシュや光源のときや、光源が複数あって特定できないとき INFO ボタンを押します。  [ワンタッチホワイトバランスの設定] (P.44)
カスタム ホワイトバランス	CWB	2000K～14000K	INFO ボタンを押した後、<D>で色温度を選択し、  ボタンを押します。

ワンタッチホワイトバランスの設定

撮影する光源下で白い紙などにカメラを向けて、ホワイトバランスを測定します。自然光だけでなく、複数の異なる色温度の光源に照らされた撮影に有効です。

- 1 **[W1]**、**[W2]**、**[W3]**または**[W4]**（ワンタッチホワイトバランス1、2、3または4）を選択した後、**INFO**ボタンを押します。
- 2 白かグレーのように無彩色の紙を撮影します。
 - 紙が画面いっぱいに写るようにカメラを構えます。影の部分ができないようにしてください。
 - ワンタッチホワイトバランス画面が表示されます。
- 3 **[実行]**を選択して**OK**ボタンを押します。
 - ホワイトバランスがプリセットホワイトバランスの1つとしてカメラに登録されます。
 - 新しいワンタッチホワイトバランスを撮影するまで、カメラに記憶されます。電源を切っても消去されません。

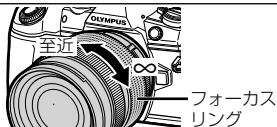
ピントの合わせ方を設定する(AF方式)

ピント合わせの方法（フォーカスモード）を選択します。静止画撮影モードと ∞ モードで別々に設定できます。

- 1 **AF** ∞ ボタンを押します。
- 2 リアダイヤルを回して設定値を選択します。



S-AF （シングルAF）	シャッターボタンを半押しすると1回だけピント合わせを行います。ピントが合うと、ピピッと音がして、画面に合焦マークとAFターゲットが点灯します。静物や動きの激しくない被写体を撮影するのに適しています。
C-AF （コンティニュアスAF）	シャッターボタンを半押ししている間、ピント合わせを繰り返します。被写体にピントが合うと、画面に合焦マークが点灯します。また、1回目の合焦時には、ピピッと音がします。撮影距離が絶えず変化する被写体の撮影に適しています。
MF （マニュアルフォーカス）	レンズのフォーカスリングを操作することで任意の位置に手でピントを合わせることができます。
S-AF+MF （S-AFとMFの併用）	[S-AF] でピントを合わせた後、フォーカスリングを回してピントの微調整ができます。



C-AF+TR (追尾AF)	シャッターボタンの半押しでピントの合った被写体を、半押ししている間追尾してピント合わせの動作を繰り返します。 <ul style="list-style-type: none"> • 追尾被写体を見失うと、AFターゲットが赤く表示されま す。シャッターボタンを放して、もう一度被写体に合わせて シャッターボタンを半押ししてください。 • フォーサーズマウント規格レンズでは、追尾できる範囲が狭くな ります。AFターゲットが赤い表示のときは、被写体を追尾してい てもAFは動作しません。
PreMF (プリセットMF)	選択すると、プリセットしたピント位置に自動で設定します。

- 明るさが不足している、霧などで被写体があっさり見えないなど、被写体のコントラストが弱い場合はピントが合わないことがあります。
- フォーサーズマウント規格レンズ使用時は、ムービー撮影中のAFは動作しません。
- カスタムメニューの【MFクラッチ】(P.114)が【有効】で、レンズのMFフォーカスクラッチがMFになっていると設定できません。

プリセットMFにピント位置を設定する

- 1 AF方式で【プリセットMF】を選択します。
- 2 **INFO**ボタンを押します。
- 3 シャッターボタンを半押しして、ピントを合わせます。
 - フォーカスリングを回して、ピントを微調整できます。
- 4 **OK**ボタンを押します。
 - 【**OK**ボタン機能】でプリセットMFボタンを割り当てたボタンを押すと、AF方式をプリセットMFに設定できます。もう一度押すと元のAF方式に戻ります。
 - カスタムメニューの【プリセットMF距離】で、ピント位置の距離を設定できます(P.114)。

明るさを測る方法を選ぶ(測光)

カメラが被写体の明るさを測定する方法を変更します。

- 1 **AF** (AF) ボタンを押します。
- 2 フロントダイヤルを回して設定値を選択します。



デジタルESP測光	画面を324分割測光し、撮影シーンや顔 ([顔優先] が[OFF]以外のとき)などを考慮し最適な露出値を演算します。通常はこのモードをおすすめします。	
中央重点平均測光	画面の中央部に重点を置いて、画面全域を平均測光します。	
スポット測光	測光したいポイントにカメラを向け、狭い範囲(約2%)の明るさを測光するときに使います。測光した箇所が適正な明るさになります。	
HI スポット測光ハイライト	スポット測光したポイントがより明るくなります。明るいところを明るく表現します。	
SH スポット測光シャドウ	スポット測光したポイントがより暗くなります。暗いところを暗く表現します。	

- スポット測光位置をAFターゲットに連動させることができます (P.119)。


露出を固定する(AEロック)

AEL/AFL ボタンを押して、露出だけを固定することができます。ピントと露出を別々に決めたいときや、同じ露出で何枚も撮影するときに使います。



- 一度ボタンを押すと露出が固定され(AE)が表示されます。[AEL/AFLモード] (P.125)
- AEロックを解除するには、もう一度ボタンを押します。
- モードダイヤル、**MENU** ボタンや \odot ボタンの操作をするとロックは解除されます。

連写する／セルフタイマーを使う

シャッターボタンを押している間、連続撮影ができます。また、セルフタイマーによる撮影もできます。

- 1  **HDR** ボタンを押します。
- 2 リアダイヤルを回して設定値を選択します。

 単写	一度のシャッターボタンの全押しで、1コマだけ撮影されます(通常の撮影モード、1コマ撮影)。
 連写H	シャッターボタンを全押ししている間、最大約15コマ/秒で連続撮影できます。連写中、ピント・露出・ホワイトバランスは、最初の1コマで固定されます。
 連写L	シャッターボタンを全押ししている間、最大約10コマ/秒で連続撮影できます。連写中のピントと露出は【AF方式】(P.44, 52)、【AEL/AFLモード】(P.125)に従って固定されます。
 12s セルフタイマー 12s	シャッターボタンを半押ししてピントを合わせ、全押しするとセルフタイマーランプが約10秒間点灯し、さらに約2秒間点滅した後、撮影されます。
 2s セルフタイマー 2s	シャッターボタンを半押ししてピントを合わせ、全押しするとセルフタイマーランプが約2秒間点滅した後、撮影されます。
 カスタムセルフタイマー	INFO ボタンを押して【セルフタイマー時間】、【コマ数】、【撮影間隔】、【各コマAF】を設定できます。 ◁▷で機能を選択し、リアダイヤル(☉)で変更します。 【各コマAF】を【On】に設定すれば各コマごとに撮影直前にAFをします。
 低振動撮影 (表示例)	シャッター動作による微小なぶれを低減して、連続撮影やセルフタイマーによる撮影ができます(P.48)。
 静音撮影 (表示例)	シャッター音を立てずに、連続撮影やセルフタイマーによる撮影ができます(P.48)。
 プロキャブチャー H	シャッターボタン半押しで連続撮影を開始します。全押しで、半押し時の撮影画像を含めた撮影画像をカードへ記録開始します(P.49)。連写中、ピント・露出・ホワイトバランスは、最初の1コマで固定されます。
 プロキャブチャー L	シャッターボタン半押しで連続撮影を開始します。全押しで、半押し時の撮影画像を含めた撮影画像をカードへ記録開始します(P.49)。連写中のピントと露出は【AF方式】(P.44, 52)【AEL/AFLモード】(P.125)に従って固定されます。
 ハイレゾショット	より解像度の高い静止画を撮影できます(P.49)。

- セルフトイマー作動中に撮影を中止するには、▽を押します。
- セルフトイマー撮影の際は、カメラを三脚にしっかりと固定してください。
- セルフトイマー撮影時に、カメラの前に立ってシャッターボタンを押すとピントがボケる原因になります。
- ☐、では、ライブビューを表示します。☐、では、直前に撮影した画像を撮影中に表示します。
- 使用するレンズやズームの位置により、連写速度は変わります。
- 連写中、電池の消耗により電池残量マークが点滅すると、撮影を中止してカードに記録を始めます。電池の状態によっては、すべての画像を記録できない場合があります。
- 使わない機能を非表示にすることができます。☑ [☐/☑表示設定] (P.116)
- [ISO感度]を8000以上に設定した場合、連写撮影時の連写速度が低下します。静音撮影およびプロキャプチャー撮影では、最大30コマ/秒に制限されます。
- 静音撮影およびプロキャプチャー撮影時に、動きの速い被写体を撮影したりカメラを激しく動かして撮影すると、画像が歪んで写ることがあります。

シャッター動作時の振動を防いで撮影する(低振動撮影)

シャッター動作による微小なカメラぶれを防ぐために、電子先幕シャッターを使って撮影します。

顕微鏡撮影や超望遠レンズでの撮影などの場面で使います。

あらかじめ☑撮影メニュー 2の[低振動[♦]撮影]で▷を押し、[Off]以外の設定を選択しておく必要があります(P.99)。

- ☐/☑HDRボタンを押します。
- リアダイヤルを回して♦の付いた項目を選択し、Ⓞボタンを押します。
- 撮影します。
 - 設定された時間が経過すると、シャッターが切れて撮影されます。

シャッター音を立てずに撮影する(静音撮影)

シャッター音が気になる場所で、音を立てずに撮影できます。先幕、後幕ともに電子シャッターを使って撮影するので、低振動撮影と同様にシャッター動作による微小なぶれを低減することができます。


シャッターボタンを全押ししてからシャッターが切れるまでの時間を☑撮影メニュー 2の[静音[♥]撮影]で変更できます。[Off]にすると設定項目に表示されません(P.99)。

- ☐/☑HDRボタンを押します。
- リアダイヤルを回して♥の付いた項目を選択し、Ⓞボタンを押します。
- 撮影します。
 - シャッターが切れるとモニターの画面は一度暗くなります。シャッター音はしません。
 - 被写体の大きな動きや蛍光灯やLED照明などのフリッカーにより、画像に乱れが出る場合があります。

リリースタイムラグを防いで撮影する(プロキャプチャー撮影)

シャッターボタンを全押ししてから撮影画像記録開始までのタイムラグを防ぐため、シャッターボタン半押しで電子シャッターを使った連続撮影を開始し、全押しで半押し時の撮影画像を含めた撮影画像をカードへ記録開始します。

ProCapHは撮影距離の変化が少ない被写体の撮影に、**ProCapL**は撮影距離が変化する被写体の撮影に適しています。

- 1  **HDR**ボタンを押します。
- 2 リアダイヤルを回して **ProCapH**または**ProCapL**を選択し、**OK**ボタンを押します。
- 3 シャッターボタンを半押しして撮影を始めます。
- 4 シャッターボタンを全押ししてカードへの記録を開始します。



- **ProCapL**では絞り値が開放からF8.0の間に制限されます。
- Wi-Fi接続時にプロキャプチャー撮影はできません。
- オリンパス製マイクロフォーサーズレンズでのみプロキャプチャー撮影ができます。
- 半押し状態での連続撮影時間は最長1分です。撮影を続ける場合は、もう一度シャッターボタンを半押ししてください。
- 被写体の大きな動きや蛍光灯などのフリッカーにより、画像に乱れが出ることがあります。
- 連写中は、表示のブラックアウトやシャッター音は発生しません。
- シャッター速度の低速側には制限があります。
- カスタムメニューの[**Q**設定]、[**H**設定]の[**ProCap**] (P.115)で、[連写速度]、[プリ連写枚数]、[枚数リミッター]を設定できます。
- 被写体の明るさやISO感度、露出補正の設定によっては、カスタムメニューの[フレームレート] (P.116)の設定よりも表示が遅くなる場合があります。
- **ProCapH**では、AF方式(P.44, 52)の[**C-AF**]および[**C-AF+TR**]は[**S-AF**]に設定されます。



より解像度の高い静止画を撮影する(ハイレゾショット)

静物を撮影するとき、より高い解像度の静止画を撮影できます。1枚の画像撮影中に撮像素子を移動させて複数回撮影することで、高解像度の画像を記録します。三脚などでカメラを固定して撮影してください。

シャッターボタンを全押ししてからシャッターが切れるまでの時間を $\frac{1}{2}$ 撮影メニュー2の[ハイレゾショット]で変更できます。[Off]にすると設定項目に表示されません(P.100)。

ハイレゾショットが設定されているときは、画質モードでハイレゾ撮影の画質の選択ができます(P.57, 90)。


- 1  ボタンを押します。
- 2 リアダイヤルを回してを選択し、**OK**ボタンを押します。
- 3 撮影します。

- カメラが安定していないときは (ハイレゾのアイコン)が点滅します。点滅が終わるまで待って撮影してください。
- 緑色の (ハイレゾのアイコン)が消えると、撮影終了です。
- 選択可能な画質モードはJPEG (50MFまたは25MF)とJPEG+RAWです。画質をRAW+JPEGにしたときは、ハイレゾショットのRAW以外に合成前のRAW画像(拡張子「.ORI」)を1枚保存します。合成前のRAW画像は最新版のOLYMPUS Viewer 3で再生できます。
- 蛍光灯やLED照明などの光源下では画質が荒くなる場合があります。
- [手ぶれ補正] (P.54)は[Off]になります。

HDR (ハイダイナミックレンジ)撮影をする

複数枚の撮影をして、自動的にHDR合成した画像を撮影します。パソコンでHDR合成処理をするための複数枚の画像だけを撮影することもできます(HDRブラケット撮影)。

[HDR1]または[HDR2]では、P/A/Sモードで露出補正が可能です。また、Mモードではお好みの露出でHDR撮影ができます。

- 1 HDRボタンを押します。
- 2 フロントダイヤルを回して設定を選びます。

HDR1	露出を変えて4枚の撮影をして、カメラ内でHDR合成をします。HDR2はHDR1より印象的な画像になります。ISO感度は200に固定されます。また、設定できる最長のシャッター速度は4秒、最長の露出は15秒までになります。
HDR2	
3F 2.0EV	HDRブラケット撮影をします。枚数と露出差の組み合わせを選択します。
5F 2.0EV	HDR合成の処理はしません。
7F 2.0EV	
3F 3.0EV	
5F 3.0EV	

- 3 撮影します。
 - シャッターボタンを押すと、自動的に設定した枚数の撮影を行います。
 - シャッター速度を遅くして撮影すると、画像にノイズが目立つ場合があります。
 - 三脚などでカメラを固定して撮影してください。
 - 撮影中にモニターやファインダーに表示される画像は、HDR処理された画像とは異なります。
 - [HDR1]または[HDR2]の場合、HDR処理された画像はJPEGで記録されます。画質モードが[RAW]のときはRAW+JPEGで記録されます。
 - [HDR1]または[HDR2]に設定すると、ピクチャーモードは[Natural]に、カラー設定は[sRGB]に固定されます。
 - フラッシュ撮影、ブラケット撮影、多重露出撮影、インターバル撮影とHDR撮影は併用できません。

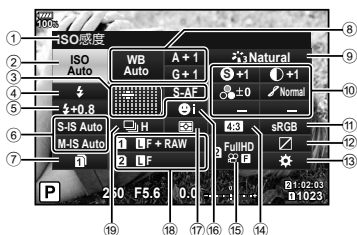
スーパーコンパネから設定する

その他の主な撮影機能はLVスーパーコンパネから設定します。

Ⓞ ボタンを押してLVスーパーコンパネを表示します。

△▽◀▶ やタッチ操作で機能を選択して設定を変更します。

LVスーパーコンパネ



スーパーコンパネ



使用可能な設定機能

- | | | |
|-----------------|--------------------|------|
| ① 現在選択している機能 | ⑪ カラー設定 | P.67 |
| ② ISO感度 | ⑫ ハイライト&シャドウコントロール | P.67 |
| ③ ④ AF方式 | ⑬ ボタン機能割り当て | P.68 |
| AFターゲット | ⑭ アスペクト比 | P.55 |
| P.41 | ⑮ 画質モード | P.58 |
| ④ フラッシュモード | ⑯ 顔優先 | P.41 |
| P.59 | ⑰ 測光方式 | P.52 |
| ⑤ フラッシュ補正值 | ⑱ ① 画質モード | P.57 |
| P.61 | ⑱ ② 連写/セルフタイマー | P.55 |
| ⑥ 手ぶれ補正 | | |
| P.54 | | |
| ⑦ ⑧ 記録設定 | | |
| P.56 | | |
| ⑧ ホワイトバランス | | |
| P.53 | | |
| ⑧ ホワイトバランス補正 | | |
| P.53 | | |
| ⑨ ピクチャーモード | | |
| P.62 | | |
| ⑩ シャープネス | | |
| ⑩ コントラスト | | |
| ⑩ 彩度 | | |
| ⑩ 階調 | | |
| ⑩ フィルター効果 | | |
| ⑩ 調色 | | |
| ⑩ 効果 | | |
| ⑩ Color*1 | | |
| P.35 | | |
| ⑩ Color/Vivid*2 | | |
| P.73 | | |

*1 パートカラー設定時に表示されます。

*2 カラークリエイター設定時に表示されます。

感度を変更する(ISO感度)

ISO感度を設定します。

☞ 「感度を変更する(ISO感度)」(P.43)

- 1 **OK** ボタンを押して、LVスーパーコンパネを表示します。
- 2 $\Delta \nabla < \triangleright$ で[ISO感度]を選択します。
- 3 フロントダイヤルで設定値を選択します。

ISO感度



ピントの合わせ方を設定する(AF方式)

ピント合わせの方法(フォーカスモード)を選択します。

☞ 「ピントの合わせ方を設定する(AF方式)」(P.44)

- 1 **OK** ボタンを押して、LVスーパーコンパネを表示します。
- 2 $\Delta \nabla < \triangleright$ で[AF方式]を選択します。
- 3 フロントダイヤルで設定値を選択します。

AF方式



明るさを測る方法を選ぶ(測光)

カメラが被写体の明るさを測定する方法を変更します。

☞ 「明るさを測る方法を選ぶ(測光)」(P.46)

- 1 **OK** ボタンを押して、LVスーパーコンパネを表示します。
- 2 $\Delta \nabla < \triangleright$ で[測光]を選択します。
- 3 フロントダイヤルで設定値を選択します。



測光

画像の色合いを調整する(ホワイトバランス)

ホワイトバランスを設定します。

☰ 「画像の色合いを調整する(ホワイトバランス)」(P.43)

- 1 **OK** ボタンを押して、LVスーパーコンパネを表示します。
- 2 $\Delta \nabla \langle \rangle$ で[ホワイトバランス]を選択します。
- 3 フロントダイヤルで設定値を選択します。

ホワイトバランス



ホワイトバランスを微調整する(ホワイトバランス補正)

オートホワイトバランス、プリセットホワイトバランスそれぞれに、補正値を設定して微調整できます。

- 1 **OK** ボタンを押して、LVスーパーコンパネを表示します。
- 2 $\Delta \nabla \langle \rangle$ で[ホワイトバランス]を選択します。
- 3 フロントダイヤルで設定値を選択します。
- 4 $\Delta \nabla \langle \rangle$ でホワイトバランス補正を選択します。
- 5 フロントダイヤルで補正値を変更します。

ホワイトバランス補正



A方向(赤 - 青)で補正する場合

+方向で赤味がかり、-方向で青味がかった画像になります。

G方向(緑 - 赤紫)で補正する場合

+方向で緑の色味が増し、-方向で赤紫がかった画像になります。

- すべてのホワイトバランスモードを一括して補正したい。☰ [全WBモード補正](P.120)

手ぶれを抑えて撮影する(手ぶれ補正)

被写体が暗い場面や、高倍率撮影などで起きやすい手ぶれを抑えることができます。シャッターボタンの半押しから手ぶれ補正が働きます。

- 1 **OK** ボタンを押して、LVスーパーコンパネを表示します。
- 2 **△▽<▷** で手ぶれ補正を選択します。
- 3 フロントダイヤルで設定値を選択します。



手ぶれ補正 手ぶれ補正

静止画 (S-IS)	OFF	静止画 手ぶれ補正 Off	手ぶれを補正しません。
	S-IS AUTO	手ぶれ補正 オート	流し撮りの方向を検知して、最適な手ぶれ補正をします。
	S-IS1	全方向補正	手ぶれを補正します。
	S-IS2	縦ぶれ補正	カメラの縦方向 の手ぶれだけを補正します。
	S-IS3	横ぶれ補正	カメラの横方向 の手ぶれだけを補正します。カメラを縦に構えて流し撮りするときに適しています。
ムービー (M-IS)	OFF	動画 手ぶれ補正 Off	手ぶれを補正しません。
	M-IS1	全方向補正	センサーシフト式(VCM)と電子式の両方の補正を使用します。
	M-IS2	全方向補正	センサーシフト式(VCM)補正のみ行います。電子式の補正は行いません。

マイクロフォーサーズ/フォーサーズ以外のレンズを使うとき

マイクロフォーサーズ/フォーサーズレンズ以外のレンズが装着された場合は設定された焦点距離情報を使って手ぶれ補正を行います。

- **[手ぶれ補正]** の設定中に **OK** ボタンを押します。 **INFO** ボタンを押して、 **△▽<▷** で焦点距離を設定し **OK** ボタンを押します。
- 0.1mm ~ 1000.0mmまでの焦点距離が設定可能です。
- レンズに記載の数値を設定してください。
- 手ぶれが大きすぎるときやシャッター速度が極端に遅い場合、手ぶれを補正しきれないことがあります。このときは三脚を使用して撮影してください。
- 三脚使用時は **[手ぶれ補正]** を **[OFF]** に設定してください。
- 手ぶれ補正機能切り換えスイッチのあるレンズでは、レンズ側の設定が優先されます。
- レンズの手ぶれ補正機能を優先しているときは、 **[S-IS AUTO]** は **[S-IS1]** で動作します。
- 手ぶれ補正が作動していると、作動音や振動を感じることがあります。

連写する／セルフタイマーを使う

シャッターボタンを押している間、連続撮影ができます。また、セルフタイマーによる撮影もできます。

☞ 「連写する／セルフタイマーを使う」(P.47-49)。

- 1 **OK** ボタンを押して、LVスーパーコンパネを表示します。
- 2 **△▽<▷** で連写／セルフタイマーを選択します。
- 3 フロントダイヤルで設定値を選択します。



連写／セルフタイマー

アスペクト比を設定する

撮影時のアスペクト比(横×縦)を変更します。撮影目的に応じた縦横比を**[4:3]**(基準) / **[16:9]** / **[3:2]** / **[1:1]** / **[3:4]**から選びます。

- 1 **OK** ボタンを押して、LVスーパーコンパネを表示します。
- 2 **△▽<▷** で**[アスペクト比設定]**を選択します。
- 3 フロントダイヤルで設定値を選択します。



アスペクト比設定

- アスペクト比は、静止画撮影時のみ設定できます。
- JPEG形式の画像は、アスペクト比に応じてトリミングされて保存されますが、RAW画像はトリミングされずに、撮影時のアスペクト比情報が付加された状態で記録されます。
- RAW画像再生時は、アスペクト比に応じた枠が表示されます。

撮影データの記録方法を設定する(📷記録設定)

カードに撮影データを記録する方法を設定します。

- 1 **OK** ボタンを押して、LVスーパーコンパネを表示します。
- 2 **△▽<▷**で**📷記録設定**を選択します。
- 3 フロントダイヤルで項目を選択します。



📷記録設定

<input type="checkbox"/> (標準)	書き込み可能なカードが1枚の場合は自動的に標準になります。カードが2枚装着されている場合は 📷記録スロット で指定したカードに記録します(P.133)。
<input type="checkbox"/> (自動切換)	📷記録スロット で指定したカードに書き込めなくなると、もう一方のカードに記録します(P.133)。
<input type="checkbox"/> (振り分け↓)	カードスロット1、2それぞれのカードに指定されている画質モードで記録します(P.57, 90)。いずれかのカードに書き込めなくなると、撮影できなくなります。 📷振り分け↓ に設定すると、画質モードが変更されますので再度設定してください。
<input type="checkbox"/> (振り分け↑)	カードスロット1、2それぞれのカードに指定されている画質モードで記録します(P.57, 90)。いずれかのカードに書き込めなくなると、書き込み可能なカードにのみ記録します。 📷振り分け↑ に設定すると、画質モードが変更されますので再度設定してください。
<input type="checkbox"/> (同一書き込み↓)	カードスロット1、2両方のカードに同じ画質モードで記録します。いずれかのカードに書き込めなくなると、撮影できなくなります。
<input type="checkbox"/> (同一書き込み↑)	カードスロット1、2両方のカードに同じ画質モードで記録します。いずれかのカードに書き込めなくなると、書き込み可能なカードにのみ記録します。

- **OK** ボタンを押すとカスタムメニューの**📷カードスロット設定**(P.133)が表示され、撮影データの記録先カードなどの設定ができます。
- **📷記録設定**の設定を変更したり、カードを抜き差しして記録可能なカードが切り換わると、画質モードが変更されることがありますので、撮影前に必ずご確認ください。

画質を選択する(画質モード)

静止画の画質モードを設定します。パソコンでの加工やホームページでの使用など用途に応じて選べます。記録先のカードごとに設定できます。

1 **OK** ボタンを押して、LVスーパーコンパネを表示します。

2 **△▽<>** で **[画質モード]** を選択します。

- カードスロットごとに画質モードを設定できます。
[記録設定] が **[振り分け↑]** または **[振り分け↓]** に設定されているときは、別々の画質モードを設定できます(P.56)。



画質モード

3 フロントダイヤルで設定値を選択します。

- 選択可能な画質モードはJPEG (**L**/**F**/**N**/**M**/**S**)とRAWです。JPEG+RAWの場合、JPEGとRAWの2種類の画像を同時に記録します。JPEGは画像サイズ(**L**/**M**/**S**)と圧縮率(SF/F/N/B)の組み合わせからできています。
- **L**/**F**/**N**/**M**/**S**以外の組み合わせを設定したいときは、カスタムメニューの**[画質設定]** (P.120)の設定を変更してください。
- ハイレゾショット(P.49)が設定されているときは、**50MF**、**25MF**、**50MF+RAW**、**25MF+RAW**の選択ができます。
- **[記録設定]** を **[振り分け↑]** または **[振り分け↓]** に設定すると、画質モードが変更されますので再度設定してください。
- **[記録設定]** の設定を変更したり、カードを抜き差しして記録可能なカードが切り換わると、画質モードが変更されることがありますので、撮影前に必ずご確認ください。

RAW画像とは

写真にする前の未加工の状態で、撮影後に絵作りをしたり、念のために保存しておくためのデータ(拡張子「.ORF」)です。他のカメラや一般のソフトウェアでの再生・表示、プリント予約はできません。このカメラでJPEGにすることができます。☞ **[画像編集]** (P.106)

画質を選択する(画質モード)

用途に応じてムービーの画質モードを設定します。

【カードスロット設定】でムービーの記録先に設定されているカードの記録画質モードを設定します。☞「記録先カードを設定する」(P.133)

- 1 〇ボタンを押して、LVスーパーコンパネを表示します。
- 2 △▽◀▶で【画質モード】を選択します。



画質モード

- 3 フロントダイヤルで設定値を選択します。

- 〇ボタンを押してから**INFO**ボタンを押し、リアダイヤルを回すと、各画質モードの設定値を変更できます。

画質モード	用途	変更できる設定値
FHD 30p (Full HD Fine 30p)*1	クリップスの撮影 (P.74)	ムービーサイズ、ビットレート、フレームレート、撮影時間*4
4K 30p (4K 30p)*1	設定1	ムービーサイズ、ビットレート、フレームレート*4
FHD Super Fine 60p (Full HD Super Fine 60p)*1*2	設定2	ムービーサイズ、ビットレート、フレームレート*4
FHD Fine 60p (Full HD Fine 60p)*1*2	設定3	ムービーサイズ、ビットレート、フレームレート*4
FHD Normal 60p (Full HD Normal 60p)*1*2	設定4	ムービーサイズ、ビットレート、フレームレート*4
C4K 24p (C4K 24p)*1	カスタム	ムービーサイズ、ビットレート、フレームレート、クリップスの最長時間、スロー/クイック撮影*4
FHD (1280×720, Motion JPEG)*3	パソコンでの再生や編集	—

*1 MPEG-4 AVC/H.264形式。1ファイルは4GBに制限されます。1回の撮影は最長29分に制限されます。

*2 All-Intraはフレーム間の圧縮をしないで記録されるムービーです。編集に向いていますが、データの容量が大きくなります。

*3 1ファイルは2GBに制限されます。

*4 画質モードを設定できます。

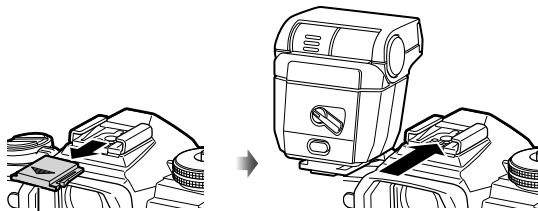
☞【画質設定】(P.101)

- 使用するカードによっては、最長時間まで記録されずに途中で撮影が終了する場合があります。
- 設定の組み合わせによってはビットレートの変更ができない場合があります。

フラッシュを使って撮影する(フラッシュ撮影)

1 ホットシューカバーを外して、フラッシュをカメラに装着します。

- フラッシュは奥に突き当たるまでしっかりと差し込みます。

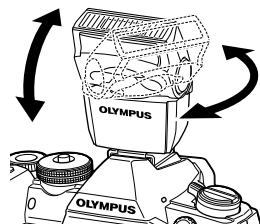


ホットシューカバー

フラッシュの向きを変える

発光部の向きは上方向と左右に変えることができます。
バウンス撮影ができます。

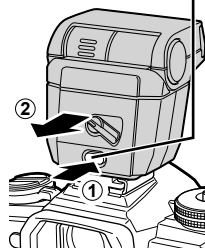
- バウンス撮影ではフラッシュの光量不足にご注意ください。



フラッシュを取り外す

フラッシュのUNLOCKスイッチを押しながら、外します。

UNLOCKスイッチ



2 フラッシュのON/OFFレバーをONの位置に合わせて電源を入れます。

- フラッシュを使わないときは、レバーをOFFの位置に戻します。

ON/OFFレバー










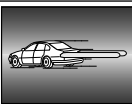


- 3 OK ボタンを押して、LVスーパーコンパネを表示します。
- 4 $\Delta \nabla \langle \triangleright$ で[フラッシュ]を選択します。





フラッシュ

- 5 フロントダイヤルで設定値を選択します。

- 撮影モードによってフラッシュ発光モードの種類と並びの順番は異なります。
 「撮影モード別使用可能なフラッシュ発光モード」(P.61)

	発光	フラッシュを必ず発光させます。
	発光禁止	フラッシュは発光しません。
	赤目軽減発光	人物の目が赤く写る現象を起りにくくします。
	スローシンクロ (先幕シンクロ)	背景が明るく撮れるように遅いシャッター速度でフラッシュを発光させます。
	スローシンクロ (先幕シンクロ) + 赤目軽減発光	スローシンクロと赤目軽減発光を併用します。
	スローシンクロ (後幕シンクロ)	移動方向の後ろに流れた写真にするために、シャッターを閉じる直前で発光します。 
  など	マニュアル発光	マニュアル操作で撮影をする人向け。OK ボタンを押し、さらに INFO ボタンを押すと、ダイヤルで発光量を選べます。

- 【 (赤目軽減発光)】では、最初の予備発光からシャッターが切れるまで約1秒かかります。撮影が終わるまでカメラを動かさないください。
- 撮影状況によっては、【 (赤目軽減発光)】の効果が得られないことがあります。
- フラッシュ発光時、シャッター速度は1/250秒以下に設定されます。背景の明るい被写体では、発光すると背景が露出オーバーになることがあります。
- 静音撮影およびフォーカスブラケット撮影時(P.95)は同調速度が1/50秒になります。また、ISO感度が8000以上に設定されている場合やISOブラケット撮影時(P.95)は、同調速度が1/20秒になります。

撮影モード別使用可能なフラッシュ発光モード

撮影モード	LVスーパーコンパネの表示	フラッシュ発光モード	発光タイミング	発光許可条件	シャッター速度制限条件
P/A	⚡	発光	先幕シンクロ	いつでも発光	30秒～1/250秒*
	⚡👁	赤目軽減			1/30秒～1/250秒*
	👁	発光禁止	—	—	
	👁 SLOW	スローシンクロ (赤目軽減)	先幕シンクロ	いつでも発光	60秒～1/250秒*
	⚡ SLOW	スローシンクロ (先幕シンクロ)			
⚡ SLOW2	スローシンクロ (後幕シンクロ)	後幕シンクロ	—	—	
S/M	⚡	発光	先幕シンクロ	いつでも発光	60秒～1/250秒*
	⚡👁	赤目軽減			
	👁	発光禁止	—	—	
	⚡ SLOW2	スローシンクロ (後幕シンクロ)	後幕シンクロ	いつでも発光	60秒～1/250秒*

• **AUTO**では⚡、👁のみ選択できます。

* 別売の専用フラッシュ使用時は、1/250秒

至近限界

被写体が近いとレンズの影になったり、発光量を最小にしても強すぎる場合があります。

レンズ	影になる限界 (目安)
ED 12-40mm f2.8 PRO	0.6m
ED 40-150mm f2.8 PRO	0.6m

• 影を防ぐには専用外部フラッシュをお使いください。また、露出オーバーを防ぐには**A**、**M**モードなどで絞り値を大きく、ISO感度を小さく設定して撮影します。

フラッシュの発光量を調節する(フラッシュ発光量補正)

フラッシュの光で被写体が白くとんでしまったり、全体的にはちょうどよい明るさなのに被写体だけが暗い写真になってしまうときにフラッシュの発光量を調整します。

- 1 **OK** ボタンを押して、LVスーパーコンパネを表示します。
- 2 **△▽<▷**で[フラッシュ補正]を選択します。
- 3 フロントダイヤルで設定値を選択します。














フラッシュ補正

- 専用外部フラッシュの調光モードが**MANUAL**のときは、この設定は動きません。
- 専用外部フラッシュで発光補正されていると、カメラの発光補正量に加算されて働きます。

画像の仕上がりを設定する(ピクチャーモード)

画像の色調を選択することができます。また個別に、コントラストやシャープネスなどの画像パラメータを微調整することもできます(P.63)。調整したパラメータは仕上がりの項目ごとに記憶されます。

■ ピクチャーモードの種類

 i-Finish	撮影シーンに合った印象的な仕上がりになります。
 Vivid	色鮮やかに仕上げます。
 Natural	自然な色合いに仕上げます。
 Flat	素材性を重視した仕上がりになります。
 Portrait	肌色をきれいに仕上げます。
 モノトーン	モノクロ調に仕上げます。
 カスタム	仕上がりの項目の1つを選んで各パラメータを設定し、登録します。
 eポートレート	肌をなめらかに整えます。ムービー撮影やブラケット撮影では使えません。
 水中	水中写真にあった色鮮やかな色彩に仕上げます。 ・  [水中] を設定して撮影するときは、 [+WB連動] を [Off] に設定することをおすすめします(P.120)。
 カラークリエイター	カラークリエイター (P.73)で設定した色合いに仕上げます。
ART 1 ポップアート	アートフィルターの設定になります。さらにそれぞれのアートエフェクト機能が使えます。
ART 2 ファンタジックフォーカス	
ART 3 デイドリーム	
ART 4 ライトトーン	
ART 5 ラフモノクローム	
ART 6 トイフォト	
ART 7 ジオラマ	
ART 8 クロスプロセス	
ART 9 ジェントルセピア	
ART 10 ドラマチックトーン	
ART 11 リーニユクレール	
ART 12 ウォーターカラー	
ART 13 ヴィンテージ	
ART 14 パートカラー	

- 1 OK ボタンを押して、LVスーパーコンパネを表示します。
- 2 $\Delta \nabla \langle \triangleright$ で [ピクチャーモード] を選択します。

ピクチャーモード



- 3 フロントダイヤルで設定値を選択します。
 - ピクチャーモードで選択できる項目は、撮影モードによって異なります (P.24)。
 - 使わないピクチャーモードを非表示にすることができます。 [ピクチャーモード表示] (P.116) 一部のピクチャーモードは非表示にできません。

鮮鋭さを微調整する(シャープネス)

ピクチャーモード(P.62)の設定に、個別にシャープネスの微調整をして記憶しておくことができます。

- 撮影モードによっては調整できません(P.24)。

- 1 OK ボタンを押して、LVスーパーコンパネを表示します。
- 2 $\Delta \nabla \langle \triangleright$ で [シャープネス] を選択します。
- 3 フロントダイヤルで設定値を選択します。

シャープネス



明暗の差を微調整する(コントラスト)

ピクチャーモード(P.62)の設定に、個別にコントラストの微調整をして記憶しておくことができます。

- 撮影モードによっては調整できません(P.24)。

- 1 OK ボタンを押して、LVスーパーコンパネを表示します。
- 2 $\Delta \nabla \langle \triangleright$ で [コントラスト] を選択します。
- 3 フロントダイヤルで設定値を選択します。

コントラスト



色の鮮やかさを微調整する(彩度)

ピクチャーモード(P.62)の設定に、個別に彩度の微調整をして記憶させておくことができます。

- ・撮影モードによっては調整できません(P.24)。

- 1 **Ⓞ** ボタンを押して、LVスーパーコンパネを表示します。
- 2 **△▽◀▶** で[彩度]を選択します。
- 3 フロントダイヤルで設定値を選択します。



画像の階調を微調整する(階調)

ピクチャーモード(P.62)の設定に、個別に階調の微調整をして記憶させておくことができます。

- ・撮影モードによっては調整できません(P.24)。

- 1 **Ⓞ** ボタンを押して、LVスーパーコンパネを表示します。
- 2 **△▽◀▶** で[階調]を選択します。
- 3 フロントダイヤルで設定値を選択します。



AUTO: オート	画像を細かい領域にわけて部分的に明るさを補正します。黒つぶれ・白とびの起きやすい明暗さの大きい画像に有効です。
NORM: 標準	通常は標準に設定してください。
HIGH: ハイキー	明るい被写体に適した階調にします。
LOW: ローキー	暗い被写体に適した階調にします。

モノトーンにフィルター効果をつける(フィルター効果)

ピクチャーモード(P.62)のモノトーンの設定に、フィルター効果をつけて記憶させておくことができます。フィルター色と同じ色を明るく、補色を暗くした白黒画像にします。

- 1 **Ⓞ** ボタンを押して、LVスーパーコンパネを表示します。
- 2 **△▽◀▶** で[ピクチャーモード]を選択します。
- 3 フロントダイヤルで[モノトーン]を選択します。
- 4 **△▽◀▶** で[フィルター効果]を選択します。

フィルター効果



- 5 フロントダイヤルで項目を選択します。

N:無し	通常の白黒画像になります。
Ye:黄	自然な青空にくっきりとした白い雲が再現されます。
Or:オレンジ	青空らしさ・夕日の輝きが少し強調されます。
R:赤	青空らしさ・紅葉の輝きがよりいっそう強調されます。
G:緑	赤い唇・緑の葉がよりいっそう強調されます。

モノトーンの調色をする(調色)

ピクチャーモード(P.62)のモノトーンの設定に、色味を付ける設定を記憶させておくことができます。

- 1 **☉** ボタンを押して、LVスーパーコンパネを表示します。
- 2 **△▽◀▶** で[ピクチャーモード]を選択します。
- 3 フロントダイヤルで[モノトーン]を選択します。
- 4 **△▽◀▶** で[調色]を選択します。



- 5 フロントダイヤルで設定値を選択します。

N: 無し	通常の白黒画像になります。
S: セピア	セピア
B: 青	青味
P: 紫	紫味
G: 緑	緑味

i-Finishの効果を調整する(効果)

ピクチャーモード(P.62)のi-Finishの効果の強弱を設定します。

- 1 **☉** ボタンを押して、LVスーパーコンパネを表示します。
- 2 **△▽◀▶** で[効果]を選択します。
- 3 フロントダイヤルで設定値を選択します。



Effect Low (効果 弱)	弱めの効果を画像に加えます。
Effect STD (効果 標準)	弱と強の中間程度の効果を画像に加えます。
Effect High (効果 強)	強めの効果を画像に加えます。

色の再現方式を設定する(カラー設定)

撮影した画像をモニターやプリンターで再現する際、色再現を正しく行うための方式を選択します。カスタムメニューの[カラー設定] (P.121)と同じ機能です。

- 1 **OK** ボタンを押して、LVスーパーコンパネを表示します。
- 2 **△▽◀▶** で[カラー設定]を選択します。
- 3 フロントダイヤルで設定値を選択します。



カラー設定

sRGB	国際電気標準会議 (IEC) が定めたRGB色空間の規格。通常は[sRGB]に設定してください。
AdobeRGB	アドビシステムズ社が提唱した規格。正しく映像として出力するには、対応したソフトウェア、ディスプレイ、プリンターなどのハードウェアが必要です。

- **ART** (P.34)、HDR、ムービーモードでは、[AdobeRGB]を選択できません。

ハイライト部/シャドウ部の明るさを変えて撮影する

[ハイライト&シャドウコントロール]を使うと、ハイライト部とシャドウ部の明るさを調整できます。

- 1 **OK** ボタンを押して、LVスーパーコンパネを表示します。



ハイライト&シャドウ

- 2 **△▽◀▶** で[ハイライト&シャドウ]を選択し、**OK** ボタンを押します。
- 3 リアダイヤルでシャドウ部、フロントダイヤルでハイライト部をそれぞれ補正します。

- 設定をリセットするには**OK**を長押しします。

INFO ボタンを押すと、中間部の調整画面に切り換わります。



- ボタン機能の[マルチFn] (マルチファンクション) (P.70)で[ハイライト&シャドウコントロール]を割り当てているときは、割り当てたボタンでも設定画面を表示できます。

ボタン機能を割り当てる(ボタン機能)

初期設定では、各ボタンにそれぞれ以下の機能が割り当てられています。

ボタン	初期設定	ボタン	初期設定
ボタン機能	[::]選択	ボタン機能	⚡ (静止画) / 電動ズーム* (ムービー)
ボタン機能	マルチFn	ボタン機能	📷/🔋 (静止画) / ISO/WB (ムービー)
ボタン機能	◎REC	ボタン機能	[::]選択
ボタン機能	AEL/AFL	ボタン機能	AEL/AFL
ボタン機能	📷 (静止画) / ピーキング(ムービー)	ボタン機能	[::]選択(静止画) / ダイレクト機能 (ムービー)
ボタン機能	🔍 (静止画) / Q (ムービー)	ボタン機能	⚡ (静止画) / 電動ズーム* (ムービー)
ボタン機能	O	ボタン機能	📷/🔋 (静止画) / ISO/WB (ムービー)
ボタン機能	[::]選択(静止画) / ダイレクト機能 (ムービー)	ボタン機能	AF停止


















* 電動ズーム機能つきレンズを使用時のみ









各ボタンの割り当て機能を変更したい場合は、以下の手順で変更できます。








- 1 ボタンを押して、LVスーパーコンパネを表示します。
- 2 で ボタン機能] または ボタン機能] を選択し、 ボタンを押します。
 - 撮影モードが静止画モードの場合はカスタムメニューの ボタン機能] (P.114)が、ムービーモードの場合は ボタン/ダイヤルレバー] の ボタン機能] (P.101)が表示されます。
- 3 リアダイヤルでボタンを選択します。
- 4 フロントダイヤルを回し設定画面を切り換え、リアダイヤルで項目を選択し、 ボタンを押します。
 - ボタンによって選択できる機能は異なります。




















ボタン機能



AF停止	AF動作を停止します。
 (AEL/AF-L)	AEロックやAFロックとして働きます。 [AEL/AF-Lモード] (P.125)の設定により機能は変わります。AELのときは、一度ボタンを押すと露出が固定され画面に [AEL] が表示されます。再度押すと解除します。
 REC	ボタンを押すと、ムービーを撮影できます。
 (プレビュー)	ボタンを押している間、設定された絞り値まで絞り込みます。カスタムメニューの [プレビュー設定] (P.117)で [AFロック] を [On] に設定すると、ボタンを放しても設定された絞り込み状態を保持します。
 (ワンタッチWB)	ボタンを押しながらシャッターボタンを押すと、ホワイトバランスの値を取得します(P.43)。
 ([::]選択)	AFターゲットの設定をします(P.40, 41)。
 ([::]HP) ([::]Home)	ボタンを押すと、 [::]Home登録 (P.113)で登録したAFのホームポジションに切り換わります。再度押すと元の設定に戻ります。ホームポジションに切り換えた状態で電源をオフにすると、ホームポジションに切り換える前のAFターゲット位置はリセットされます。
MF切換	ボタンを押すと、AF方式が [MF] に切り換わります。再度押すと、元のAF方式に切り換わります。ボタンを押しながらダイヤルを回すとフォーカスモードを切り換えることができます。
RAW 	ボタンを押すと、JPEG撮影時の画質はRAW+JPEGに、RAW+JPEGはJPEGに切り換わります。ボタンを押しながらダイヤルを回すと画質モードを切り換えることができます。
 TEST (試し撮り撮影)	ボタンを押しながらシャッターボタンを押すと、画像を記録せずにモニターに表示します。
 /  (水中ワイド/水中マクロ)	防水プロテクター装着時に、ボタンで  と  を切り換えられます。ボタンを押し続けると元の撮影モードに戻ります。電動ズーム機能のあるレンズを使用中は、  、  の切り換えに連動してズームを広角端、望遠端に自動的にセットします。
 (露出補正)	露出補正をします。 P/A/S モードでボタンを押すと、ダイヤルや<D>で露出補正を変更できます。 M モードでボタンを押すと、ダイヤルや△▽<D>でシャッター速度や絞り値を変更できます。
 (デジタルテレコン)	ボタンを押すたびに [On] と [Off] の切り換えができます。
 (デジタルシフト撮影)	ボタンを押すとデジタルシフト撮影の設定ができます。もう一度ボタンを押すと設定画面を終了します。設定されているデジタルシフトをキャンセルするには、ボタンを長押しします。

Q (拡大)	ボタンを押すと拡大枠が表示され、もう一度押すと画像が拡大されます。中止するにはボタンを長押しします。
HDR撮影	記憶されている設定でHDR撮影に設定されます。もう一度ボタンを押すと解除します。ボタンを押しながらダイヤルを回すとHDRモードを切り換えることができます。
BKT切換	記憶されている設定でBKT撮影に設定されます。もう一度ボタンを押すと解除します。ボタンを押しながらダイヤルを回すとBKTモードを切り換えることができます。
 ISO /  WB	フロントダイヤルでISO感度の設定、リアダイヤルでホワイトバランスの設定をします。
 WB /  ISO	フロントダイヤルでホワイトバランス、リアダイヤルでISO感度の設定をします。
マルチFn	[マルチFn]が割り当てられたボタンを押すと、選択されているマルチファンクションを呼び出せます。  「マルチファンクションを使う(マルチFn)」(P.71)
ピーキング	ボタンを押すたびに表示/非表示が切り換わります。ピーキング表示中は、ヒストグラムやハイライト/シャドウ表示はできません。ピーキング表示中に INFO ボタンを押して色や強度を変更できます。
 水準器表示	ボタンを押すと、ファインダーに水準器が表示され、再度押すと表示が消えます。[EVF表示スタイル](P.135)で[スタイル1]、[スタイル2]に設定しているときに有効です。
IOI (IOI切換)	ボタンを押すと、ライブビューの表示/非表示を切り換えます。アイセンサーが無効な場合は、モニター表示とEVF表示を切り換えます。
 (OVFシミュレーション)	ファインダーに表示される画像を光学ビューファインダーのように表示します。ボタンを押して[OVFシミュレーション]を開始すると、ファインダー内に  が表示されます。[OVFシミュレーション]を終了するにはもう一度ボタンを押します。
AFリミッター	ボタンを押すたびに、AFリミッターのオン、オフを切り換えます。ボタンを押しながらダイヤルを回すと、AFリミッターモードを切り換えることができます。
プリセットMF	ボタンを押すとプリセットMFに切り換わります。もう一度押すと元のAF方式に切り換わります。ボタンを押しながらダイヤルを回すと、フォーカスモードを切り換えることができます。
 Lens (レンズ情報登録)	レンズ情報登録メニューを呼び出します(P.134)。
手ぶれ補正	ボタンを押すたびに、手ぶれ補正のオン、オフを切り換えます。ボタンを押しながらダイヤルを回すと、手ぶれ補正モードを切り換えることができます。

 (フラッシュ)	フラッシュの発光モードの設定をします。 あらかじめ[ ボタン機能]を[ダイレクト機能]に設定しておく必要があります。
	連写やセルフタイマーの設定をします。 あらかじめ[ ボタン機能]を[ダイレクト機能]に設定しておく必要があります。
 (タッチロック)	ボタンを長押しすると、タッチパネル操作の許可と禁止の切り換えができます。 あらかじめ[ ボタン機能]を[ダイレクト機能]に設定しておく必要があります。
電動ズーム	電動ズーム機能のあるレンズを使用中は、ボタンを押したあと、十字ボタンでズーム操作します。 あらかじめ[ ボタン機能]を[ダイレクト機能]に設定しておく必要があります。

- [ ボタン機能]および[ ボタン機能]を使うには、[ ボタン機能]を[ダイレクト機能]に設定しておく必要があります。
- [ ボタン機能]および[ ボタン機能]を使うには、[ ボタン機能]を[ダイレクト機能]に設定しておく必要があります。
-  ボタンが[ダイレクト機能]のときは、   のそれぞれに機能を割り当てます。
-  ボタンが[:::]のときは、AFターゲットを選択します。
- **L-Fn** ボタンは、一部のレンズに搭載されているボタンの機能を設定します。
- マルチファンクションでは、以下の機能が使用できます。
 (ハイライト&シャドウコントロール)、 (カラークリエイター)、
 (ISO感度/ホワイトバランス)、 (ホワイトバランス/ISO感度)、**Q** (拡大)、
 (アスペクト比設定)、 (OVFシミュレーション)、**PEAK** (ピーキング)

■ マルチファンクションを使う(マルチFn)

ボタンに[ ボタン機能]または[ ボタン機能]の[マルチFn]を割り当てると、複数の機能(マルチファンクション)をボタンに持たせることができます。初期設定では、マルチファンクションは**Fn2**ボタンに割り当てられています。

呼び出す機能を切り換える

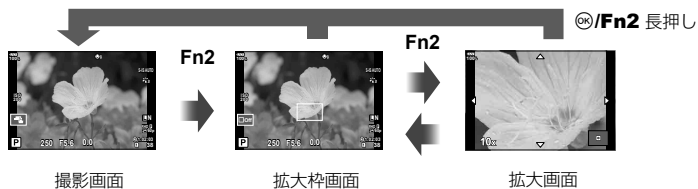
- 1 Fn2**ボタンを押した状態で、フロントダイヤルまたはリアダイヤルを回します。
 - メニューが表示されます。
- そのままダイヤルを回して機能を選択します。
 - 機能を選択したら、ボタンから指を放します。



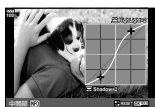
呼び出した機能を使う

Fn2ボタンを押します。機能の設定画面が表示されます。

[Q]機能を登録したとき



その他の機能を登録したとき



ハイライト&シャドウ
コントロール画面



カラークリエイター
画面



アスペクト比設定
画面

機能	フロントダイヤル (Fn)	リアダイヤル (Fn2)
[H] (ハイライト&シャドウコントロール) (P.67)	ハイライト部補正	シャドウ部補正
[C] (カラークリエイター) (P.73)	色相	彩度
[ISO] (ISO感度/ホワイトバランス) (P.43, 52 / P.43, 53)	ISO感度変更	WBモード変更
[WB] (ホワイトバランス/ISO感度) * (P.43, 53 / P.43, 52)	WBモード変更	ISO感度変更
[Q] (拡大) (P.42)	拡大画面：倍率変更	
[A] (アスペクト比設定) (P.55)	設定の変更	
[OVF] (OVFシミュレーション) (P.123)	—	
[PEAK] (ピーキング) (P.125)	—	

* [マルチFn表示設定] (P.116)で選択すると表示することができます。

画像全体の色味を調整する(カラークリエイター)

画像全体の色を色相30段階と彩度8段階の組み合わせで設定できます。
あらかじめ、**Fn2**ボタンにカラークリエイターを設定しておく必要があります(P.71)。

1 **Fn2**ボタンを押します。

- 設定画面が表示されます。



2 フロントダイヤルで色相、リアダイヤルで彩度の設定を変更します。

- OK**ボタンを長押しすると、設定がリセットされます。
- MENU**ボタンを押すと、カラークリエイターは設定されずに終了します。

3 **OK**ボタンを押します。

- 再度、カラークリエイター設定画面を表示するときは、**Fn2**ボタンを押します。
- 画質モード(P.57, 90)が**[RAW]**のときは、**RAW+JPEG**で記録されます。
- [HDR撮影]** (P.50, 96)、**[多重露出撮影]** (P.97)では、**[Natural]**で撮影されます。

マイクリップスを撮る

複数の短いムービー（クリップ）を集めて1つのマイクリップスとしてムービーファイルを作ることができます。マイクリップスには静止画も加えることができます。

■ 撮影する

- 1 モードダイヤルを M に設定します。
- 2 OK ボタンを押してLVスーパーコンパネを表示します。
- 3 $\Delta \nabla < \triangleright$ で $[\text{画質モード}]$ を選択します。



- 4 フロントダイヤルで FHD 30p を選択し、 OK ボタンを押します。
 - **INFO** ボタンを押すと $[\text{ムービーサイズ}]$ 、 $[\text{ビットレート}]$ 、 $[\text{フレームレート}]$ 、 $[\text{時間リミッター (クリップス)}]$ を変更できます。 $< \triangleright$ で $[\text{ムービーサイズ}]$ 、 $[\text{ビットレート}]$ 、 $[\text{フレームレート}]$ または $[\text{時間リミッター (クリップス)}]$ を選んでから $\Delta \nabla$ ボタンで変更します。
- 5 OK ボタンを押して撮影を始めます。
 - 設定した時間で自動的に撮影が終了して、撮影したムービーの確認画面が表示されます。 OK ボタンを押すと次の撮影ができます。
 - 撮影中に再度 OK ボタンを押すと、ボタンを押している間撮影を継続できます(最大16秒)。
- 6 OK ボタンを押して次の撮影をします。
 - 確認画面が消えて次のクリップの撮影が始まります。
 - 撮影したクリップを取り消したいときや、別のマイクリップスに保存したいときは確認画面で以下の操作をします。

Δ	マイクリップスを先頭から連続再生します。
∇	保存するマイクリップスを変更したり、追加する位置を変更します。 $< \triangleright$ でマイクリップス内の追加位置を変更できます。
ゴミ	撮影したクリップを削除します。


- シャッターを半押しすると、次の撮影に入れます。クリップは前回のクリップと同じマイクリップスに保存されます。
- $[\text{ムービーサイズ}]$ や $[\text{ビットレート}]$ 、 $[\text{フレームレート}]$ の設定が異なるクリップは、別のマイクリップスに保存されます。

マイクリップスを新しく作るには

△▽ボタンでクリップをに移動して、OKボタンを押します。





マイクリップスから解除するには

△▽<>ボタンでクリップをに移動して、OKボタンを押します。

- 解除したムービーファイルは通常のムービーファイルになります。

■ 再生する

マイクリップス内のファイルを連続して再生します。

- ▶ボタンを押して、の表示されている画像を選択します。
- OKボタンを押して、△▽で[マイクリップス再生]を選択し、OKボタンを押します。
 - マイクリップス内のファイルが連続して再生されます。
 - OKボタンを押すと連続再生を終了します。


マイクリップスの編集

マイクリップスを1つのムービーファイルにします。

撮影されたクリップは、マイクリップスに収録されています。マイクリップスにはクリップや静止画を追加することができます。画面の切り換わりの効果やアートフィルターの効果をつけることができます。

- ▶ボタンを押してから、リアダイヤルでマイクリップス再生を選択します。



- マイクリップス再生画面は、▶ボタンを押した後にが表示されている画像を選択してOKボタンを押しても、表示することができます。

- △▽ボタンでマイクリップスを選び、<>ボタンで操作するクリップを選んで、OKボタンを押します。

3 △▽ボタンで項目を選択し、**OK**ボタンを押します。

マイクリップス再生	マイクリップス内のファイルを順番に再生します。
ムービー再生	選択したクリップだけをムービー再生します。
順番変更	マイクリップス内のファイルの移動や追加をします。
次の追加先に設定	次回の撮影から、同じ設定のムービーはこのマイクリップスに追加されます。
マイクリップス消去	マイクリップス内でプロテクトされていないすべてのファイルを消去します。
1コマ消去	[実行] を選択し OK ボタンを押すと消去されます。

4 ムービーを作成するマイクリップスを表示した状態で、**[マイクリップス書出]**を選んで**OK**ボタンを押します。


5 △▽ボタンで項目を選択し、**OK**ボタンを押します。


アート効果	6種類のアート効果を適用できます。
トランジション効果	フェード効果を適用できます。
BGM	[Party Time] 、または [Off] を設定します。
録音音量	BGMを [Party Time] に設定したとき、ムービーに記録されている音声の音量を設定します。
録音音声	[On] にすると、録音音声を画像とともにムービーに書き出します。BGMが [Off] のときだけ設定できます。
プレビュー	編集したマイクリップスのファイルを順にプレビューします。



6 マイクリップスの編集を終えたら**[書出スタート]**を選んで**OK**ボタンを押します。




- 1つのムービーとして新規に保存されます。
- ムービーの書き出しには時間がかかる場合があります。
- マイクリップスは最長**15分**、最大ファイルサイズ**4GB**に制限されます。
- カードの抜き差し、消去、プロテクトなどを行ったあとは、マイクリップス表示まで時間がかかることがあります。
- マイクリップスは最大**99**個、マイクリップス1つあたりのクリップ数は最大**99**カットです。上限値はマイクリップスのファイルサイズや時間の制限によって変わります。
- クリップ以外のムービーはマイクリップスに追加できません。
- **[Party Time]**を他のBGMに変えることができます。当社ホームページからダウンロードしたデータをカードに記録して、手順5で**[BGM]**から**[Party Time]**を選んで**▷**を押します。ダウンロードについては下記のホームページをご覧ください。
<http://support.olympus-imaging.com/bgmdownload/>




スロー／クイック撮影


スローモーションやクイックモーションのムービーを作ることができます。ムービー画質のムービー c で録画速度を設定します。



1  ボタンを押してLVスーパーコンパネを表示します。

2  で [画質モード] を選択します。

3 フロントダイヤルで   (カスタムの画質モード) (P.58) を選択し、 ボタンを押します。

- **INFO** ボタンを押すと [スロー/クイック効果] を変更できます。 で [スロー/クイック効果] を選んでから  ボタンで倍率を選び、 ボタンを押します。倍率を大きくするとクイック撮影、小さくするとスロー撮影になります。フレームレートは倍率に合わせて変更されます。

4  ボタンを押して撮影を始めます。

- 撮影を終了するときにはもう一度  ボタンを押します。
- 再生時は決まった速度で再生されるので、スローモーションやクイックモーションに見えるムービーになります。
- 音声は記録されません。
- ピクチャーモードのアートフィルターは解除されます。
- [画質モード] の設定によっては、スロー撮影、クイック撮影の片方もしくは両方が設定できない場合があります。
- **AF** (オートフォーカス) 時は、シャッター速度は1/24以上に制限されます。この制限は、**MF** (マニュアルフォーカス) には適用されません。
- ムービーの **P**、**A**、**S** モードでは、シャッター速度は1/24以上に制限されます。
- ムービーの **M** モードでは、**AF** または **MF** に応じてシャッター速度が制限されます。**MF** から **AF** への切り換えはできません。

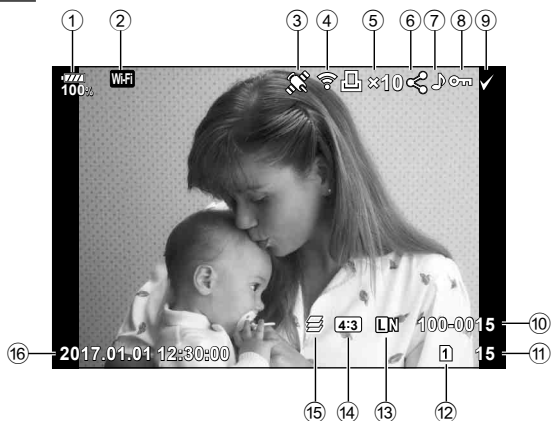


3 再生する

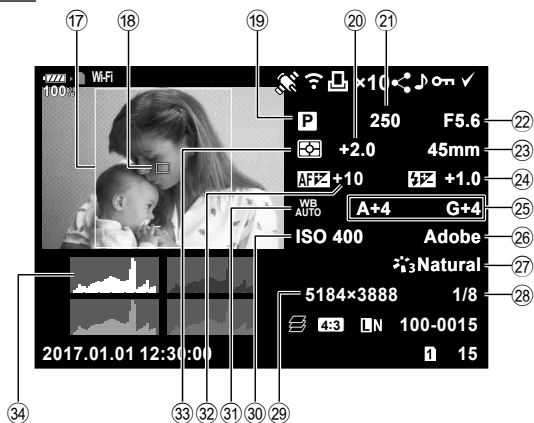
再生時の情報表示

再生画像情報

簡易表示



総合表示

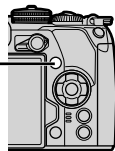


- | | | | |
|-----------------------------------|-----------|----------------------|----------|
| ① 電池残量 | P.18 | ①7 アスペクト枠 | P.55 |
| ② 無線LAN接続 | P.136-141 | ①8 AFターゲット表示 | P.41 |
| ③ GPS位置情報有り | P.139 | ①9 撮影モード | P.24-38 |
| ④ Eye-Fi送信完了 | P.124 | ②0 露出補正 | P.40 |
| ⑤ プリント予約
プリント枚数 | P.147 | ②1 シャッター速度 | P.26-29 |
| ⑥ シェア予約 | P.84 | ②2 絞り値 | P.26-29 |
| ⑦ 録音 | P.85, 108 | ②3 焦点距離 | |
| ⑧ プロテクト(保護) | P.83 | ②4 フラッシュ補正 | P.61 |
| ⑨ 画像選択 | P.84 | ②5 ホワイトバランス補正值 | P.53 |
| ⑩ ファイル番号 | P.121 | ②6 カラー設定 | P.67 |
| ⑪ コマ番号 | | ②7 ピクチャーモード | P.62, 90 |
| ⑫ 再生カードスロット | P.80 | ②8 圧縮率 | P.132 |
| ⑬ 画質モード | P.57, 90 | ②9 ピクセルサイズ | P.132 |
| ⑭ アスペクト比 | P.55 | ③0 ISO感度 | P.43, 52 |
| ⑮ 白深度合成/
HDR1 HDR2 HDR画像 | P.50, 96 | ③1 ホワイトバランス | P.43, 53 |
| ⑯ 日時 | P.19 | ③2 AF微調節 | P.113 |
| | | ③3 測光方式 | P.46, 52 |
| | | ③4 ヒストグラム | P.23 |

情報表示を切り換える

INFO ボタンを押すたびに再生時の情報表示の切り換えができます。

INFOボタン



- 再生時の情報表示に、ヒストグラム表示、ハイライト&シャドウ表示、ライトボックス表示を追加できます。☞ **[Info]** (P.128)

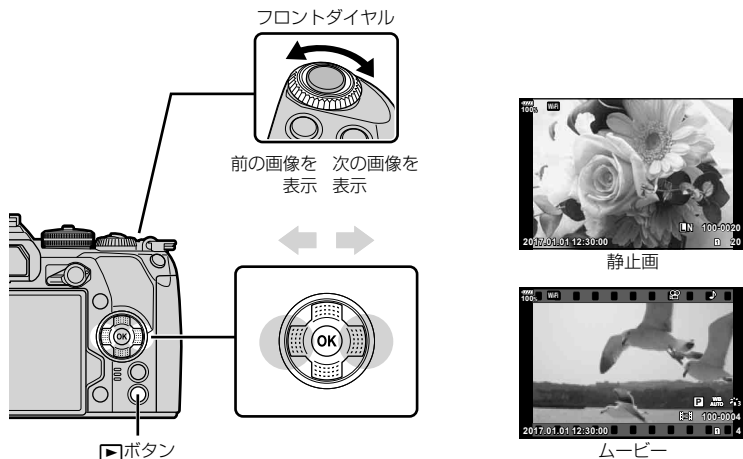
撮った画像／ムービーを見る

1 ▶ボタンを押します。



- 最後に撮影した画像が表示されます。
- フロントダイヤル(⊙)や十字ボタンで画像が切り換わります。
- シャッターボタンを半押しすると撮影モードに戻ります。

💡 こんなときは

- 再生するカードを変更するには、▶ボタンを押しながらダイヤルを回してスロットを選択し、▶ボタンを放します。再生モードを終了すると、元の設定に戻ります。カスタムメニューの[カードスロット設定]の[▶スロット](P.133)設定は変更されません。



リアダイヤル(⊙)	表示の拡大(⊙) / インデックス(⊙)
フロントダイヤル(⊙)	コマ戻し(⊙) / コマ送り(⊙) クローズアップ再生中も操作できます。
十字ボタン (△▽◀▶)	1コマ再生: コマ送り(▶) / コマ戻し(◀) / 再生音量調節(△▽) クローズアップ再生: クローズアップ位置の変更 INFO ボタンを押すとクローズアップしたままコマ送り(▶)戻し(◀)ができます。 もう一度 INFO ボタンを押すと拡大枠が表示され、△▽◀▶で拡大枠の位置を変更できます。 インデックス再生 / マイクリップス再生 / カレンダー再生: 画像の選択
INFO	画像情報の表示
<input checked="" type="checkbox"/>	画像の選択(P.84)


AEL/AFLボタン	画像のプロテクト(P.83)
	画像の消去(P.84)
	メニューの表示(カレンダー再生中に押すと1コマ再生に戻ります。)

インデックス再生／カレンダー再生

- 1コマ再生でリアダイヤルを \blacksquare に回すとインデックス再生します。さらに何度か回すと、マイクリップス再生、最後にカレンダー再生に変わります。
- リアダイヤルを \bigcirc に回すと1コマ再生に戻ります。



*1 作成されたマイクリップスがある場合にのみ表示されます(P.74)。

- インデックス再生のコマ数を変更できます。 \blacksquare 表示 (P.129)

静止画を見る

クローズアップ再生

1コマ再生でリアダイヤルを \bigcirc に回すと表示を拡大し、 \blacksquare に回すと1コマ再生に戻ります。



回転

撮影した画像を回転させることができます。

- 再生画面で画像を表示し、 \bigcirc ボタンを押します。
- 〔回転〕を選択して、 \bigcirc ボタンを押します。
- \triangle (反時計回り)、 ∇ (時計回り)を押すたびに画像が回転します。
 - \bigcirc ボタンを押して、設定を終了します。
 - 回転表示した画像はその状態でカードに記録されます。
 - ムービーやプロテクトされている画像は回転できません。

スライドショー

カードに記録された画像を自動的に連続して再生します。

- 1 再生画面で \odot ボタンを押し、**[スライドショー]**を選択します。



- 2 スライドショーの設定をします。

スタート	スライドショーを開始します。表示している画像から、順に再生されます。
BGM	[Party Time] 、または [Off] を設定します。
スライド	再生する画像の種類を設定します。
1コマ再生時間	次の画像に切り換わる間隔を2～10秒の間で設定します。
ムービー再生	ムービーを再生するときに、ムービー全編を再生する [フル] か、途中までの部分を再生する [ショート] を設定します。

- 3 **[スタート]**を選択して \odot ボタンを押します。

- ・スライドショーが始まります。
- ・ \odot ボタンを押すとスライドショーが停止します。

音量の調節

1コマ再生やムービー再生中に Δ ∇ を押すと音量調節ができます。



スライドショー音量について

スライドショーの再生中に Δ ∇ を押すと、全体の音量が調節できます(カメラのスピーカーでの再生時のみ)。音量調節表示中に \triangleleft \triangleright を押すと、画像やムービーに録音した音量とBGMのバランスを調節できます。

ムービーを見る

ムービーを選んで \odot ボタンを押すと再生メニューが表示されます。【ムービー再生】を選択して、 \odot ボタンを押すとムービー再生が始まります。 $\triangleleft/\triangleright$ で早送り、巻き戻しします。 \odot ボタンを再度押すと一時停止します。一時停止中は、 \triangle で先頭のカド、 ∇ で最後のカドを表示します。 $\triangleleft/\triangleright$ またはフロントダイヤル(\odot)でコマ戻し/コマ送りします。**MENU**ボタンを押すと再生を終了します。



4GB以上のムービーの場合

自動的に分割されたムービーでは、 \odot ボタンを押すと以下のメニューが表示されます。

- 【先頭から連続で再生】： 分割されたムービーを通して再生
- 【ムービー再生】： ファイル別に再生
- 【同一ムービー消去】： 分割されたムービーをすべて消去
- 【1コマ消去】： ファイル別に消去

- ・ パソコンでのムービー再生には最新版のOLYMPUS Viewer 3をおすすめします。はじめてソフトウェアをお使いになる際は、カメラをパソコンに接続してからソフトウェアを起動してください。

画像のプロテクト(保護)

画像を誤って消さないように保護します。保護したい画像を再生して**AEL/AFL**ボタンを押すと、画像に \odot (プロテクトマーク)が付きます。再度**AEL/AFL**ボタンを押すと解除されます。あらかじめプロテクトしたい画像を選んで、一括してプロテクトすることもできます。[画像の選択(プロテクト・選択コマコピー・選択コマ消去・選択コマシェア予約)] (P.84)

プロテクトマーク






- ・ カードを初期化した場合は、プロテクトされている画像も消去されます。

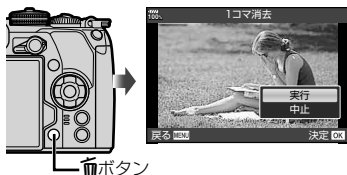
画像のコピー (1コマコピー)

カードスロット1、2の両方に記録可能なカードが装着されているときは、カード間で画像をコピーできます。コピーしたい画像を再生して \odot ボタンを押すと、再生メニューが表示されます。【1コマコピー】を選び \odot ボタンを押したあと、保存先フォルダを指定するかどうかを選択します。【実行】を選択して \odot ボタンを押すと、もう一方のカードに画像がコピーされます。

- ・ カード間で全コマ一括コピーすることもできます。[全コマコピー] (P.109)




画像の消去(1コマ消去)

消去したい画像を再生し、 ボタンを押します。
[実行] を選択し  ボタンを押すと消去されます。
ボタンの設定を変更して、確認手順なしで消去することもできます。 [ワンタッチ消去]
(P.122)











画像の選択(プロテクト・選択コマコピー・選択コマ消去・選択コマシェア予約)


複数の画像を選択し、一括して[プロテクト]・[選択コマコピー]・[選択コマ消去]・[選択コマシェア予約]をすることができます。

インデックス再生画面(P.81)で、 ボタンを押すと画像が選択され、 が表示されます。もう一度押すと解除されます。
 ボタンを押してメニューを表示し、[プロテクト]・[選択コマコピー]・[選択コマ消去]・[選択コマシェア予約]から選択します。



画像に転送予約をつける(シェア予約)

スマートフォンに転送したい画像をあらかじめ選択しておくことができます。また、シェア予約した画像だけを閲覧させることもできます。転送したい画像を再生して  ボタンを押すと、再生メニューが表示されます。[シェア予約] を選び  ボタンを押した後、 または  を押すと画像にシェア予約がつき、 が表示されます。
シェア予約を解除するには  または  を押します。あらかじめ転送したい画像を選んで、一括してシェア予約をつけることもできます。 「画像の選択(プロテクト・選択コマコピー・選択コマ消去・選択コマシェア予約)」(P.84)、「スマートフォンに画像を転送する」(P.138)

- ・ シェア予約できるコマは200コマです。
- ・ RAW画像、およびMotion JPEG () のムービーはシェア予約はできません。

音声録音

静止画に音声を録音します(最長30秒)。

1 再生画面で音声を録音する画像を表示し、**OK**ボタンを押します。

- プロテクトされた画像には録音できません。
- 音声録音は再生メニューからも設定できます。

2 [録音]を選択して、**OK**ボタンを押します。

- 録音を中止する場合は、[中止]を選択してください。



3 [録音スタート]を選択して**OK**ボタンを押すと、録音を開始します。

4 **OK**ボタンを押して、録音を終了します。

- 音声を録音した画像には♪が表示されます。



- 録音した音声を消去する場合は、手順3で[消去]を選択してください。

静止画をマイクリップスに追加する(🎧マイクリップス追加)

選択している静止画をマイクリップスに追加することができます。

追加したい静止画を再生して、**OK**ボタンを押してメニューを表示します。[🎧マイクリップス追加]を選択して**OK**ボタンを押します。△▽◀▶でマイクリップスと追加する順番を選び**OK**ボタンを押します。

- RAW画像や、ハイレゾショットで撮影した画像を追加する場合、画質の粗い表示用の画像が追加されます。

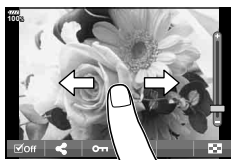
タッチパネルを使う

タッチパネルを使って、画像の操作ができます。

■ 1コマ再生で使う

コマ送り／コマ戻し

- タッチした状態で、指を左に動かすとコマ送りし、右に動かすとコマ戻しします。



拡大

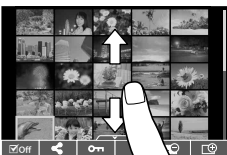
- 画面に軽くタッチすると、スライダーと が表示されます。
- バーのスライダーを指で上下に動かすと拡大表示します。
- 拡大中に、タッチした状態で指を動かすとスクロールできます。
- にタッチするとインデックス再生になります。さらに にタッチすると、カレンダー再生やマイクリップス再生になります。



■ インデックス再生／マイクリップス再生／カレンダー再生で使う

ページを送る／戻す

- タッチした状態で、指を上動かすとページを送り、下動かすとページを戻します。
- または で表示するコマ数を切り換えられます。
 【 表示】 (P.116)
- に何度かタッチすると1コマ再生に戻ります。



画像を見る

- 見たい画像にタッチすると1コマ表示します。

画像を選択する／プロテクトする

1コマ再生画面で、画面に軽くタッチするとタッチメニューが表示されます。タッチメニューのアイコンにタッチするとそれぞれの操作ができます。

	画像を選択します。複数を選択してから一括して削除などできます。
	スマートフォンにシェアしたい画像を予約できます。 「画像に転送予約をつける(シェア予約)」 (P.84)
	画像のプロテクトをします。

- 先のとがったものや爪で操作しないでください。
- モニター保護シートや手袋を使っていると、うまく操作できない場合があります。

4 メニューの機能

メニューの基本操作

メニューでは、LVスーパーコンパネなどに表示されない撮影／再生時の機能やカメラを使いやすくカスタマイズできる機能を設定します。

	撮影前の準備と基本的な撮影設定 (P.88)
	一歩進んだ撮影設定 (P.88)
	ムービーモードの設定 (P.101)
	再生や編集に関する設定 (P.106)
	カメラのカスタマイズの設定 (P.112)
	日付や言語などのカメラ設定 (P.110)

1 MENUボタンを押し、メニューを表示させます。



- 機能を選択すると、約2秒後にガイドが表示されます。
- **INFO**ボタンを押すと、ガイドの表示／非表示を切り換えることができます。

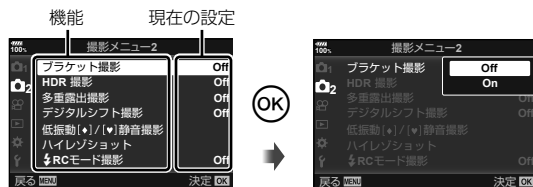
2 ▲▼でタブを選択し、OKボタンを押します。

- *****カスタムメニューを選択したときは、メニューグループのタブが表示されます。▲▼でメニューグループを選択してOKボタンを押します。



メニューグループ

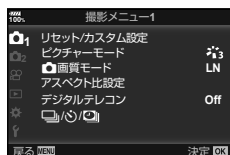
3 △▽で機能を選択しⓄボタンを押して、各設定画面に進みます。



4 △▽で設定値を選択しⓄボタンを押して、設定内容を確定します。

- 繰り返し**MENU**ボタンを押して、メニューを終了します。
- 各機能の初期設定については、「メニュー一覧」(P.168)をご覧ください。

撮影メニュー1 / 撮影メニュー2を使う



撮影メニュー1

- 📷 リセット/カスタム設定 (P.88)
- 📷 ピクチャーモード (P.62, 90)
- 📷 画質モード (P.57, 90)
- 📷 アスペクト比設定 (P.55)
- 📷 デジタルテレコン (P.90)
- 📷 (連写/セルフタイマー/インターバル撮影設定) (P.47, 55, 91, 92)

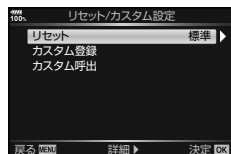
撮影メニュー2

- 📷 ブラケット撮影 (P.93)
- 📷 HDR撮影 (P.50, 96)
- 📷 多重露出撮影 (P.97)
- 📷 デジタルシフト撮影 (P.98)
- 📷 低振動・静音撮影 (P.99)
- 📷 ハイレゾショット (P.100)
- 📷 RCモード撮影 (P.100, 156)

カメラの設定を初期値に戻す(リセット)

カメラの設定を工場出荷時の設定に戻します。

- 1 📷撮影メニュー1で、「リセット/カスタム設定」を選択して、Ⓞボタンを押します。
- 2 [リセット]を選択し、Ⓞボタンを押します。
 - [リセット]を選択してから▷を押すと、リセットの種類を選べます。日付や言語など一部を除いた設定値をリセットする場合は、「フル」を選びⓄボタンを押します。
 - 📷「メニュー一覧」(P.168)
- 3 [実行]を選択し、Ⓞボタンを押します。



お気に入りの設定を登録する(カスタム登録)

登録内容を変更する

現在のカメラの設定を、3つのカスタムモードに登録できます。モードダイヤル**C1**～**C3**または**[カスタム呼出]**で登録された設定を呼び出すことができます。

- 1 登録したい状態にカメラを設定します。
 - モードダイヤルは、iAUTO (iAUTO)、**ART**、ムービー (MOV)以外に設定してください。
- 2 **[撮影メニュー 1]**で、**[リセット/カスタム設定]**を選択して、**[OK]**ボタンを押します。
- 3 **[カスタム登録]**を選択して、**[▶]**を押します。
- 4 登録先(**[カスタムモード C1]**～**[カスタムモード C3]**)を選択して、**[OK]**ボタンを押します。
- 5 **[登録]**を選択し、**[OK]**ボタンを押します。
 - **[登録]**を選択すると、登録内容が上書きされます。
 - 登録を解除する場合は**[クリア]**を選択します。
 - カスタム登録に登録できる機能 **[設定]**「メニュー一覧」(P.168)
 - それぞれのカスタムモードには、あらかじめ設定がプリセットされています。**[リセット]**の**[フル]**でカメラの設定をリセットした場合、カスタムモードは工場出荷時の設定に戻ります。工場出荷時のカスタムモードの設定については「工場出荷時のカスタムモードの設定」(P.181)をご覧ください。



登録内容を呼び出す

モードダイヤル**C1**～**C3**に登録された設定を呼び出すことができます。

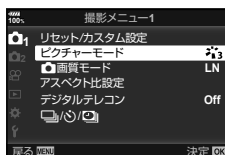
- 1 **[撮影メニュー 1]**で、**[リセット/カスタム設定]**を選択して、**[OK]**ボタンを押します。
- 2 **[カスタム呼出]**を選択して、**[▶]**を押します。
- 3 **[カスタムモード C1]**～**[カスタムモード C3]**を選択して、**[OK]**ボタンを押します。
- 4 **[実行]**を選択し、**[OK]**ボタンを押します。
 - モードダイヤルが**P**、**A**、**S**、**M**に設定されている場合は、撮影モードは反映されません。



画像の仕上がりを設定する(ピクチャーモード)


【ピクチャーモード】(P.62)の設定に、個別にコントラストやシャープネスなどの微調整をしておくことができます。調整したパラメータは仕上げ項目ごとに記憶されます。

1  撮影メニュー 1で、【ピクチャーモード】を選択して、 ボタンを押します。


- 撮影モードの設定に応じて選択できるピクチャーモードが表示されます。



2  で項目を選択して  ボタンを押します。




- 各項目でさらに  を押すと、選択したピクチャーモードに応じて詳細設定ができます。詳細設定ができないピクチャーモードもあります。
- 【標準】以外の階調ではコントラスト調整は反映されません。

 **こんなときは**

- メニューに表示されるピクチャーモードの選択肢を少なくすることができます。
 【ピクチャーモード表示】(P.116)


画質を選択する(画質モード)

 「画質を選択する(画質モード)」(P.57)


- JPEG画像の画像サイズと圧縮比の組み合わせ、、のピクセルサイズは変更することができます。【画質設定】、【ピクセルサイズ】 「JPEGの画像サイズと圧縮率の組み合わせ」(P.132)

被写体を拡大して記録する(デジタルテレコン)

被写体をズームの倍率以上の大きさに拡大して記録します。中央部を切り出して記録します。被写体が約2倍の大きさになります。

1  撮影メニュー 1で【デジタルテレコン】を【On】にします。

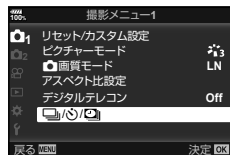
2 モニターの表示が2倍に拡大されます。

- 撮影するとモニターに表示された状態で記録されます。
- 多重露出撮影では使用できません。
- ⊞モードでは、【動画エフェクト】が表示される情報表示時は使用できません。
- 【⊞ボタン機能】で、いずれかのボタンに【ムービーテレコン】を割り当てているときは使用できません。
- RAW画像では表示した部分を示す枠が表示されます。
- AFターゲットが少なくなります。
- 画面にが表示されます。

カスタムセルフタイマーを設定する(📷/🕒)

セルフタイマーのカスタム設定ができます。

- 1 📷撮影メニュー1で、[📷/🕒/📷]を選択して、Ⓚボタンを押します。



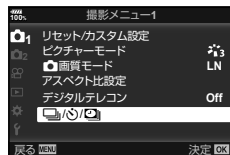
- 2 [📷/🕒]を選択して▶を押します。
- 3 [🕒C] (カスタム)を選択して▶を押します。
- 4 △▽で項目を選択して▶を押します。
 - △▽で設定を選択してⓀボタンを押します。

コマ数	撮影する枚数を設定します。
セルフタイマー時間	撮影するまでの時間を設定します。
撮影間隔	2コマ目以降を撮影する間隔を設定します。
各コマAF	セルフタイマーで撮影する各コマの、撮影直前にAFを行うかどうかを設定します。

一定時間ごとに自動的に撮影する(📷インターバル撮影)

設定した間隔で自動的に撮影できます。また撮影した一連のコマを1つのムービーとして記録することもできます。**P/A/S/M**モードでのみ設定できます。

- 1 📷撮影メニュー1で、[📷/📷/📷]を選択して、Ⓚボタンを押します。



- 2 [インターバル撮影設定]を選択して▶を押します。


- 3 [On]を選択して▶を押します。

- 4 以下の設定をしてⓀを押します。

コマ数	撮影するコマ数を設定します。
撮影開始待ち時間	撮影開始までの待ち時間を設定します。
撮影間隔	撮影開始後の撮影の間隔を設定します。
タイムラプス動画	一連のコマの記録形式を設定します。 [Off]: それぞれのコマを静止画として記録します。 [On]: 静止画で記録すると同時に、一連のコマで1つのムービーを生成して記録します。
タイムラプス動画設定	[ムービーサイズ]: タイムラプスムービーのサイズを設定します。 [フレームレート]: タイムラプスムービーのフレームレートを設定します。



- 5 撮影します。

- AF後、ピントが合わなくても撮影されます。ピント位置を固定したいときはMFで撮影してください。
- [撮影確認] (P.110)は0.5秒で動作します。
- 撮影開始待ち時間、撮影間隔の設定を1分31秒以上になると、1分でモニターを消灯してカメラの電源が切れます。撮影10秒前に自動的に復帰します。またモニター消灯中は、シャッターボタンを押しても復帰しません。
- AF方式(P.44, 52)が[**C-AF**] [**C-AF+TR**]では、[**S-AF**]に設定されます。
- インターバル撮影中は、タッチ操作は受け付けません。
- HDR撮影では使用できません。
- バルブ、タイムまたはコンポジット撮影、ブラケット撮影、多重露出撮影とは併用できません。
- 撮影間隔より、フラッシュの充電時間が長いときは、フラッシュは発光しません。
- インターバル撮影中は、カメラの電源が自動的に切れても次の撮影前に復帰します。
- 撮影した静止画が正しく記録されていない場合は、タイムラプスムービーは生成されません。
- カード残量が不足した場合、タイムラプスムービーは記録されません。

- 撮影開始後に次の操作をするとインターバル撮影は、終了します。
モードダイヤル / **MENU**ボタン / ボタン / レンズ取り外しボタン / USBケーブルを接続
- 電源を切ると、インターバル撮影を終了します。
- 電池残量が少なくなると途中で撮影を終了します。十分に充電した電池をお使いください。
- **[4K]**で撮影されたムービーは、パソコンの環境によって再生できない場合があります。再生条件については当社ホームページをご確認ください。

条件を少しずつ変化させて撮影する(ブラケット撮影)

1コマごと、または同時に異なる設定の撮影を自動的に行う方法をブラケット撮影といいます。ブラケット撮影の設定を保持したまま、ブラケット撮影をオフにできます。


- 1  撮影メニュー 2で、**[ブラケット撮影]**を選択して、ボタンを押します。




- 2 **[On]**を選択してから \triangleright を押して、ブラケット撮影の種類を選択します。




- ブラケット撮影を設定すると、画面に**[BKT]**が表示されます。



- 3 \triangleright を押して撮影枚数などの設定を選択してから、ボタンを押します。


- 手順1の画面に戻るまで、繰り返しボタンを押します。
- 手順2で**[Off]**に設定すると、ブラケット撮影の設定を保持したまま、通常の撮影をすることができます。
- ブラケット撮影では以下の機能は使用出来ません
HDR / インターバル撮影 / デジタルシフト / 多重露出 / ハイレゾショット
- ブラケット撮影では、カメラのメモリーカードに設定枚数以上の空きがないと撮影できません。

こんなときは

- カスタムメニューの**[ボタン機能切換]** (P.114)を**[On]**にすると、ボタン操作でブラケットの設定を行うことができます。**Fn**レバーを2の位置に合わせて、HDRボタンを押しながらダイヤルを回します。フロントダイヤルでブラケット撮影の種類、リアダイヤルで撮影枚数などの設定を選択できます。設定後は、HDRボタンを押すたびに、ブラケット撮影と通常の撮影を切り換えることができます。

AE BKT (AEブラケット撮影)

1コマごとに露出を変えて撮影するAEブラケット撮影の設定を行います。補正量を0.3EV、0.7EV、1.0EVから選択します。単写モードでは、シャッターボタンを全押しすることに、連写モードでは、シャッターボタンを全押し続けている間に、適正露出、-補正、+補正の順番で撮影します。撮影枚数：2枚／3枚／5枚／7枚

- ブラケット撮影中は**BKT**が緑色で表示されます。
- **P**モードでは、絞り値とシャッター速度、**A**および**M**モードではシャッター速度、**S**モードでは絞り値を制御して補正を行います。ただし、**M**モードで**[ISOオート有効]** (P.118)を**[AI]**に設定し、**[ISO感度]** (P.43, 52)を**[AUTO]**に設定した場合は、ISO感度を制御します。
- 露出補正を行っている場合、すでに補正されている値を中心としたAEブラケット撮影が行われます。
- **[露出ステップ]**を変更すると、補正量も変化します。
 **[露出ステップ]** (P.118)



WB BKT (WBブラケット撮影)


1回の撮影で、1つの補正方向に対して色合い(ホワイトバランス)を変えた3枚の画像を自動的に作成します。カメラの設定で撮影された画像、その画像から色合いを変更した画像の順番で記録されます。**P**、**A**、**S**、**M**モードでのみ使用できます。

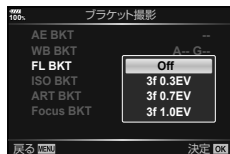
- 補正する方向**A-B** (赤-青)、および**G-M** (緑-赤紫)のそれぞれのステップを2ステップ、4ステップ、6ステップから選択します。
- ホワイトバランスの補正を行っている場合、すでに補正されている値を中心としたWBブラケット撮影が行われます。



FL BKT (FLブラケット撮影)

1コマごとにフラッシュの発光量を変えて撮影するフラッシュブラケット撮影の設定を行います。単写モードでは、シャッターボタンを全押しすることに、連写モードでは、シャッターボタンを全押し続けている間に、適正発光量、-発光量、+発光量の順番で3コマを撮影します。

- ブラケット撮影中は**BKT**が緑色で表示されます。
- **[露出ステップ]**を変更すると、補正量も変化します。
 **[露出ステップ]** (P.118)



ISO BKT (ISOブラケット撮影)

撮影時のシャッター速度と絞り値を固定したまま、1コマごとにISO感度を変えて撮影するISOブラケット撮影の設定を行います。補正量を0.3EV、0.7EV、1.0EVから選択します。1回の撮影で、ISO感度を設定したISO感度(オート設定時は適正ISO) -補正、+補正の順番で3コマを撮影します。

- **[ISO感度ステップ]**を変更しても、補正量は変化しません。
☞ **[ISO感度ステップ]** (P.118)
- **[ISOオート設定]**で設定した上限値とは関係なくブラケット撮影が行われます。☞ **[ISOオート設定]** (P.118)



ART BKT (アートフィルターブラケット撮影)

1回の撮影でアートフィルターを施した複数の画像を残せます。使用するピクチャーモードごとにOn / Offを設定しておきます。

- 撮影後の画像の記録に時間がかかる場合があります。
- WB BKT、ISO BKTとの併用はできません。

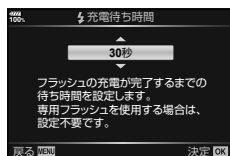
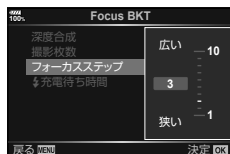


Focus BKT (フォーカスブラケット撮影)

1コマごとにピント位置を変えて撮影するフォーカスブラケット撮影の設定を行います。撮影開始時のピント位置から、遠くに向かってピントを移動させながら撮影します。**[撮影枚数]**で1回の撮影枚数を、**[フォーカスステップ]**でピント位置の間隔を設定できます。**[フォーカスステップ]**の設定値を小さくするとピント位置の間隔が狭くなり、大きくすると広がります。専用フラッシュ以外のフラッシュを使用する場合に、**[充電待ち時間]**でフラッシュが充電完了するまでの待ち時間を設定します。

シャッターボタンを全押ししてすぐに指を放すと、設定した枚数まで撮影し続けます。途中で撮影を終了するには、もう一度シャッターボタンを全押しします。

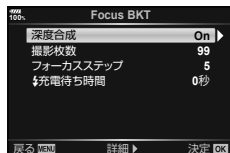
- フォーサーズマウント規格レンズ使用時は、フォーカスブラケット撮影はできません。
- フォーカスブラケット撮影中にズーム操作やピント合わせを行うと、撮影は終了します。
- ピント位置が∞に達すると撮影が終了します。
- フォーカスブラケット撮影は、静音シャッターで動作します。
- フラッシュ撮影をしたい場合は、**[静音[♥]撮影時動作]**で、**[フラッシュ]**を**[許可]**に設定してください。
☞ **[静音[♥]撮影時動作]** (P.99)
- 他のブラケット撮影との併用はできません。



Focus BKT（深度合成）

ピント位置を自動的に変えて8コマ撮影して合成し、手前から奥まで広い範囲にピントが合った1枚のJPEG画像を作成します。

- ピントを合わせた位置を中心に自動的にピント位置を変え、1回の撮影で8コマ撮影します。
- 合成に失敗した場合、合成画像は保存されません。
- 撮影中にズーム操作やピント合わせを行うと、撮影は終了します。
- 合成画像は、画角が狭くなります。
- [深度合成]撮影で使用可能なレンズについては、当社ホームページをご覧ください。
- 他のブラケット撮影との併用はできません。



HDR（ハイダイナミックレンジ）撮影をする

HDR（ハイダイナミックレンジ）撮影をします。

📷 「HDR（ハイダイナミックレンジ）撮影をする」(P.50)

- 1 📷 撮影メニュー2で、[HDR撮影]を選択して、
Ⓜ ボタンを押します。



- 2 HDR撮影の種類を選択してから、Ⓜ ボタンを押します。

- 3 撮影します。

- シャッターボタンを押すと、自動的に設定した枚数の撮影を行います。

複数の画像を重ね合わせて撮影する(多重露出撮影)

複数の画像を重ねて1つの画像に合成し、設定されている画質モードで保存します。

- 1 撮影メニュー2で、**[多重露出撮影]**を選択して、**[OK]**ボタンを押します。
- 2 **△▽**で項目を選択して**▷**を押します。
 - **△▽**で設定を選択して**[OK]**ボタンを押します。

コマ数	[2コマ] に設定します。
自動ゲイン補正	[On] に設定すると、各コマの明るさを1/2にしてから合成します。 [Off] に設定すると、各コマの明るさのままで合成します。
再生画+多重	[On] に設定すると、選んだRAW形式の画像に重ねて多重露出撮影ができます。撮影回数は1回です。撮影した画像は別の画像として保存されます。

- 多重露出撮影を設定するとモニターに**[50]**が表示されます。

3 撮影します。

- 撮影を始めると**[50]**が緑で表示されます。
- **[Q]**ボタンを押すと、直前に撮影した画像が取り消されます。
- 1コマ目を撮影するとモニターに途中の合成画像が半透過で表示されるので、合成位置を確認しながら撮影できます。
- 多重露出撮影を設定すると、スリープモードには入りません。
- 他のカメラで撮影された画像を使った合成はできません。
- **[再生画+多重]**を**[On]**に設定し、RAW形式の画像を選択するときに表示される画像は、撮影時の設定で現像されたものです。
- 撮影に関する設定は、多重露出撮影を解除してから行ってください。一部設定できない機能があります。
- 次の場合は1枚目以降の多重露出が自動的に解除されます。
電源を切る / **[Q]**ボタンを押す / **MENU**ボタンを押す / 撮影モードを変更する / 電池残量がなくなる / 各コネクタへのケーブルの挿入
- **[再生画+多重]**でRAW形式の画像を選択するとき、RAW+JPEGで記録した画像はJPEG画像が表示されます。
- ブラケット撮影など一部の撮影機能は併用できません。


こんなときは

- 3コマ以上撮影画像を合成したい：**[画質モード]**をRAWの設定で撮影し、**[再生画+多重]**を使って繰り返し撮影します。
- RAW画像を合成したい：**[Q]**「画像合成」(P.108)




台形補正をする／遠近感を強調する(デジタルシフト撮影)

建物のあおり撮影をするときに台形補正をしたり、意図的に遠近感を強調した画像を撮影できます。**P/A/S/M**モードでのみ設定できます。







- 1  撮影メニュー 2で[デジタルシフト撮影]を[On]にします。



- 2 画面を見ながら補正をして構図を決めます。

- フロントダイヤルとリアダイヤルで台形補正をします。
- $\Delta \nabla < \triangleright$ で記録する範囲を決めます。補正量によっては、範囲の移動ができない場合があります。
-  ボタンを長押しすると、設定がキャンセルされます。
- デジタルシフト撮影時に絞りやシャッター速度などの撮影機能を設定する場合は、**INFO** ボタンを押して表示をデジタルシフト設定画面以外に切り換えます。デジタルシフト撮影に戻るには、デジタルシフト設定画面が表示されるまで**INFO** ボタンを押します。
- 補正の度合いを大きくするほど、下記となります。
 - 画像が粗くなります。
 - 切り出し時の倍率は大きくなります。
 - 切り出し位置の移動ができなくなります。

- 3 撮影します。

- デジタルシフト撮影を終了するには、 撮影メニュー 2で[デジタルシフト撮影]を[Off]にします。
- ボタン機能でいずれかのボタンに[ (デジタルシフト撮影)] (P.69)を割り当てているときは、ボタンを長押しするとデジタルシフトを終了します。
- 画質モードが[RAW]のときは、RAW+JPEGで記録されます。
- コンバーターレンズをお使いの場合は、意図どおりに補正できない場合があります。
- 補正の度合いによっては、一部のAFターゲットが表示範囲内がない場合があります。表示範囲の外にあるAFターゲットでピントがあったときはアイコン(, , , )が表示されます。
- デジタルシフト撮影時は、以下の機能は使用できません。
ライブバルブ、ライブタイムまたはコンポジット撮影／連写／ブラケット撮影／HDR撮影／多重露出撮影／デジタルテレコン／ムービー撮影／AF方式の[C-AF]または[C-AF+TR]／ピクチャーモードの[e-ポートレート]またはART／カスタムセルフタイマー／ハイレゾショット
- [手ぶれ補正]で焦点距離設定または情報登録したレンズを使用時は、設定値に従って補正されます。マイクロフォーサーズ／フォーサーズ以外のレンズを使うときは、[手ぶれ補正]で焦点距離設定をしてください(P.54)。


低振動撮影／静音撮影を設定する（低振動[♦]／静音[♥]撮影）







低振動撮影と静音撮影を設定すると、連写／セルフタイマー（P.47）で低振動撮影または静音撮影の項目を選択して撮影できます。



- 1 撮影メニュー2で、[低振動[♦]/静音[♥]撮影]を選択して、**OK**ボタンを押します。
- 2 **△▽**で項目を選択して**▷**を押します。
 - **△▽**で設定を選択して**OK**ボタンを押します。


低振動[♦]撮影	低振動撮影時のシャッターボタンを全押ししてからシャッターが切れるまでの時間を設定します。時間を設定すると、連写／セルフタイマーで[♦]の付いた項目が表示されます。低振動撮影を使わないときは Off にします。シャッター動作による微少なぶれを低減したいときに設定してください。低振動モードは連写やセルフタイマー撮影(P.47)にも有効です。
静音[♥]撮影	静音撮影時のシャッターボタンを全押ししてからシャッターが切れるまでの時間を設定します。時間を設定すると、連写／セルフタイマーで♥の付いた項目が表示されます。静音撮影を使わないときは Off にします。
静音[♥]長秒時ノイズ低減	[オート]に設定すると、静音撮影で長秒時ノイズ低減を使用します。ノイズ低減処理時に、シャッターの動作音がします。
静音[♥]撮影時動作	[電子音]、[AFイルミネーター]、[フラッシュ]の[許可] / [禁止]をそれぞれ個別に設定できます。

ハイレゾショットを設定する(ハイレゾショット)

ハイレゾショットを設定すると、連写／セルフタイマー (P.47)でを選択して撮影できます。

- 1 撮影メニュー2で、[ハイレゾショット]を選択して、ボタンを押します。
- 2 で項目を選択してを押します。
 - で設定を選択してボタンを押します。

ハイレゾショット	ハイレゾショット撮影時の、シャッターボタンを全押しした後、シャッターが切れるまでの時間までの時間を設定します。時間を設定すると、連写／セルフタイマーで  が表示されます。ハイレゾショットを使わないときはOffにします。
 充電待ち時間	専用フラッシュ以外のフラッシュを使用する場合に、フラッシュが充電完了するまでの待ち時間を設定します。

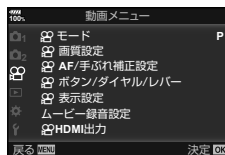
- ハイレゾショットは、電子シャッターで動作します。
- 「フラッシュを使って撮影する(フラッシュ撮影)」(P.59)

ワイヤレスRCフラッシュ撮影

付属のフラッシュとRCモード機能付き専用フラッシュを使ってワイヤレスフラッシュ撮影ができます。「ワイヤレスRCフラッシュ撮影」(P.156)

動画メニューを使う

動画メニューでは、ムービー撮影の機能を設定します。



メニュー項目	説明	103
🔗モード	ムービー撮影時の撮影モードを設定しておくことができます。	103
🔗画質設定	ムービーの画質を設定します。 [🔗画質モード] ：画質モードの画像サイズやビットレートなどの組み合わせを設定します。 [🔗高感度ノイズ低減] ：高感度ムービー撮影時のノイズ低減レベルを選択します。 [🔗ピクチャーモード] ： [On] にすると、編集に適したピクチャーモードでムービーを撮影します。	103
🔗AF/手ぶれ補正設定	[🔗AF方式] ：ムービー撮影のAF方式を選択します。 [🔗手ぶれ補正] ：ムービー撮影の手ぶれ補正を設定します。	44, 52, 54
🔗ボタン/ダイヤル/レバー	ムービーモード時のボタン/ダイヤル/レバーの機能を設定しておくことができます。 [🔗ボタン機能] ：ムービーモード時のボタンに機能を設定します。 [🔗ダイヤル機能] ：ムービーモード時のリアダイヤルとフロントダイヤルの機能を変更できます。フロントダイヤルまたはリアダイヤルに [露出補正] を割り当てると±3EVの露出補正が可能になります(1/2EVステップや1EVステップの設定も可能になります)。 [🔗Fnレバー機能] ：ムービーモード時に Fn レバーで切り換える機能を設定します。 [mode1] を設定すると、 Fn レバーで、 [🔗ダイヤル機能] で設定されている機能を切り換えます。 [mode2] を選択して ▷ を押すと、 Fn レバーで切り換える機能を選択できます(AF方式 / [🔗AF方式] (AFターゲット設定) / [🔗AF方式] (AFターゲット選択))。 [🔗Fnレバー機能] (P.114)が [mode3] に設定されているときや、 [Fnレバー/電源レバー] (P.115)が [PW1] または [PW2] に設定されているときは無効です。 [🔗シャッターボタン機能] ：ムービーモード時のシャッターボタンの機能を選択できます。 [🔗シャッター] を設定すると、シャッターボタンで、AF操作を行います。静止画撮影はできません。 [🔗REC] を設定すると、シャッターボタン全押しで、ムービー撮影の開始と停止を行います。 [🔗REC] のときは、 [🔗REC] ボタンで録画の操作はできません。 [🔗電動ズーム速度] ：電動ズームレンズをズームリングで操作するときのズーム速度を変更できます。	—

メニュー項目	説明	P.104
表示設定	<p>[Control表示]：ムービーモード時のLVコントロール(P.127)/LVスーパーコンパネ(P.51)の表示/非表示を設定できます。表示しないときは項目を選択して、[OK] ボタンを押してチェックを外します。</p> <p>[Info表示]：ムービー撮影画面での情報表示の内容を選択できます。表示しないときは項目を選択して、[OK] ボタンを押してチェックを外します。</p> <p>[タイムコード設定]：ムービーモード時に記録するタイムコードを設定します。</p> <p>記録時間との誤差を補正して記録するときは、[タイムコードモード]を[DF] (ドロップフレーム)に、誤差を補正しないときは[NDF] (ノンドロップフレーム)に設定します。</p> <p>タイムコードを録画中のみカウントするときは、[カウントアップ方式]を[レックラン]に、電源OFF時を含む録画停止中もカウントするときは[フリーラン]に設定します。</p> <p>[タイムコード値設定]で、タイムコードの開始時間を設定します。[現在時刻]に設定すると、現在の時刻でフレームが00になります。00:00:00:00に設定するときは[リセット]を選択します。[手動入力]でも設定できます。MotionJPEG(4:2:0)では記録されません。</p> <p>[残量表示]：ムービーモードおよびムービー撮影中の電池残量表示(%または分)を設定します。</p>	—
ムービー録音	<p>[Off]にすると、ムービー撮影中に音声を録音しません。</p>	104
HDMI出力	<p>本機と外部機器をHDMI接続してムービーを撮影するときの出力設定を行います。</p> <p>[出力モード設定]：出力映像モードを設定します。[モニターモード]を設定すると、映像とカメラの情報を出力します。このときカメラ側には情報表示されません。</p> <p>[記録モード]を設定すると、映像のみを出力します。このときカメラ側には情報表示されます。</p> <p>[RECトリガー]：[On]にすると、接続した外部機器に、カメラからRECトリガーを通知します。</p> <p>[タイムコード]：[On]にすると、接続した外部機器に、カメラからタイムコードを通知します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 下記の場合、タイムコードをトリガーとする外部機器の録画が停止する場合があります。 <ul style="list-style-type: none"> - アートムービーなど処理の重いムービーの撮影 - ファインダーとモニターの表示切り替え時など 	—

ムービーに効果をつける

静止画の撮影モードの効果を活かしたムービー撮影が可能です。

- 1 動画メニューで、**[設定モード]**を選択して、**[OK]**ボタンを押します。
- 2 **[△▽]**で設定を選択して**[OK]**ボタンを押します。

P	被写体の明るさに応じて、最適な絞り値を自動的に設定します。 フロントダイヤル([F])またはリアダイヤル([R])で露出補正を設定できます。
A	絞り値を設定することで、背景の描写に変化がつけられます。 フロントダイヤル([F])で露出補正、リアダイヤル([R])で絞り値を設定できます。
S	シャッター速度を設定することで、被写体の写り方に変化がつけられます。フロントダイヤル([F])で露出補正、リアダイヤル([R])でシャッター速度を設定できます。 設定可能なシャッター速度は1/24 ~ 1/8000秒です。
M	絞り値とシャッター速度を設定します。 フロントダイヤル([F])で絞り値を設定し、リアダイヤル([R])でシャッター速度を設定します。 設定可能なシャッター速度は、1/3 ~ 1/8000秒です。 ISO感度は200 ~ 6400のマニュアル設定だけです。

- 露光中のぶれ(被写体ぶれなど)が発生する撮影状況では、シャッター速度を高速側(速くする)にすることでぶれを軽減できる場合があります。
- シャッター速度の低速側は、ムービー画質のフレームレートの設定によって変わります。
- 手ぶれが大きすぎると、補正しきれないときがあります。
- カメラの内部が高温になると、保護機能が動き自動的に撮影を中止します。
- アートフィルターによっては、**[C-AF]**の動作が制限されます。

画質モードを設定する(画質モード)

ムービーの画像サイズやビットレートなどの組み合わせを設定できます。設定後、ムービーの画質モード(P.58)で選択できます。

- 1 動画メニューで、**[画質設定]**を選択して、**[OK]**ボタンを押します。
- 2 **[画質モード]**を選択して**[▶]**を押します。
- 3 **[△▽]**で項目を選択して**[▶]**を押します。
 - **[△▽]**で設定を選択して**[OK]**ボタンを押します。

画像サイズ	[C4K] (カスタムのみ) / [4K] / [FHD] (Full HD) / [HD] を設定できます。
ビットレート	[A-I] (All-Intra) / [SF] (Super Fine) / [F] (Fine) / [N] (Normal) を設定できます。 <ul style="list-style-type: none"> • [A-I] (All-Intra)はクリップスには設定できません。 • 画像サイズで[4K]、[C4K]を設定しているときは、ビットレートは選択できません。

フレームレート	<p>[60p] / [50p] / [30p] / [25p] / [24p]を設定できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> 以下のときは、[60p] / [50p]は選択できません。 <ul style="list-style-type: none"> 画像サイズで[FHD] (Full HD)、ビットレートで[A-I] (All-Intra)を設定しているとき 画像サイズで[C4K]または[4K]を設定しているとき 画像サイズが[C4K]に設定されているときは、フレームレートは24pに固定されます。
撮影時間	<p>[8秒] / [4秒] / [2秒] / [1秒] / [Off] (カスタムのみ)を設定できます。</p> <p>撮影時間は、クリップとカスタム設定でのみ設定できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> 画像サイズで[C4K]を設定しているときは、撮影時間は[Off]に固定されます。
スロー/クイック効果	<p>スロー/クイック効果を設定できます。</p> <p>選択できる設定は、設定しているフレームレートによって異なります。</p> <ul style="list-style-type: none"> スロー効果、クイック効果が制限される画質モードがあります。

ムービー撮影の録音の設定をする(ムービー録音)

ムービー撮影時の音声録音の設定をします。

- 1 動画メニューで、[ムービー録音]を選択して、 ボタンを押します。
- 2 [On]を選択して▶を押します。
- 3 ▲▼で項目を選択して▶を押します。
 - ▲▼で設定を選択して ボタンを押します。

録音レベル調整	内蔵および外部マイクのそれぞれの感度を設定します。マイクが拾っている音量の過去数秒間のピーク値を音量レベルバーで確認しながら、▲▼で感度を調整します。
入カリミッター	[On]にすると、マイクで拾う音量が一定より大きい場合は、自動的に音量を制限します。
風切り音低減	録音時の風による雑音を低減します。
プラグインパワー	マイクへの通電が必要な場合は[On]、プロ用マイクなど通電が不要な場合は[Off]にします。
PCMレコーダー 接続	ICレコーダーを外部マイク端子に接続してマイクとして使用するときは[On]にします。 「ICレコーダーによるムービー音声録音」(P.105)
ヘッドホン音量	ヘッドホン使用時の音量を調整できます。

- ムービー撮影中の録音では、レンズの駆動音やカメラの操作音が入ることがあります。気になるときは、[AF方式]を[S-AF]や[MF]にして撮影したり、ボタンをなるべく押さないようにするなど、音の発生を抑えてください。
- ART (ジオラマ)では、録音できません。
- ムービー録音が[Off]のときは、 が表示されます。

ICレコーダーによるムービー音声録音

ICレコーダーを使って、ムービー音声を録音できます。

ICレコーダーをマイク端子に接続して録音します。接続には、抵抗無しタイプのケーブルをご使用ください。

- 1 動画メニューで、[ムービー録音]を選択して、**OK** ボタンを押します。
- 2 [On]を選択して**▷**を押します。
- 3 **△▽**で[PCMレコーダー **Q**接続]を選択して**▷**を押します。
- 4 **△▽**で項目を選択して**▷**を押します。
 - **△▽**で設定を選択して**OK** ボタンを押します。

カメラ側録音調整	[無効]にすると、カメラの音声記録設定を無効にし、ICレコーダーの設定で録音します。
スレートトーン	[On]にするとスレートトーンを発音します。
◎REC同期	[On]にすると、カメラのムービー撮影開始・終了と同時に自動的にICレコーダーの録音が始動・終了されます。

オリンパス製ICレコーダー LS-100を使ってムービー音声を録音する

オリンパス製ICレコーダー LS-100を使ってムービー音声を録音するときは、カメラの操作でスレートトーン発音や録音開始・終了することができます。

[ムービー録音]の[PCMレコーダー **Q**接続]で、[スレートトーン]と[**◎REC同期**]を[On]に設定してください。

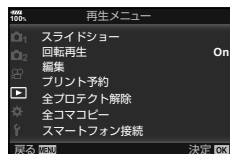
また、必ずLS-100のファームウェアを最新にしてお使いください。

- 1 LS-100をUSB端子とマイクに接続します。
 - LS-100をUSB端子に接続すると、接続方法を選ぶ設定画面が表示されます。[PCMレコーダー]に設定してください。接続方法を選ぶ設定画面が表示されないときは、カスタムメニューの[USB接続モード] (P.118)を[オート]に設定してください。
- 2 ムービー撮影を開始します。
 - 同時にLS-100が録音を開始します。
 - **OK** ボタンを長押しすると、スレートトーンを記録できます。
- 3 ムービー撮影を終了します。
 - 同時にLS-100が録音を終了します。
 - LS-100の取扱説明書も合わせてご覧ください。

再生メニューを使う

再生メニュー

- スライドショー (P.82)
- 回転再生 (P.106)
- 編集 (P.106)
- プリント予約 (P.147)
- 全プロテクト解除 (P.109)
- 全コマコピー (P.109)
- スマートフォン接続 (P.137)



画像を回転して再生する(回転再生)

設定が[On]のとき、縦位置で撮影した画像が自動的に回転して再生されます。

画像編集

撮影した画像を編集して別の画像として保存します。

- 再生スロットに指定したカードが編集の対象になります。☞「記録先カードを設定する」(P.133)

1 再生メニューで[編集]を選び \odot ボタンを押します。


2 Δ / ∇ で[画像選択]を選び \odot ボタンを押します。

3 \leftarrow / \rightarrow で編集する画像を選択し、 \odot ボタンを押します。

- RAW画像の場合は[RAW編集]、JPEG画像の場合は[JPEG編集]が表示されます。RAW+JPEGで記録した画像は、メニューに両方が表示されますので、編集したい方のメニューを選びます。

4 [RAW編集]または[JPEG編集]を選択して \odot ボタンを押します。

RAW編集	設定に合わせて編集したJPEG画像を作ります。	
	現設定	現在のカメラの設定に応じた処理がされます。あらかじめカメラの設定をしておきます。露出補正など、一部の設定は反映されません。
	詳細設定1	画面上で設定を変更しながら編集します。使用した設定を記録しておけます。
	ART BKT	選択したアートフィルターの設定で編集されます。

<p>JPEG編集</p>	<p>次の編集が可能です。</p> <p>【階調オート】：逆光時に暗く写った被写体を明るくします。</p> <p>【赤目補正】：フラッシュ撮影で目が赤く写った部分を軽減させます。</p> <p>【トリミング】：画像をトリミングします。フロントダイヤル(⊙)またはリアダイヤル(⊙)でトリミングサイズ、Δ ∇ \triangleleft \trianglerightでトリミング位置を指定します。</p>  <p>【アスペクト】：アスペクト比が4:3 (基準)の画像のアスペクト比を[3:2] / [16:9] / [1:1] / [3:4]に変更します。アスペクト比変更後、Δ ∇ \triangleleft \trianglerightでトリミング位置を指定します。</p> <p>【モノクロ作成】：白黒に変換します。</p> <p>【セピア作成】：セピア色に変換します。</p> <p>【鮮やかさ調整】：画像の色をより鮮やかにします。画面で確認しながら鮮やかさを調整します。</p> <p>【リサイズ】：画像サイズを1280 × 960、640 × 480、または320 × 240に変換します。アスペクト比が4:3 (基準)以外の画像は、近い大きさの画像サイズに変換されます。</p> <p>【eポートレート】：なめらかな肌に補正します。 顔が検出できないなど、画像によっては補正できない場合があります。</p>
----------------------	---

5 設定を完了したら \odot ボタンを押します。

- 画像に設定が反映されます。

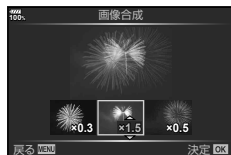
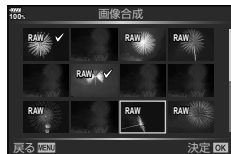
6 [実行]を選択して \odot ボタンを押します。

- 編集された画像がカードに記録されます。
- 画像によっては赤目補正できないことがあります。
- 次の場合はJPEG編集できません。
パソコンで編集した画像／カードの空き容量が不足している場合／他のカメラで撮影した画像
- [リサイズ]では、撮影時の画像サイズより大きなサイズには設定できません。
- [トリミング] / [アスペクト]は、アスペクト比が4:3 (基準)の画像のみ編集できます。
- ピクチャーモードを[ART]に設定すると[カラー設定](P.67)は、[sRGB]に固定されます。

画像合成

撮影したRAW画像を最大3コマまで重ねて合成し、別の画像として保存します。保存時の画質モードで保存されます。([RAW]の場合は[ON+RAW]で保存されます。)

- 1 再生メニューで[編集]を選びOKボタンを押します。
- 2 Δ ∇ で[画像合成]を選びOKボタンを押します。
- 3 合成するコマ数を選択してOKボタンを押します。
- 4 Δ ∇ \langle \rangle で合成するRAW画像を選択します。
 - 手順3で選択したコマ数を選択すると、画像合成画面が表示されます。
- 5 合成する各画像のゲインを選択します。
 - \langle \rangle で画像を選択し、 Δ ∇ で数値を変更します。
 - ゲインは0.1～2.0まで選択できます。表示画像を見ながらゲインを調節してください。
- 6 OKボタンを押すと、確認画面が表示されます。
[実行]を選択し、OKボタンを押します。



こんなときは

- 画像をRAW形式で保存し、繰り返し[画像合成]を行うと、4コマ以上の画像合成が可能です。

音声録音

静止画に音声を録音します(最長30秒)。

画像再生時の[録音]と同じ機能です(P.85)。

ムービーから静止画を保存する(静止画切り出し)

ムービーからコマを選択して、静止画として保存できます。

- 1 再生メニューで[編集]を選択して、OKボタンを押します。
- 2 Δ ∇ で[画像選択]を選びOKボタンを押します。
- 3 \langle \rangle でムービーを選択してOKボタンを押します。
- 4 [ムービー編集]を選びOKボタンを押します。
- 5 Δ ∇ で[静止画切り出し]を選びOKボタンを押します。
- 6 \langle \rangle で静止画として保存するコマを表示してOKボタンを押します。
 - 撮影時のアスペクト比が[16:9]、画質モードがMOVで4Kサイズ、本機で撮影したムービーを編集できます。

ムービーをトリミングする(トリミング)

- 1 再生メニューで[編集]を選択して、ボタンを押します。
- 2 Δ ∇ で[画像選択]を選びボタンを押します。
- 3 \langle \rangle でムービーを選択してボタンを押します。
- 4 [ムービー編集]を選びボタンを押します。
- 5 Δ ∇ で[トリミング]を選びボタンを押します。
- 6 [上書き保存]または[新規作成]を選択して、ボタンを押します。
 - 画像がプロテクトされている場合は、[上書き保存]は選択できません。
- 7 トリミングする範囲を指定します。
 - 先頭または後尾から選択されたフレームまでの範囲を削除します。
- 8 [実行]を選択してボタンを押します。
 - 本機で撮影したムービーを編集できます。

全プロテクト解除

プロテクトされている画像を一度に解除できます。

- 1 再生メニューで[全プロテクト解除]を選択して、ボタンを押します。
- 2 [実行]を選択してボタンを押します。
 - 再生中のカードに保存されている画像のプロテクトが解除されます。

全コマコピー

本機に装着されているカード(カードスロット1、2)間で、全コマコピーできます。

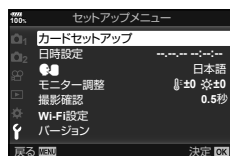
- 1 再生メニューで[全コマコピー]を選択してボタンを押します。
- 2 コピー設定を選択してボタンを押します。

①⇒②	カードスロット1に装着されているカードからカードスロット2に装着されているカードに全コマコピーします。
②⇒①	カードスロット2に装着されているカードからカードスロット1に装着されているカードに全コマコピーします。

- 3 [実行]を選択してボタンを押します。
 - コピー先のカードの空き容量がなくなると、その時点でコピーを終了します。

セットアップメニューを使う

▼セットアップメニューでは、カメラの基本的な機能を設定します。



メニュー項目	説明	
カードセットアップ	カードの初期化や、カードに保存されている画像を一括で削除します。	111
日時設定	日時を設定します。	19
🗨️ (言語切り換え)	モニターのメニュー表示やエラーメッセージを、日本語以外の言語に設定できます。	—
モニター調整	モニターの明るさと色温度を調整します。色温度の調整は再生時のモニター表示に適用されます。◀▶で🌞(色温度)と☀️(明るさ)を切り換え、△▽で設定値を選びます。 INFO ボタンを押すたびにモニター表示の彩度が [Natural] と [Vivid] で切り換わります。	—
撮影確認	撮影後に画像を自動的に表示するかどうかを設定します。また、表示する時間も設定できます。撮影した画像の簡単なチェックに便利です。撮影確認中でもシャッターボタンを半押しするとすぐに次の撮影に入れます。 [0.3秒] ~ [20秒] ：画像を表示する時間を指定します。 [Off] ：記録中の画像は表示されません。 [Auto▶] ：記録中の画像を表示し、そのまま再生モードに切り換わります。画像を確認した後、消去したいときに便利です。	—
Wi-Fi設定	本機の無線機能を使って、無線LAN接続が可能なスマートフォンと接続するための設定をします。	140
バージョン	カメラや接続しているアクセサリーのファームウェアバージョンを表示します。お問い合わせいただくときやソフトウェアをダウンロードする場合に確認してください。	—

カードを初期化する(カードセットアップ)

新しく購入したカード、他のカメラで使用したカード、パソコンなどで他の用途で使用したカードは、必ずこのカメラで初期化してからお使いください。

初期化すると、プロテクトをかけた画像を含むすべてのデータは消去されます。

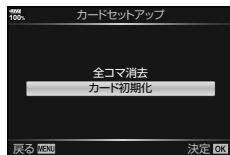
すでに使用しているカードを初期化するときは、大切なデータが記録されていないことを確認してください。☞「使用できるカード」(P.150)

1 [セットアップメニューで、[カードセットアップ]を選択して、[OK]ボタンを押します。

- カードスロット1と2の両方にカードが装着されている場合は、カードスロット選択が表示されます。カードスロットを選択して、[OK]ボタンを押します。
- カードにデータが含まれている場合は、メニュー項目が表示されます。[カード初期化]を選択して、[OK]ボタンを押します。

2 [実行]を選択して、[OK]ボタンを押します。

- 初期化が実行されます。



全コマを消去する(カードセットアップ)

撮影した画像をすべて消去します。プロテクトした画像は消去されません。

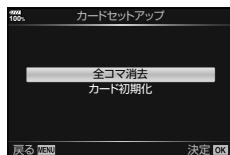
1 [セットアップメニューで、[カードセットアップ]を選択して、[OK]ボタンを押します。

- カードスロット1と2の両方にカードが装着されている場合は、カードスロット選択が表示されます。カードスロットを選択して、[OK]ボタンを押します。

2 [全コマ消去]を選択して、[OK]ボタンを押します。

3 [実行]を選択して、[OK]ボタンを押します。

- 全コマ消去が実行されます。



カスタムメニューを使う

✳️ カスタムメニューを使って、機能の拡張やカメラのカスタマイズができます。

カスタムメニュー




- A1/A2/A3** AF/MF (P.112)
- B** ボタン/ダイヤル/レバー (P.114)
- C1/C2** リリース/連写/手ぶれ補正 (P.115)
- D1/D2/D3/D4** 表示/音/接続 (P.116)
- E1/E2/E3** 露出/ISO/BULB/測光 (P.118)
- F** フラッシュ (P.120)
- G** 画質/WB/色 (P.120)
- H1/H2** 記録/消去 (P.121)
- I** EVF (P.123)
- J1/J2** その他 (P.123)











A1 AF/MF

MENU → ⚙️ → A1

メニュー項目	説明	🔊
AF方式	静止画撮影時のAFの方式を選択できます。	44, 52
AEL/AFLモード	AFやAEロックの機能を設定します。	125
AFスキャン	AF開始時に、被写体にピントが合っていないときやコントラストがはっきりしていないときの、AFのスキャン動作*を設定します。 * 被写体にピントが大きく合っていないときやコントラストがはっきりしていないときに、至近～∞までの全域にわたってピント位置を探す動作 [mode1] : AFスキャンを行いません。 [mode2] : AFスキャンを1回だけ行います [mode3] : AFスキャンを行います。	—
C-AF追従感度	C-AFの追従感度を設定します。	—
AFリミッター	[On] にすると、AF動作範囲を制限します。 [距離設定] : AFリミッター範囲を登録できます。距離範囲は3つまで登録できます。 数値と単位 (m, ft) を設定します。距離は正確なものではなく目安です。 [リリース優先] : [On] に設定すると、AFリミッター動作中、ピントが合わなくてもシャッターを切ることができるようになります。 • 下記の場合、AFリミッターは無効です。 - レンズ側のフォーカスリミッターが有効 - フォーカスブラケット使用中 - ムービーモードおよびムービー記録中	—





メニュー項目	説明	
[ /・/÷/■]表示設定	AFターゲット設定に表示する機能を設定します。表示しないときは項目を選択して、  ボタンを押してチェックを外します。	40
AFターゲット表示	[On1] ：緑色のターゲット枠を表示します。 [On2] ：半押ししている間、緑色のターゲット枠を表示します。 [Off] にすると、合焦時にターゲット枠を表示しません。	—

メニュー項目	説明	
AFターゲットパッド	[On] にすると、ファインダーをのぞきながらモニターをタッチして、AFターゲットの位置を変更できます。モニターをタッチしたまま指を動かすと、AFターゲットの位置が移動します。 <ul style="list-style-type: none"> • [On]にすると、モニターのダブルタッチで、ドラッグ操作の有効/無効の切り換えができます。 • [AFターゲットパッド]は、拡大枠画面(P.42)でも使用できます。 	—
[ :]Home登録	ホームポジションとして使う「AFターゲットモード」、「AFターゲットポジション」、「AF方式」を登録します。 [ :]Home登録画面で  ボタンを押してチェックを入れます。ホームポジションが登録中の場合、AFターゲット選択の画面で  が表示されます。	—
[ :]カスタム設定	AFターゲット選択画面の、ダイヤルと△▽< >ボタン機能を変更できます。 <ul style="list-style-type: none"> • [セット2]に登録した内容を使用するときは、[:]カスタム設定画面で[セット2]を選択してボタンを押します。 • AFターゲット選択画面でINFOボタンを押すと、[セット2]に切り換わります。 	—
AFイルミネーター	[Off] にするとAF補助光を発光しません。	—
◎顔優先	顔優先AFや瞳優先AFの方式を選択できます。	41
AF微調節	位相差AF時のピント位置を±20ステップの範囲で微調節できます。	—

メニュー項目	説明	
プリセットMF距離	プリセットMFのフォーカス位置を設定します。 数値と単位(m, ft)を設定します。距離は正確なものではなく目安です。	—
MFアシスト	[On]に設定すると、マニュアルフォーカス時にフォーカスリングを回したとき、自動的に拡大表示したり、ピーキング表示することができます。	125
MFクラッチ	[無効]にすると、レンズのマニュアルフォーカスクラッチまたはスナップショットフォーカスを使ったMF（マニュアルフォーカス）操作ができなくなります。MF操作をするときは、レンズのフォーカスリングを前方の位置にして行ってください。	—
フォーカスリング	フォーカスリングの回転方向とピントの移動方向を切り換えることができます。	—
BULB/TIME中MF	マニュアルフォーカス(MF)で露出中もピントの位置を変えられます。[Off]にすると、フォーカスリングの回転を無効にします。	—
レンズリセット	[Off]にすると、電源をオフにしてもフォーカス位置をリセットしません。[On]のとき、電動ズームレンズはズームの位置もリセットします。	—









B ボタン/ダイヤル/レバー

メニュー項目	説明	
ボタン機能	各ボタンに機能の登録ができます。	68
ロック	[On]にすると、PBH（パワーバッテリーホルダー）の△▽◀▶と⊗ボタンの操作を禁止します。	—
ダイヤル機能	リアダイヤルとフロントダイヤルの機能を変更できます。	—
ダイヤル方向	シャッター速度や絞り値増減のダイヤル方向を切り換えます。プログラムシフトのダイヤル方向を切り換えます。	—
Fnレバー設定	[Fnレバー機能] ：Fnレバーの位置によって、ダイヤルやボタンの機能を切り換えることができます。 [ボタン機能切換] ：[On]にすると、Fnレバーの位置によって ボタンの機能を切り換えることができます。[On]の状態ではFnレバーを2の位置にすると、AF ボタンでフラッシュ、 HDRボタンでブラケット撮影の設定に切り換わります。	126

メニュー項目	説明	
Fnレバー/ 電源レバー	[Fn] : Fnレバー機能の設定に従います。 [PW1] : Fnレバーの位置が1のときに電源オン、2のときに電源オフになります。 [PW2] : Fnレバーの位置が2のときに電源オン、1のときに電源オフになります。 [PW1]または[PW2]が設定されているときは、ON/OFFレバー（電源レバー）、  Fnレバー設定]、  Fnレバー機能]は無効です。	—
 電動ズーム速度	静止画撮影時の、電動ズームレンズをズームリングで操作するときのズーム速度を変更できます。	—



C1 レリーズ/連写/手ぶれ補正

MENU → * → C1

メニュー項目	説明	
レリーズ優先S	[On]に設定すると、ピントが合わなくてもシャッターを切ることができるようになります。S-AF、C-AFそれぞれのAF方式で個別に設定できます(P.44, 52)。	—
レリーズ優先C		
 L設定	連写の速度や撮影枚数制限を、  /  、  、  、それぞれに設定できます。  は、プリ連写枚数を設定できます。連写速度の数値は最大値の目安です。	49
 H設定		

C2 レリーズ/連写/手ぶれ補正

MENU → * → C2

メニュー項目	説明	
 手ぶれ補正	静止画撮影時の手ぶれ補正を設定します。	54
連写中手ぶれ補正	連写中の優先機能を設定します。 [連写速度優先] : 連写速度を優先します。連写中はセンサーを中央にリセットせずに撮影します。 [IS優先] : 手ぶれ補正を優先します。連写のコマごとにセンサーを中央にリセットし撮影します。連写速度が若干低下します。	—
半押し中手ぶれ補正	[Off]にすると、シャッターボタンの半押し中の手ぶれ補正機能が働きません。	—
レンズ手ぶれ補正優先	[On]にすると手ぶれ補正機能付きレンズを使用するときレンズ側の機能を優先して働かせます。 • レンズに手ぶれ補正切り換えスイッチがある場合、本機能は無効です。	—


メニュー項目	説明																								
Control表示	<p>操作画面の表示/非表示を、撮影モードごとに設定できません。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">操作画面</th> <th colspan="3">撮影モード</th> </tr> <tr> <th>FAUTO</th> <th>P/A/ S/M</th> <th>ART</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>LVコントロール(P.127)</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>LVスーパーコンパネ(P.51)</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>ライブガイド(P.32)</td> <td>○</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>ARTメニュー (P.34)</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>○</td> </tr> </tbody> </table> <p>操作画面は、INFOボタンを押すと切り換えることができます。</p>	操作画面	撮影モード			FAUTO	P/A/ S/M	ART	LVコントロール(P.127)	○	○	○	LVスーパーコンパネ(P.51)	○	○	○	ライブガイド(P.32)	○	×	×	ARTメニュー (P.34)	×	×	○	126
	操作画面		撮影モード																						
		FAUTO	P/A/ S/M	ART																					
	LVコントロール(P.127)	○	○	○																					
	LVスーパーコンパネ(P.51)	○	○	○																					
ライブガイド(P.32)	○	×	×																						
ARTメニュー (P.34)	×	×	○																						
/Info表示設定	<p>INFOボタンを押したときに表示する情報画面の表示/非表示を設定します。</p> <p>[]Info] : 再生情報画面の設定 [QInfo] : 拡大再生情報画面の設定 [LV-Info] : 撮影情報画面の設定 [表示] : インデックス表示/クリップスビュー/カレンダー表示の設定</p>	128, 129																							
ピクチャーモード表示	<p>ピクチャーモード種類選択画面(P.62)に表示する機能を選択します。表示しないときは項目を選択して、ボタンを押してチェックを外します。</p>	—																							
/心表示設定	<p>連写/セルフタイマー機能選択画面(P.47)に表示する機能を選択します。表示しないときは項目を選択して、ボタンを押してチェックを外します。</p>	—																							
マルチFn表示設定	<p>マルチファンクション(P.71)の機能を選択します。使用しないときは項目を選択して、ボタンを押してチェックを外します。</p>	—																							

メニュー項目	説明	
LVブースト	<p>低照度下の撮影でも被写体を確認しながら撮影できます。Mモードのときは、BULB/TIME撮影やライブコンポジット撮影のそれぞれに設定できます。</p> <p>[On1] : なめらかに表示することを優先して表示します。 [On2] : 暗くても画像が見えることを優先して表示します。</p>	—
アートLVモード	<p>[mode1] : 常にフィルター効果を反映して表示します。 [mode2] : シャッターボタンを半押し中、モニターのスムーズな表示を優先して表示します。アート効果の表示は低減されることがあります。</p>	—
フレームレート	<p>[高速]にすると動く被写体をよりなめらかに追いかけてやすくなります。ただし、撮影枚数が若干減ります。 カメラが高温になると自動的に[標準]に設定されます。</p>	—


メニュー項目	説明	🔍
LV拡大設定	<p>[LV拡大モード] : [mode1]に設定しているときは、拡大ライブビュー中に半押しすると、拡大枠表示に戻ります。</p> <p>[mode2]に設定しているときは、拡大ライブビュー中に半押しすると、拡大AFを行います。</p> <p>[LVブースト] : [On]に設定すると、拡大領域を適正露出に調整して表示します。暗いところでの撮影時に、ピントを確認するのに適しています。[Off]に設定すると、拡大前のライブビューの明るさを保持して拡大領域を表示します。逆光での撮影時に、ピントを確認するのに適しています。</p>	—
プレビュー設定	<p>[🔒ロック] : [On]に設定すると、ボタンを放しても設定された絞り込み状態を保持します。</p> <p>[LVブースト] : [On]にすると、低照度下の撮影でも被写体を確認しながら撮影できます。</p>	—
フリッカー低減	ライブビュー表示の蛍光灯などによるフリッカーの影響を低減します。[オート]で低減されないときは、地域の商用電源周波数に合わせて[50Hz] [60Hz]に設定します。	—

D3 表示/音/接続

メニュー項目	説明	🔍
ガイド線表示設定	<p>撮影時に表示するガイド線表示を設定します。</p> <p>[表示色] : ガイド線の色と不透明度を設定します。[プリセット1]、[プリセット2]に登録できます。</p> <p>[表示罫線選択] : [方眼]、[黄金分割]、[目盛]、[対角線]、[動画罫線]、[三分割]から選択し、撮影画面に罫線を表示できます。</p> <p>[EVF反映] : [On]にすると、[EVF表示スタイル]の[スタイル1]および[スタイル2]のガイド線をモニターと同じにします。</p> <p>[EVFガイド線表示設定]は無効になります。</p>	—
ピーキング表示	<p>輪郭強調の色や強度を変更できます。</p> <p>輪郭強調の色(赤・黄・白・黒)と強度(標準・弱・強)、[ピーキング背景の輝度調整] (On・Off)を変更できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> [ピーキング背景の輝度調整]を[On]に設定すると、強調色が目立つようにライブビューの明るさを変更します。 	125
ヒストグラム警告設定	<p>[ハイライト表示] : ハイライト表示の下限値を設定します。</p> <p>[シャドウ表示] : シャドウ表示の上限値を設定します。</p>	128
モードガイド表示	[On]にすると、モードダイヤルを切り換えたときにモードについてのガイドを表示します。	24
自分撮りアシスト	[On]にするとモニターを自分撮り位置にセットしたときに、自分撮りに適した画面になります。	130

メニュー項目	説明	
電子音	[Off]に設定すると、シャッターボタンを押してピントが合ったときのピピッと音を鳴らさないようにできます。	—
HDMI	[出力サイズ]：HDMIケーブルでテレビに接続するときのデジタルビデオ信号形式を選択します。 [HDMIコントロール]：[On]にするとHDMIコントロール対応テレビのリモコン操作を許可します。撮影した画像をテレビで再生するときに使えます。 [出力フレームレート]：HDMIケーブルでテレビに接続する場合に、[50p優先] (PAL)で接続するか、[60p優先] (NTSC)で接続するかを選択します。	131
USB接続モード	カメラをパソコンやプリンターに接続するときの方法を選択します。[オート]では機器に接続するたびにメニューが表示されます。[カメラコントロール]に設定すると、専用ソフトウェアを使ってパソコンからカメラを操作したり、カメラからパソコンに画像を転送することができます。専用ソフトウェアは下記のURLからダウンロードし、インストールしてください。[カメラコントロール]を使うには、モードダイヤルをP/A/S/Mモードのいずれかに設定してください。 http://support.olympus-imaging.com/oc1/download/index/	—

E1 露出/ISO/BULB/測光

メニュー項目	説明	
露出基準調整	適正露出の基準値を測光方式ごとに調整できます。 <ul style="list-style-type: none"> 調整した方向の露出補正範囲が狭くなります。 調整量は撮影画面では確認できません。通常の露出補正を目的とする場合は、露出補正(P.40)を行ってください。 	—
露出ステップ	シャッター速度、絞り値、露出補正值などの露出パラメータ設定の変更ステップを切り換えます。	—
ISO感度ステップ	ISO感度の設定ステップを設定します。	—
ISOオート設定	[上限/基準値設定]：ISO感度を[オート]に設定したときの上限值と基準値を設定します。[上限値]で、ISO感度の上限を設定します。[基準値]で、通常使用するISO感度を設定します。設定の上限は6400です。 [低速限界設定]：P/Aモードで、自動でISO感度を上げるシャッター速度を設定します。 [オート]にするとカメラが自動的に設定します。	—
ISOオート有効	ISO感度の[オート]の動作を設定します。 [P/A/S]：Mモード以外の撮影モードで有効になります。 [All]：すべての撮影モードで有効になります。	—

E1 露出/ISO/BULB/測光

MENU → * → E1

メニュー項目	説明	🔍
📷高感度ノイズ低減	高感度撮影時のノイズ低減レベルを選択できます。	—
長秒時ノイズ低減	長時間露光時に発生するノイズを低減します。 【オート】：長秒時、カメラ内部温度上昇時に、ノイズ低減処理を行います。 【On】：常にノイズ低減処理を行います。 【Off】：ノイズ低減処理を行いません。 <ul style="list-style-type: none"> ノイズ低減処理中は、画面に処理が終了するまでの時間が表示されます。 連写設定時は自動的に【Off】になります。 撮影条件や被写体により効果が出にくい場合があります。 	29

E2 露出/ISO/BULB/測光

MENU → * → E2

メニュー項目	説明	🔍
BULB/TIME リミッター	バルブ撮影、タイム撮影の最長時間を設定します。	—
BULB/TIME輝度 設定	【BULB】、【TIME】、【COMP】設定時のモニターの明るさを設定します。	—
ライブBULB設定	撮影中の画面表示の間隔を設定します。更新回数には制限があります。また、ISO感度が高いほど表示回数が少なくなります。【Off】にすると表示しません。モニターにタッチするかシャッターボタンを半押しすると表示を更新できます。	—
ライブTIME設定		—
コンポジット撮影 設定	コンポジット撮影時に基準となる露出時間を設定します。	31

E3 露出/ISO/BULB/測光

MENU → * → E3

メニュー項目	説明	🔍
測光	撮影シーンに応じて測光方式を変更できます。	46, 52
AEL測光モード	AEロック(P.46)するときの測光方式を設定します。 【オート】：通常の測光モードの設定に従います。	—
[.:]連動スポット測光	【スポット】、【スポットハイライト】、【スポットシャドウ】のそれぞれのスポット測光位置をAFターゲットに連動させるかどうかを設定します。	—

F フラッシュ


MENU → ⚙ → F

メニュー項目	説明	🔍
🔁同調速度	フラッシュ発光時のシャッター速度を設定できます。	132
🔁低速制限	フラッシュ発光時の低速側のシャッター速度の制限値を設定できます。	132
📷+🔍連動	[On]にすると、フラッシュ補正值に露出補正值が加算されます。	40, 61
🔁+WB連動	フラッシュ発光時のホワイトバランスの設定を選択できます。	—


G 画質/WB/色

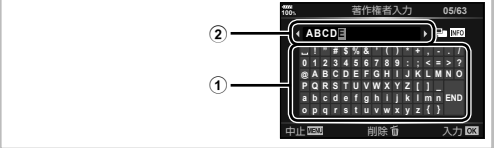
MENU → ⚙ → G

メニュー項目	説明	🔍
画質設定	JPEGの画質モードを変更できます。3種類の画像サイズと4種類の圧縮率の組み合わせから選択します。 <ol style="list-style-type: none"> 1) <D>で[←1]～[←4]の画像サイズと圧縮率を選択し、△▽で値を変更します。 2) Ⓞボタンを押すと確定されます。 	57, 90, 132
ピクセルサイズ	画像サイズ[M], [S]のピクセルサイズを設定できます。 <ol style="list-style-type: none"> 1) [Middle]または[S]を選択して、▷を押します。 2) ピクセルサイズを変更して、Ⓞボタンを押すと設定が確定します。 	57, 90, 132
シェーディング補正	[On]に設定すると、レンズの特性による画面周辺の暗さを補正し、明るくします。 <ul style="list-style-type: none"> • テレコンバーターやエクステンションチューブを装着しているときは補正されません。 • 高いISO感度では、画面周辺のノイズが目立つ場合があります。 	—
WBモード	ホワイトバランスの設定をします。それぞれの設定を微調整しておくこともできます。	43, 53
全WBモード補正	[All Set] : [CWB]以外のすべてのWBモードで同じ補正值を適用します。 [All Clear] : [CWB]以外のすべてのホワイトバランス補正值を0にします。	—
WBオート 電球色 残し	[On]にすると電球色の色味を残します。	—

メニュー項目	説明	
カラー設定	撮影した画像をモニターやプリンターで再現する際、色再現を正しく行うための方式を選択します。	67

H1 記録/消去

メニュー項目	説明	
カードスロット設定	静止画やムービーの記録先カードを設定します。	133
ファイルネーム	<p>[オート]：カードを入れ替えても、ファイル番号は通し番号で付けられます。カード内に重複するファイル番号がある場合は、最も大きなファイル番号に続いた番号が付けられます。</p> <p>[リセット]：新しいカードを入れると、フォルダ番号は100、ファイル名は0001から始まります。すでに画像が記録されたカードでは、最も大きなファイル番号に続いた番号が付けられます。</p> <p>2枚のカードに同時記録する場合は、両方のカードのファイル番号とフォルダ番号により、1枚の場合と同じ規則で番号が付けられます。</p>	—
ファイルネーム編集	<p>画像につくファイル名を変更できます。以下の部分が編集できます。</p> <p>sRGB：Pmdd0000.jpg ————— Pmdd</p> <p>AdobeRGB：_mdd0000.jpg ————— mdd</p>	—
dpi設定	プリントするときの解像度を設定します。	—


メニュー項目	説明	
著作権情報*	<p>最大63文字の撮影者／著作権者の名称を画像に付加します。 [著作権情報記録]：[On]を選択すると撮影者／著作権者の名称をExif情報に付加します。 [撮影者入力]：撮影者の名称を入力します。 [著作権者入力]：著作権者の名称を入力します。</p> <p>1) ①の中から文字を選択し、[OK]ボタンを押します。選択した文字は②に表示されます。</p> <p>2) 手順1を繰り返し、すべてを入力したら[END]を選択し[OK]ボタンを押します。</p> <ul style="list-style-type: none"> 文字を消去するには、INFOボタンを押し、カーソルを②に移動してから、消去したい文字を選んで[DEL]ボタンを押します。  <p>* [著作権情報]の使用によって生じたトラブルや損害などについては、当社は一切の責任を持ちません。お客様の責任で使用してください。</p>	—
レンズ情報登録	通信ができないレンズの情報を最大10本まで登録できます。	134

メニュー項目	説明	
ワンブッシュ消去	[On]に設定すると、再生画面で [DEL] ボタンを押したとき、すぐに画像が消去されます。	—
RAW+JPEG消去	<p>[1コマ消去]を行う場合に、RAW+JPEGで記録した画像の消去方法を設定します。 [JPEG]：JPEGのみ消去します。 [RAW]：RAWのみ消去します。 [RAW+JPEG]：RAWとJPEGの両方を消去します。</p> <ul style="list-style-type: none"> [全コマ消去] (P.111)や選択コマ消去の場合は、常にRAWとJPEGの両方が消去されます。 	57, 84, 90
実行優先設定	カーソルの初期位置を [実行] または [中止] にするかを選択できます。	—

メニュー項目	説明	🔍
EVF自動切換設定	[Off]にすると、ファインダーをのぞいても表示は切り換わりません。表示を切り換えるには[O]ボタンを押します。	—
EVF調整	ファインダー表示の明るさや色合いを調整します。 [EVF自動調光]が[On]のときは自動で明るさを調整します。 また、情報表示の濃さも自動的に調整されます。	—
EVF表示スタイル	ファインダー内の表示スタイルを変更できます。	135
☐ Info表示設定	ファインダーに、モニターと同じようにヒストグラム表示やハイライト&シャドウ、水準器表示を設定できます。[EVF表示スタイル]で[スタイル1]、[スタイル2]に設定しているときに有効です。	—
EVFガイド線表示設定	[EVF反映]が[Off]のときに、[EVF表示スタイル]を[スタイル1]または[スタイル2]に設定した場合は、ファインダーに表示される罫線と罫線の色を選択できます。[方眼]、[黄金分割]、[目盛]、[対角線]、[動画罫線]、[三分割]から選択できます。	—
☐半押し中水準器表示	[Off]にすると、シャッターボタンの半押し中にファインダー内に水準器を表示しません。[EVF表示スタイル]で[スタイル1]、[スタイル2]に設定しているときに有効です。	—
OVFシミュレーション	[On]にすると、ファインダーに表示される画像を、光学ビューファインダーのように表示します。[OVFシミュレーション]を使うと暗部のディテールを確認しやすくなります。 <ul style="list-style-type: none"> • [OVFシミュレーション]を開始すると、ファインダー内に🔍が表示されます。 • ホワイトバランス、露出補正、仕上がりのカメラの設定は、表示には反映されません。 	—

11 その他

メニュー項目	説明	🔍
ピクセルマッピング	撮像素子と画像処理機能のチェックを同時に行います。	161
ボタン長押し時間調整	ボタンに割り当てられている機能が動作するまでの、ボタン長押し時間を[0.5秒] ~ [3.0秒]で設定します。	—
水準器調整	水準器の角度のずれを調整できます。 [リセット]: 出荷時の調整値に戻ります。 [キャリブレーション]: 現在のカメラの状態位置を0点とします。	—
タッチパネル設定	モニターに触れてカメラを操作することができます。[Off]にするとタッチパネルの操作を禁止します。	—
メニューカーソル保持	[記憶する]に設定すると、メニューを表示したときに、前回操作したときのカーソル位置から表示します。カーソル位置は電源を切っても保持されます。	—

メニュー項目	説明	
電池設定	<p>[使用順序設定]：優先的に使用する電池を設定します。[本体側優先]に設定すると、本体の電池を優先して使用します。[PBH側優先]に設定すると、PBH（パワーバッテリーホルダー）の電池を優先して使用します。</p> <p>[ステータス表示]：装着されている電池の状態を表示します。</p>	—
バックライト時間	設定した時間、カメラを操作しないと、バックライトを減光して電池の消費を抑えます。 [Hold] にすると減光しません。	—
スリープ時間	設定した時間、カメラを操作しないと、省電力モード（スリープモード）になります。シャッターボタンの半押しで解除されます。	—
自動電源Off	スリープ中に、設定した時間が経過すると、自動的に電源をOffにします。	—
低消費電力撮影	<p>[On]にすると、ライブビューを使わずに撮影しているとき、すぐに省電力状態になり、カメラの電力消費を抑えて撮影できます。バックライト時間とスリープ時間を設定できます。シャッターボタンを操作すると、省電力状態から復帰します。ライブビューやファインダーを使用している場合は省電力状態になりません。</p> <p>[On]に設定されているときは、スーパーコンパネ上にECOアイコンが表示されます。</p>	—
Eye-Fi 設定*	Eye-Fiカードを使用するときに通信を行うかどうかを設定します。Eye-Fiカードを装着しているときのみ、設定の変更ができます。	—
認証マーク表示	認証マークを表示します。	—

* Eye-Fiカードは使用する国や地域の法律に従ってお使いください。飛行機の中など使用を禁止される場所では、カードをカメラから取り出すか、**[Eye-Fi 設定]**を**[Off]**にしてください。Eye-Fiカードのエンドレスモードには対応していません。

AEL/AFLモード

MENU → * → A1 → [AEL/AFLモード]

AEL/AFL機能を割り当てたボタンを押してオートフォーカスや測光を行うことができます。フォーカスモードごとにmodeを選択します。



AEL/AFL機能分担一覧

モード		シャッターボタンの役割				AEL/AFLボタンの役割	
		半押しするとき		全押しするとき		押している間	
		ピント	露出	ピント	露出	ピント	露出
S-AF	mode1	S-AF動作	固定	-	-	-	固定
	mode2	S-AF動作	-	-	固定	-	固定
	mode3	-	固定	-	-	S-AF動作	-
C-AF	mode1	C-AF開始	固定	固定	-	-	固定
	mode2	C-AF開始	-	固定	固定	-	固定
	mode3	-	固定	固定	-	C-AF開始	-
	mode4	-	-	固定	固定	C-AF開始	-
MF	mode1	-	固定	-	-	-	固定
	mode2	-	-	-	固定	-	固定
	mode3	-	固定	-	-	S-AF動作	-

MFアシスト

MENU → * → A3 → [MFアシスト]

MFでのピント合わせを補助する機能です。フォーカスリングを回すと、被写体の輪郭を強調したり画面の一部を拡大したりして表示します。フォーカスリングの操作をやめると、元の表示に戻ります。

拡大	画面の一部を拡大して表示します。拡大する部分はあらかじめAFターゲットで決めることができます。☑ 「ピントの位置を自分で決める」 (P.41)
ピーキング	画面内の輪郭のはっきりした箇所を強調表示します。強調表示の色や強度を選択することができます。☑ 【ピーキング表示】 (P.117)

- 【ピーキング】は、ボタン操作で表示することもできます。ボタンを押すたびに表示を切り換えることができます。あらかじめボタン機能 (P.68) でいずれかのボタンに機能を割り当てておきます。
- ピーキング表示中は、**INFO**ボタンを押して、色や強度を変更することができます。
- ピーキング表示は、細かい被写体ほど強く表示される傾向にあります。正確なピント位置を保証するものではありません。

📷Fnレバー機能

MENU → ⚙ → B → [📷Fnレバー設定] → [📷Fnレバー機能]

Fnレバーの位置によってダイヤルやボタンの機能を切り換えることができます。

Fnレバー位置とダイヤル／ボタン機能分担一覧

モード	Fnレバー位置が1のとき	Fnレバー位置が2のとき
Off	Fnレバー機能を使用しません。	
mode1	ダイヤルの機能は[📷ダイヤル機能] (P.114)設定に従います。	
mode2	Fnレバーで切り換える機能を選択できます(AF方式 / [1/2/3/4] (AFターゲット設定) / [5] (AFターゲット選択))。	
mode3	撮影モードはモードダイヤルに従います。	撮影モードをムービーモード(📹)に切り換えます。

操作画面の表示を選ぶ(📷Control表示)

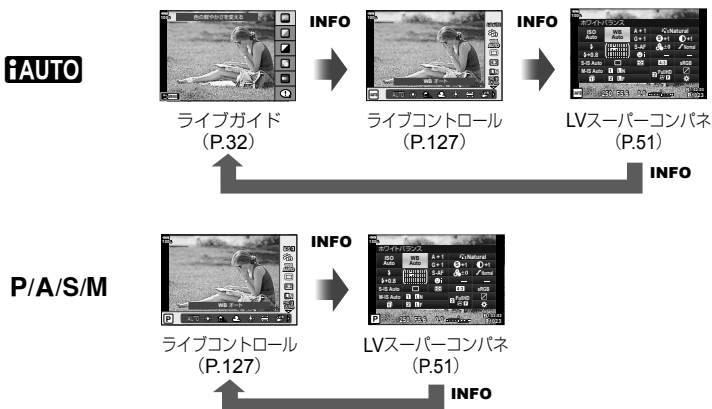
MENU → ⚙ → D1 → [📷Control表示]

撮影モードで機能を設定する各操作画面の表示、非表示を設定します。

各撮影モードで、表示したい操作画面にⓂボタンを押してチェックを入れます。

操作画面の表示のしかた

- Ⓜボタンを押して操作画面を表示した状態で、**INFO**ボタンを押すと表示が切り換わります。
- [📷Control表示]でチェックを入れた操作画面のみ表示されます。



ART



- ・ムービーモードの場合は、**[設定表示]**の**[Control表示]**で設定します (P.102)。

ライブコントロール



使用可能な設定機能

手ぶれ補正*	P.54	フラッシュ補正	P.61
ピクチャーモード*	P.62, 90	測光方式	P.46, 52
ホワイトバランス*	P.43, 53	AF方式*	P.44, 52
連写/セルフタイマー	P.47, 55	ISO感度*	P.43, 52
アスペクト比	P.55	顔優先*	P.41
画質モード*	P.57, 58, 90	ムービー録音*	P.104
モード*	P.103		
フラッシュモード	P.59		

* ムービーモードで使える機能

- ・撮影モードによっては選択できない機能があります。
- ・**[Control表示]**で操作画面の**[LVコントロール]**を設定すると、**AUTO/P/A/S/M/ART**モードでもライブコントロールを使用できます (P.116)。

- 1 **[OK]** ボタンを押してライブコントロールを表示します。
 - ・再度**[OK]** ボタンを押すとライブコントロールの表示が消えます。
- 2 **[△/▽]** でカーソルを設定したい機能に移動し、**[</>]** で設定を選択し**[OK]** ボタンを押します。
 - ・何も操作せずに約8秒経過すると設定が確定します。

情報表示の画面を追加する

MENU → * → [01] → [Info表示設定]

[▶]Info (再生情報表示)

[▶]Infoで以下の再生情報表示画面を追加できます。追加した画面は、画像再生時に**INFO**ボタンを繰り返し押し表示されます。また、初期設定で表示されている画面を非表示にすることもできます。



ヒストグラム表示



ハイライト&シャドウ表示



ライトボックス表示

ハイライト&シャドウ表示

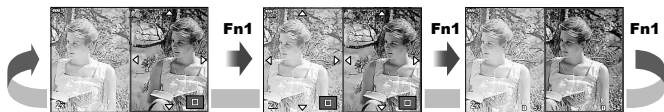
画像の明るさの上限値以上の部分を赤、下限値以下の部分を青で表示します。[] [ヒストグラム警告設定] (P.117)

ライトボックス表示

2枚の画像を並べて表示して比較できます。[] ボタンを押すと、左右の画像を切り換えることができます。

- 右の画面で基準にする画像を選びます。フロントダイヤルで画像を選んで[] ボタンを押すと、その画像が左の画面に移動します。左の画面の画像と比較する画像を右の画面で選びます。基準とする画面を変えるときは、右の画面で選んで[] ボタンを押します。
- リアダイヤルを回すと拡大倍率を変更できます。

拡大中は、**Fn1**ボタンを押して△▽◀▶で拡大範囲をスクロール、フロントダイヤルで画像の選択ができます。



[▶]QInfo (再生拡大情報表示)

[▶]QInfoで再生拡大情報表示画面を設定できます。あらかじめボタン機能(P.68)で[Q] (拡大)をボタンに割り当てておくと、画像再生時にQボタンを繰り返し押し、設定した画面表示を切り換えることができます。初期設定で表示されている画面を非表示にすることもできます。

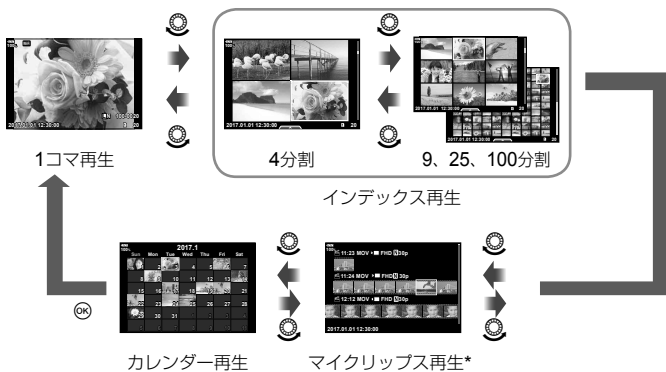


LV-Info (撮影情報表示)

[LV-Info]でハイライト&シャドウ表示画面を追加できます。追加した画面は、撮影時に**INFO**ボタンを繰り返し押しすと表示されます。また、初期設定で表示されている画面を非表示にすることもできます。

表示(インデックス/カレンダー表示)

[表示]で、インデックス表示画面の分割数を変更したり、初期設定で表示されている画面を非表示にできます。チェックを入れた画面は画像再生時にリアダイヤルを回して選択します。



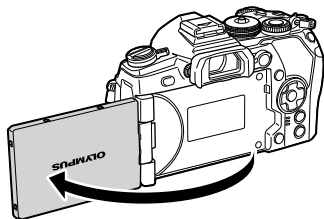
* 作成されたマイクリップスがある場合に表示されます(P.74)。

自分撮りアシストメニューを使って自分を撮る

MENU → * → D3 → [自分撮りアシスト]




モニターを自分撮りの位置にしたときに便利なタッチ操作メニューをモニターに表示できます。

- 1 カスタムメニュー **D3**の[自分撮りアシスト]を[On]にします。
- 2 モニターを反転させます。



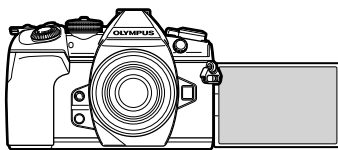
自分撮りメニュー

- モニターに自分撮りメニューが表示されます。

 Off	ワンタッチ ePORTRAIT	ONにすると、なめらかな肌に補正します。 iオートモード(iAUTO)時のみ有効です。
	タッチシャッター	アイコンをタッチすると、約1秒後にシャッターが切れます。
 Off	ワンタッチカスタム セルフ	セルフタイマーで3コマ撮影します。シャッターが切れる 枚数や間隔などはカスタムセルフタイマーで設定できます (P.47, 55)。

3 カメラを構えて構図を決めます。

- レンズに指やストラップがかからないよう、ご注意ください。



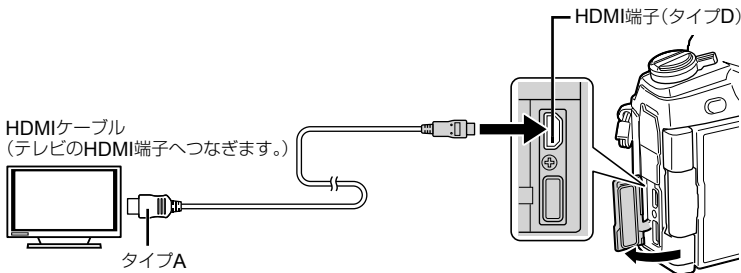
4 をタッチして撮影します。

- 撮影された画像がモニターに表示されます。
- モニターに映った被写体をタッチしても、シャッターボタンを押しても撮影できます。

カメラの画像をテレビで見る

MENU → * → D4 → [HDMI]

別売のケーブルを使ってテレビに接続して画像を再生します。また、撮影でも使用できます。HDMIケーブルを使ってハイビジョン対応のテレビに接続すると、高画質な画像をテレビで見ることができます。



テレビとカメラを接続してテレビの入力を切り換えます。

- HDMIケーブルを接続すると、テレビとカメラのモニターの両方に画像が表示されます。テレビ画面にだけ情報が表示されます。
- テレビの入力切り換えについては、テレビの取扱説明書をご覧ください。
- テレビの設定によっては、画像や情報表示の一部が欠けて見ることがあります。
- HDMIケーブルでテレビに接続するときのデジタルビデオ信号形式を選ぶことができます。テレビの入力設定に合わせて選択してください。

C4K	C4KをHDMI出力します。
4K優先	4Kを優先してHDMI出力します。
1080p優先	1080pを優先してHDMI出力します。
720p優先	720pを優先してHDMI出力します。
480p/576p	480p/576p形式でHDMI出力します。

- 他のHDMI出力機器と接続しないでください。故障の原因となります。
- パソコンやプリンターとのUSB接続中は、HDMI出力は行われません。
- 【出力モード設定】が【記録モード】(P.102)のときは、設定されているムービー画質モードで出力します。設定されている画質モードにテレビが対応していない場合は、画像は表示されません。
- 静止画撮影状態のときは信号形式を【4K優先】または【C4K】にしても、1080p優先で出力されます。

テレビのリモコンを使う

HDMIによるコントロールに対応したテレビに接続したとき、テレビのリモコンで操作することができます。 [HDMI] (P.118)

カメラのモニター表示は消灯します。

- テレビに表示された操作ガイドに従って操作できます。
- 1コマ再生のときに、リモコンの「赤」ボタンで情報表示の切り換え、「緑」ボタンでインデックス表示への切り換えができます。
- テレビによっては使用できない機能があります。

4

フラッシュ発光時のシャッター速度

MENU → * → F → [⚡同調速度] / [⚡低速制限]

フラッシュが発光するときのシャッター速度の条件を設定できます。

撮影モード	フラッシュ発光シャッター速度	上限	下限
P	カメラが自動的に設定	[⚡同調速度] 設定	[⚡低速制限] 設定*
A			
S	シャッター速度設定による		制限無し
M			

* スローシンクロ発光設定時は最長60秒まで延長

JPEGの画像サイズと圧縮率の組み合わせ

MENU → * → G → [画質設定]

画像サイズと圧縮率を組み合わせ、JPEGの画質モードを設定できます。

画像サイズ		圧縮率				用途
サイズ名	ピクセルサイズ	SF (Super Fine)	F (Fine)	N (Normal)	B (Basic)	
L (Large)	5184×3888*	L SF	L F*	L N*	L B	プリントサイズに合わせて選択
	3200×2400*	M SF	M F	M N*	M B	
M (Middle)	2560×1920					
	1920×1440					
S (Small)	1600×1200	S SF	S F	S N*	S B	小さいプリントやホームページ用
	1280×960*					
	1024×768					

* 初期設定

記録先カードを設定する

MENU → * → [M] → [カードスロット設定]

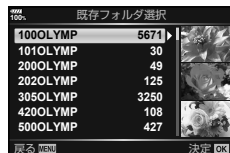
カードスロット1、2の両方にカードが装着されているときの、静止画とムービーの記録先を設定します。

- 1 カスタムメニュー [M]の[カードスロット設定]を選択して、[OK]ボタンを押します。
- 2 △▽で項目を選択して▷を押します。
 - △▽で設定を選択して[OK]ボタンを押します。

記録設定	静止画の記録方法を指定します。[P.56]「撮影データの記録方法を設定する(記録設定)」(P.56)
記録スロット	静止画の記録先カードを設定します。[記録設定]が[標準]または[自動切換]に設定されているときに有効です。
記録スロット	ムービーの記録先カードを設定します。
スロット	[記録設定]が[振り分け↓]、[振り分け↑]、[同一書き込み↓]または[同一書き込み↑]に設定されているときの、静止画を再生するカードを選択します。
記録フォルダ指定	カードの保存先フォルダを設定します。

記録フォルダ指定

- 1 [記録フォルダ指定]を選択して▷を押します。
- 2 [指定する]を選択して▷を押します。
- 3 フォルダを選択して、[OK]ボタンを押します。
 - [新規作成]を選択した場合は、3桁のフォルダ番号を指定して、[OK]ボタンを押します。
 - [既存フォルダ選択]を選択した場合は、△▽で既存フォルダを選択して、[OK]ボタンを押します。
フォルダ内の最初の2コマと最後の1コマが表示されます。



レンズ情報を登録する

MENU → * → [Fn] → [レンズ情報登録]

通信ができないレンズの情報を最大10本まで登録できます。

- 1 カスタムメニュー [Fn]の[レンズ情報登録]で、[レンズ情報新規登録]を選びます。
 - 2 [レンズ名]を選び、レンズ名を入力します。最後に[END]を選び[OK]ボタンを押します。
 - 3 [焦点距離]を△▽◀▶で設定します。
 - 4 [絞り値]を△▽◀▶で設定します。
 - 5 [登録]を選んで、[OK]ボタンを押します。
- 登録されたレンズがレンズ情報登録画面に表示されます。
 - 非通信レンズを装着した際には、✓が付いたレンズの情報が用いられます。✓を付けたレンズを選び、[OK]ボタンを押します。

ファインダー内表示のスタイルを選ぶ

MENU → ※ → → [EVF表示スタイル]

スタイル1/2：シャッター速度や絞り値など主要な表示のみ

スタイル3：モニター表示と同じ表示

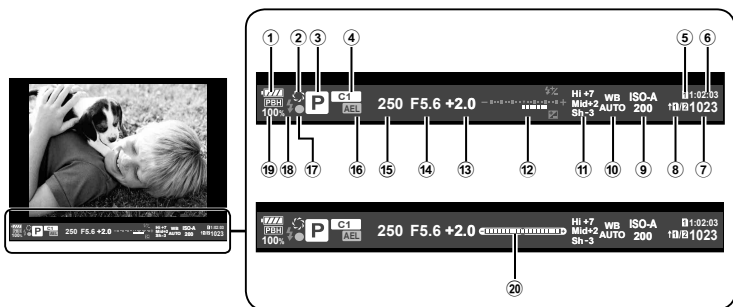








スタイル1 / スタイル2




スタイル3

■ ファインダー撮影時のファインダー内表示(スタイル1 / スタイル2)



- | | |
|--|---|
| ① 電池残量 | ⑪ ハイライト&シャドウコントロール.....P.67 |
| <ul style="list-style-type: none"> ■ ：撮影できます。 ■ ：電池が減っています。 ■ ：電池残量が少なくなっています。 ■ ：充電してください。 | ⑫ 上：フラッシュ補正.....P.61
下：露出補正バー.....P.40 |
| ② プレビュー.....P.69 | ⑬ 露出補正值.....P.40 |
| ③ 撮影モード.....P.24-38 | ⑭ 絞り値.....P.26-29 |
| ④ カスタム登録.....P.36, 89 | ⑮ シャッター速度.....P.26-29 |
| ⑤  記録スロット.....P.133 | ⑯ AEロック[AEL].....P.46, 125 |
| ⑥ 録画可能時間.....P.151 | ⑰ 合焦マーク.....P.25 |
| ⑦ 撮影可能枚数.....P.151 | ⑱ フラッシュ (点滅：充電中).....P.59 |
| ⑧  記録設定.....P.56 | ⑲ PBH (パワーバッテリーホルダーの電源を使用時に表示されます。).....P.153 |
| ⑨ ISO感度.....P.43, 52 | ⑳ 水準器(シャッターボタン半押しで表示されます。) |
| ⑩ ホワイトバランス.....P.43, 53 | |

ファインダーの表示スタイルは変更できます。  [EVF表示スタイル] (P.123)

5 スマートフォンと接続する




本機の無線LAN機能を使ってスマートフォンと接続し、専用アプリを使用することで、撮影や撮影後の楽しみがますます広がります。

専用アプリOLYMPUS Image Share (OI.Share)を使ってできること

- カメラの写真をスマートフォンへ転送
カメラ内の画像をスマートフォンに取り込むことができます。
- スマートフォンからリモート撮影
スマートフォンでカメラをリモート操作し、撮影することができます。
- 写真をステキに加工
スマートフォンに取り込んだ画像にアートフィルターを適用したり、スタンプを追加できます。
- カメラの画像にGPSタグを追加
スマートフォンで記録したGPSログをカメラに転送するだけで、撮影した画像にGPSタグを追加することができます。

詳細は、下記アドレスをご参照ください。

<http://app.olympus-imaging.com/oishare/>


- 無線LAN機能を使用する前に「無線LAN機能について」(P.186)をよくお読みください。
- 本機を購入した地域以外での無線LAN機能の使用については、その国の電波管理規則に違反する恐れがありますので、当社では一切の責任を負えません。
- 電波による通信は、傍受される可能性があります。あらかじめご了承ください。
- 本機の無線LAN機能を使って、自宅や公衆のアクセスポイントに接続することはできません。
- 送信用アンテナは、グリップ内にあります。金属類をなるべく近づけないでください。
- 接続中は、バッテリーの消耗が早くなります。バッテリーの残量が少ないと通信中でも通信が途切れる場合があります。
- 電子レンジやコードレス電話機など、磁場、静電気、電波の発生するところでは通信しにくくなったり、速度が遅くなったりします。
- OI.Shareと接続時は、[カードスロット設定]の[記録スロット](P.133)が[標準]の動作となり、[記録スロット]で指定されたカードにアクセスします。OI.Shareでアクセスするカードを変更することはできません。
- カードがどちらか一方のスロットにのみ装着されているときは、そのカードにアクセスします。
- ムービーは、[記録スロット]の設定に関わらず静止画と同じカードに記録されます。

Wi-Fi転送について

- Wi-Fi転送が遅い場合はスマートフォンのBluetooth設定をオフにしてお試しください。

スマートフォンに接続する

スマートフォンと接続します。スマートフォンにインストールした専用アプリ“Ol.Share”を起動しておきます。

- 1 再生メニューで**[スマートフォン接続]**を選択して**[OK]**ボタンを押します。
 - ・モニター画面の**[Wi-Fi]**にタッチしても接続できます。
- 2 モニターに表示される操作ガイドに従って、Wi-Fi接続準備を進めます。
 - ・モニターにSSIDとパスワードとQRコードが表示されます。



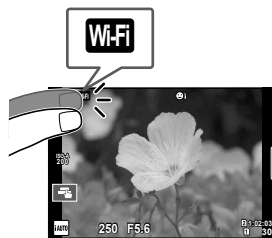
- 3 モニターに表示されたQRコードをOl.Shareを起動したスマートフォンで読み取ります。
 - ・自動的に接続されます。
 - ・一部のスマートフォンではQRコード読み取り後に手動で設定する必要があります。
 - ・QRコードを読み取れない場合は、スマートフォンのWi-Fi設定で、SSIDとパスワードを設定して接続します。スマートフォンのWi-Fi設定については、スマートフォンの取扱説明書をお読みください。
- 4 接続を終了するには、カメラの**MENU**ボタンを押すか、モニター画面の**[Wi-Fi切断]**にタッチします。
 - ・Ol.Shareで接続を終了、カメラの電源オフをすることもできます。
 - ・接続を終了します。

スマートフォンに画像を転送する

スマートフォンでカメラ内の画像を選択して取り込むことができます。また、あらかじめシェアする画像をカメラで選択しておくこともできます。📷 「画像に転送予約をつける(シェア予約)」(P.84)

1 カメラとスマートフォンを接続します(P.137)。

- モニター画面の **Wi-Fi** にタッチしても接続できます。



2 OI.Shareを起動して、写真転送ボタンをタップします。

- カメラ内の画像が一覧で表示されます。

3 転送したい写真を選択して保存ボタンをタップします。

- 保存が完了したらスマートフォンからカメラの電源をオフできます。

スマートフォンからリモート撮影する

カメラをスマートフォンから操作してリモート撮影ができます。**[プライベート]**でのみ使用できます。

1 カメラの[スマートフォン接続]を開始します。

- モニター画面の **Wi-Fi** にタッチしても接続できます。

2 OI.Shareを起動して、リモコンボタンをタップします。

3 シャッターボタンをタップして撮影します。

- 撮影した画像はカメラ内のカードに記録されます。
- 使用できる撮影機能に一部制限があります。

画像に位置情報をつける

スマートフォンで記録したGPSログをカメラに転送することで、GPSログを記録していた間に撮影した写真にGPSタグを追加できます。

[プライベート]でのみ使用できます。

- 1 撮影を始める前にOI.Shareを起動して位置情報付与ボタン上のスイッチをオンにして、GPSログの記録を開始します。
 - GPSログ記録開始前に、時刻を同期するためにカメラを一度OI.Shareに接続しておく必要があります。
 - GPSログ記録中は、電話や他のアプリの使用はできますが、OI.Shareは終了させないでください。
- 2 撮影が終わったら、位置情報付与ボタン上のスイッチをオフにしてください。GPSログの記録が終了します。
- 3 カメラの[スマートフォン接続]を開始します。
 - モニター画面のWiFiにタッチしても接続できます。
- 4 OI.Shareで記録したGPSログをカメラに転送します。
 - 転送したGPSログを元にカード内の画像にGPSタグをつけます。
 - 位置情報が付与された画像には、📍が表示されます。
 - 位置情報付与機能はGPS機能を搭載したスマートフォンでのみ使用できます。
 - ムービーには位置情報は付与されません。

接続方法を変更する

スマートフォンと接続する方法には、いつも同じ設定で接続する【プライベート】と接続のたびに異なる設定で接続する【ワнтаイム】があります。ご自分のスマートフォンと接続するときには【プライベート】、ご友人などのスマートフォンに画像を転送するときには【ワнтаイム】での接続が便利です。

初期設定では【プライベート】になっています。

- 1 設定メニューで【Wi-Fi設定】を選択してⓄボタンを押します。
- 2 【Wi-Fi接続設定】を選択して▷を押します。
- 3 無線LAN接続の方法を選択してⓄボタンを押します。
 - 【プライベート】：1台のスマートフォンと接続する(初回の接続設定以降は自動的に接続します)。Ol.Shareのすべての機能が使えます。
 - 【ワнтаイム】：複数台のスマートフォンと接続する(毎回異なった接続設定で接続します)。Ol.Shareの写真転送機能のみ使えます。カメラでシェア予約された画像のみ閲覧できます。
 - 【毎回確認】：毎回どちらの方法で接続するかを選択します。
 - 【Off】：Wi-Fi機能を使用しません。

パスワードを変更する

【プライベート】で使うパスワードを変更します。

- 1 設定メニューで【Wi-Fi設定】を選択してⓄボタンを押します。
- 2 【プライベートパスワード】を選択して▷を押します。
- 3 操作ガイドに従ってⓄボタンを押します。
 - 新しいパスワードに設定されます。

シェア予約を解除する

画像に設定されているシェア予約を解除します。

- 1 1セットアップメニューで**[Wi-Fi設定]**を選択して OK ボタンを押します。
- 2 **[全シェア予約解除]**を選択して \triangleright を押します。
- 3 **[実行]**を選択して OK ボタンを押します。
 - 再生中のカードに保存されている画像のシェア予約が解除されます。

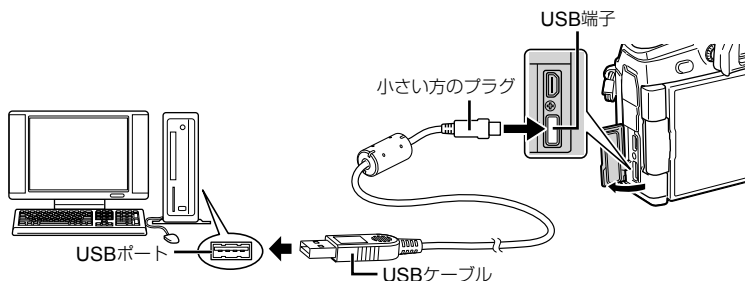
無線LAN設定を初期化する

[Wi-Fi接続設定]の設定内容を初期化します。

- 1 1セットアップメニューで**[Wi-Fi設定]**を選択して OK ボタンを押します。
- 2 **[Wi-Fi設定リセット]**を選択して \triangleright を押します。
- 3 **[実行]**を選択して OK ボタンを押します。

6 パソコン・プリンターと接続する

カメラをパソコンに接続する



- カメラをパソコンに接続しても、カメラの画面に何も表示されない場合、電池残量が著しく不足している可能性があります。充電した電池を使用してください。
- カメラの電源を入れると、モニターに接続先を選択する画面が表示されます。画面が表示されないときは、カスタムメニューの【USB接続モード】(P.118)を【オート】に設定してください。

パソコンに画像を取り込んで保存する

接続できるパソコンの環境は以下のとおりです。


Windows : Windows Vista SP2/Windows 7 SP1/Windows 8 /
Windows 8.1/Windows 10

Macintosh : Mac OS X v10.8 - v10.11

- 1 カメラの電源が切れていることを確認し、カメラとパソコンを接続します。
 - USBポートの位置はパソコンによって異なります。パソコンの取扱説明書をご覧ください。
- 2 カメラの電源を入れます。
 - モニターにUSBケーブルの接続先を選択する画面が表示されます。
- 3 Δ ∇ を押して【ストレージ】を選択します。OK ボタンを押します。



4 カメラが新しい機器としてパソコンに認識されます。

- 手順3で【MTP】を選択することでWindowsフォト ギャラリーが使用できます。
- USB端子を装備していても、以下の環境では正常な動作は保証いたしません。
拡張カードなどでUSB端子を増設したパソコン/工場出荷時にOSがインストールされていないパソコン/自作パソコン
- パソコンに接続中は、カメラとしての機能は一切動作しません。
- 【コントロール】を選択した場合は、パソコンに接続中もカメラとしての機能を使うことができます。
- パソコンとカメラを接続したときに、手順2の画面が表示されない場合は、カスタムメニューの【USB接続モード】(P.118)を【オート】に設定してください。

ソフトウェアのインストール

カメラで撮影した静止画やムービーをパソコンに取り込んで、閲覧や編集、管理を行うためのアプリケーションソフトウェア、OLYMPUS Viewer 3をご用意しています。

- OLYMPUS Viewer 3は、<http://support.olympus-imaging.com/ov3download/> からダウンロードし、画面の指示にメッセージに従ってインストールしてください。
- 動作環境、インストール方法は上記URLのホームページでご確認ください。
- OLYMPUS Viewer 3のダウンロードには、ご利用製品のシリアルナンバーを入力する必要があります。

オリンパスデジタルカメラアップデーターのインストール

カメラのファームウェアをアップデートするには、オリンパスデジタルカメラアップデーターが必要です。アップデーターは下記URLのウェブサイトからダウンロードし、画面のメッセージに従ってインストールしてください。

<http://oup.olympus-imaging.com/ou1download/index/>

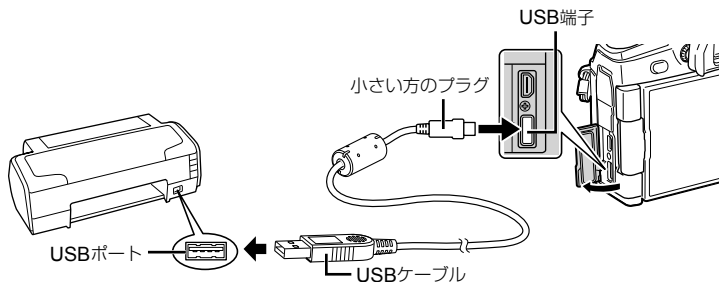
ユーザー登録について

ユーザー登録の方法は、当社ホームページをご確認ください。

ダイレクトプリント(PictBridge)

カメラをPictBridge対応プリンターにUSBケーブルで接続して、撮影した画像を直接プリントすることができます。

1 カメラとプリンターを付属のUSBケーブルで接続し電源を入れます。



- プリントを始める際は、充電した電池をご使用ください。
- カメラの電源を入れたら、モニターに接続先を選択する画面が表示されます。画面が表示されないときは、カスタムメニューの【USB接続モード】(P.118)を【オート】に設定してください。

2 △▽で【プリント】を選択します。

- 【しばらくお待ちください】と表示された後、プリントモード選択画面が表示されます。
- 数分待ってもプリントモード選択画面が表示されないときは、USBケーブルを抜き、手順1からやりなおしてください。



「カスタムプリントでプリントする」(P.145)へ進む

- RAWデータおよびムービーはプリントできません。

かんたんプリントでプリントする

この方法でプリントするときは、プリントしたい画像をカメラに表示してから、USBケーブルでプリンターを接続します。

1 <D>を押して、プリントする画像をカメラに表示します。



2 ▷を押します。

- プリントが終わると画像選択の画面が表示されます。別の画像をプリントするときは<D>を押して画像を選択し、ⓧボタンを押します。
- 終了するときは、画像選択の画面が表示された状態でカメラからUSBケーブルを抜きます。

カスタムプリントでプリントする

1 カメラとプリンターを付属のUSBケーブルで接続し電源を入れます。

- カメラの電源を入れると、モニターに接続先を選択する画面が表示されます。画面が表示されないときは、カスタムメニューの【USB接続モード】(P.118)を【オート】に設定してください。

2 操作ガイドに従ってプリントの各設定をします。

プリントモードを選択する

プリントの種類(プリントモード)を選びます。選択できるプリントモードは、以下のとおりです。

プリント	選択した画像をプリントします。
全コマプリント	カードの中の全画像をプリントします。
マルチプリント	1枚の用紙に同じ画像を複数レイアウトして、プリントします。
全コマインデックス	カード内の全画像を一覧にして、インデックス形式でプリントします。
予約プリント	プリント予約の内容に従ってプリントします。プリント予約された画像がないときは、選択できません。

用紙を設定する

この設定内容は、プリンターの対応によって選択肢が異なります。プリンターの標準設定しか使えない場合は、設定を変更することができません。

サイズ	プリンターで用意されている用紙に合わせます。
フチ	用紙いっぱいにプリントするか、フチをつけてプリントするかを選択します。
分割数	同じ画像を1枚の用紙に何枚プリントするかを選択します。プリントモードで【マルチプリント】を選択すると、この設定項目が表示されます。

プリントする画像を選ぶ

プリントする画像を選びます。選んだ画像を後でまとめてプリント(1枚予約)したり、表示している画像をプリントすることができます。



プリントOK	表示している画像をプリントします。【1枚予約▲】をした画像が1枚でもあると、予約されている画像のみプリントされます。
1枚予約▲	表示している画像をプリントする予約をします。【1枚予約▲】をしたら、◀▶で次に予約したい画像を選んでください。
詳細予約▼	表示している画像のプリント枚数や情報、プリントするかどうかを設定します。操作については「プリントする情報を設定する」をご覧ください。

6

プリントする情報を設定する

画像をプリントする際に、日付やファイル名の情報を同時にプリントするかどうかを設定します。【全コマプリント】モードの場合、【オプション設定】を選択します。

プリント枚数	プリントする枚数を設定します。
日付	画像に記録されている日付情報を同時にプリントします。
ファイル名	画像に記録されているファイル名を同時にプリントします。
トリミング	画像をトリミングしてプリントします。フロントダイヤル(Ⓢ)でトリミングサイズを、△▽◀▶でトリミング位置を指定します。

3 プリントする画像や内容が決まったら、【プリント】を選択し、Ⓢボタンを押します。

- 再生中のカードに保存されている画像に、設定が反映されます。
- プリントを始めてから途中で停止したいときは、Ⓢボタンを押します。プリントを続行するには、【続行】を選択します。

■ プリントを中止するには

【中止】を選択して、Ⓢボタンを押します。その場合、設定した予約などはすべて失われます。予約した内容を残して、続けて予約や設定をしたいときは、MENUボタンを押します。1つ前の設定に戻ります。

プリント予約(DPOF)

プリントしたい画像や枚数などをあらかじめ指定しておく、その情報がカードに保存されます。プリント予約した画像は、DPOF対応のプリントショップでプリントしたり、DPOF対応プリンターに直接接続してプリントできます。プリント予約にはカードが必要です。

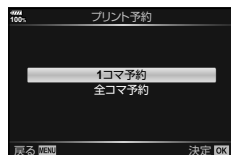
プリント予約する

- 1 画像を再生中に、**[OK]** ボタンを押して**[プリント予約]**を選択します。
- 2 **[1コマ予約]**または**[全コマ予約]**を選択し、**[OK]**ボタンを押します。

1コマ予約の場合

[<>]を押してプリント予約したいコマを選択し、**[△▽]**を押してプリントする枚数を設定します。

- 複数の画像をプリント予約する場合は、この手順を繰り返します。予約が終わったら**[OK]**ボタンを押します。



全コマ予約の場合

[全コマ予約]を選択し、**[OK]**ボタンを押します。

- 3 日時の種類を選択し、**[OK]**ボタンを押します。

無し	画像のみプリントされます。
日付	画像と撮影年月日がプリントされます。
時刻	画像と撮影時刻がプリントされます。

- 複数の画像をプリントする場合、1コマごとに設定を変えることはできません。



- 4 **[予約する]**を選択し、**[OK]**ボタンを押します。

- 再生中のカードに保存されている画像に、設定が反映されます。
- 他の機器で予約した内容を、このカメラで変更することはできません。また、このカメラで新たに予約を行うと、他の機器で予約した内容は消去されます。
- RAWデータおよびムービーはプリント予約できません。

プリント予約を選択して解除する／すべて解除する

すべてのプリント予約を解除する方法と、選択した画像のプリント予約だけを解除する方法があります。

- 1 画像を再生中に、**OK** ボタンを押して**[プリント予約]**を選択します。
- 2 **[1コマ予約]**を選択し、**OK** ボタンを押します。
 - すべてのプリント予約を解除する場合は、**[解除する]**を選択して、**OK** ボタンを押します。そうでない場合は**[解除しない]**を選択して**OK** ボタンを押します。
- 3 **<D>**を押してプリント予約を解除したいコマを選択します。
 - **▽**でプリント枚数を**0**に設定します。すべて解除したら**OK** ボタンを押します。
- 4 日時の種類を選択し、**OK** ボタンを押します。
 - プリント予約の設定が残っている画像に、選択した設定が適用されます。
 - 再生中のカードに保存されている画像に、設定が反映されます。
- 5 **[予約する]**を選択し、**OK** ボタンを押します。

7 ご注意

電池／充電器についてのご注意

- 電池は、当社製リチウムイオン電池1個を使用します。当社純正の充電電池以外は使用できません。
- カメラの消費電力は、使用条件などにより大きく異なります。
- 以下の条件では撮影をしなくても電力を多く消費するため、電池の消費が早くなります。
 - 撮影モードでシャッターボタンを半押しして、オートフォーカス動作を繰り返す。
 - 長時間、モニターで画像を表示する。
 - パソコンやプリンターとの接続時。
- 消耗した電池をお使いのときは、電池残量警告が表示されずにカメラの電源が切れることがあります。
- ご購入の際、充電電池は十分に充電されていません。ご使用前に付属の充電器で充電を行ってください。
- 長期間(1ヶ月以上)カメラを使わない場合、電池はカメラから取り外して保管してください。長期間電池をカメラに入れたままにしておくと、電池の寿命が短くなったり、電池が使えなくなる可能性がありますので、ご注意ください。
- 付属の充電器による充電電池の充電時間は、通常約2時間(目安)です。
- 付属の電池は専用の充電器以外は使用しないでください。また、付属の充電器は専用の電池以外に使用しないでください。
- 指定以外の電池を使用した場合、爆発(または破裂)の危険があります。
- 使用済み電池は取扱説明書の「使用上のご注意」(P.187)に従って廃棄してください。

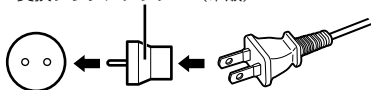
別売のACアダプターを使う

本製品はパワーバッテリーホルダー (HLD-9)を経由して、別売のACアダプター AC-5が使用できます。(P.153)専用のACアダプター以外は使用しないでください。ACアダプター付属の電源コードは、他の製品に使用しないでください。

海外での使用について

- 充電器は、世界中のほとんどの家庭用電源AC100～240V（50/60Hz）でご使用になれます。ただし、国や地域によっては、コンセントの形状が異なるため、変換プラグアダプター（市販）が必要になる場合があります。
- イラストの変換プラグアダプター（市販）は一例です。詳しくは、電気店や旅行代理店でご確認ください。

変換プラグアダプター（市販）



- 市販の海外旅行用電子式変圧器（トラベルコンバーター）は、充電器が故障することがありますので使用しないでください。

7

注意

使用できるカード

本書では、記録メディアを「カード」と呼びます。このカメラで使用できるカードは、SD規格に準拠したSD/SDHC/SDXC/Eye-Fiカード（市販）です。最新情報は当社ホームページをご確認ください。



SDカードの書き込み禁止スイッチについて

SDカード本体は書き込み禁止スイッチを備えています。スイッチを「LOCK」側にしておくと、カードへの書き込みができなくなります。スイッチを戻すと書き込み可能になります。



- 初期化や消去してもカード内のデータは完全には消去されません。廃棄する際は、カードを破壊するなどして個人情報の流出を防いでください。
- Eye-Fiカードは使用する国や地域の法律に従ってお使いください。飛行機の中など使用を禁止される場所では、カードをカメラから取り出すか、カードの機能を停止してください。🔗 **【Eye-Fi設定】** (P.124)
- Eye-Fiカードは使用時に熱くなることがあります。
- Eye-Fiカードを使用すると電池の消耗が早くなることがあります。
- Eye-Fiカードを使用するとカメラの動作が遅くなる場合があります。
- クリップ撮影では障害が出る場合があります。このような場合はカードの機能を停止してください。
- SDカードの書き込み禁止スイッチが「LOCK」側になっている場合は、クリップの撮影や再生など一部の機能が制限があります。

画質モード／ファイル容量／撮影可能枚数

表内のファイルサイズは、アスペクト比4:3のときのおおよその目安です。

画質モード	画像サイズ (ピクセルサイズ)	圧縮率	ファイル 形式	ファイルサイズ (MB)	撮影可能 枚数*
50MF+RAW	10368×7776	非圧縮	ORF	181.5	42
	8160×6120	1/4	JPEG		
	5184×3888	非圧縮	ORI		
25MF+RAW	10368×7776	非圧縮	ORF	169.5	44
	5760×4320	1/4	JPEG		
	5184×3888	非圧縮	ORI		
50MF	8160×6120	1/4	JPEG	約21.7	317
25MF	5760×4320	1/4	JPEG	約10.9	630
RAW		ロスレス圧縮	ORF	約21.5	341
L SF	5184×3888	1/2.7	JPEG	約13.1	527
L F		1/4		約8.9	774
L N		1/8		約4.6	1506
L B		1/12		約3.1	2219
M SF	3200×2400	1/2.7		約5.1	1348
M F		1/4		約3.6	1952
M N		1/8		約1.9	3698
M B		1/12		約1.4	5194
M SF	2560×1920	1/2.7		約3.4	2051
M F		1/4		約2.4	2941
M N		1/8		約1.3	5424
M B		1/12		約1.0	7397
M SF	1920×1440	1/2.7		約2.0	3487
M F		1/4		約1.4	4882
M N		1/8		約0.9	8418
M B		1/12		約0.7	11096
M SF	1600×1200	1/2.7	約1.5	4786	
M F		1/4	約1.1	6597	
M N		1/8	約0.7	11096	
M B		1/12	約0.5	13562	
S SF	1280×960	1/2.7	約1.0	6781	
S F		1/4	約0.8	9041	
S N		1/8	約0.5	14360	
S B		1/12	約0.4	17437	
S SF	1024×768	1/2.7	約0.8	9389	
S F		1/4	約0.6	12206	
S N		1/8	約0.3	30515	
S B		1/12	約0.2	40687	

* SDカード8GBの場合

- 撮影可能枚数は撮影対象やプリント予約の有無などによっても変わります。撮影や画像の消去を行ってもモニターに表示される枚数が変わらないことがあります。
- 実際のファイルサイズは被写体によって変わります。
- モニターに表示される撮影枚数は9999までです。
- ムービーの撮影可能時間については、当社ホームページをご確認ください。

交換レンズについて

撮影シーン、目的に合わせてレンズを交換します。M.ZUIKO DIGITAL という商品名、または右のマークのついている「マイクロフォーサーズシステム専用」の交換レンズが使えます。



また、フォーサーズシステムのレンズやOMシステムのレンズを使用することもできます。その場合は別売のアダプターが必要です。

- ボディキャップやレンズの着脱を行うときは、カメラ内部へのゴミや異物の侵入を防ぐため、レンズの装着部を下に向けて行ってください。
- ほこりの多い場所ではボディキャップの取り外しや、レンズの装着を行わないでください。
- カメラに取り付けられたレンズを、太陽に向けしないでください。太陽光が焦点を結んで故障や火災の原因になることがあります。
- ボディキャップ、リアキャップをなくさないようにご注意ください。
- カメラにレンズを取り付けていないときは、ほこりの侵入を防ぐためボディキャップを装着してください。

■ レンズとカメラの組み合わせ

レンズ	カメラ	装着	AF	測光
マイクロフォーサーズマウント規格レンズ	マイクロフォーサーズマウント規格カメラ	可	可	可
フォーサーズマウント規格レンズ		マウントアダプター装着で可	可*1	可
OMシステムレンズ		不可	不可	可*2
マイクロフォーサーズマウント規格レンズ	フォーサーズマウント規格カメラ	不可	不可	不可

*1 ムービー撮影中のAFは動作しません。

*2 正確な測光はできません。

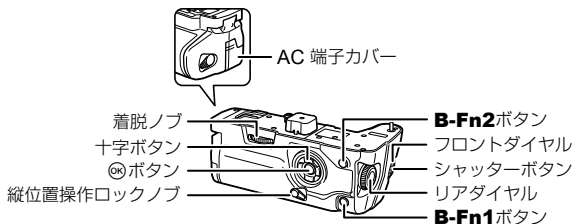
7

ご注意

パワーバッテリーホルダー (HLD-9)

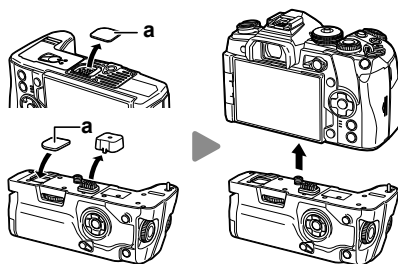
カメラ本体の電池と併用してカメラの使用時間を延ばすことができます。ダイヤルや**B-Fn**ボタンは、カメラのカスタムメニューで機能を割り当てて使用できます。HLD-9を経由して別売のACアダプターを使用することができます。取り付け、取り外しは、必ずカメラの電源を切ってから行ってください。

■ 各部名称



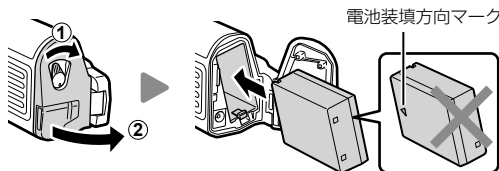
■ 取り付け

カメラ底面のPBHカバー (a)を外してHLD-9を取り付けます。装着したらHLD-9の着脱ノブをしっかりと閉めてください。HLD-9を取り付けていないときは、必ずPBHカバーをカメラに取り付けてください。



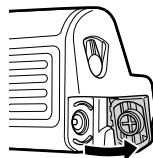
■ 電池を入れる

電池は、BLH-1を使います。電池を入れたら必ず電池カバーをロックしてください。



■ ACアダプターを使う

ACアダプターを使うときは、AC端子カバーを開けてAC端子を差し込みます。



■ ダイヤル、ボタンを使う

HLD-9のダイヤル、**B-Fn**ボタンの機能はカメラ本体のカスタムメニューの【**ボタン機能**】または【**ボタン機能**】で設定します。☞ 「ボタン機能を割り当てる(ボタン機能)」(P.68)、【**ボタン機能**】(P.114)、【**ボタン機能**】(P.101)

■ 主な仕様 (HLD-9)

電源	電池：リチウムイオン電池 BLH-1 1個 AC電源：ACアダプター AC-5
大きさ	約132.7 mm(幅)× 55.8 mm(高さ)× 66.0 mm(奥行き)
質量	約255 g(電池、端子キャップを除く)
防滴機能 (カメラ装着時)	種類 保護等級1級(IPX1)：JISC0920/IEC60529相当 (当社試験方法による)

⚠ 注意

- 指定の電池、ACアダプター以外は使用しないでください。けがや機器の故障、爆発の原因になります。
- 着脱ノブは、爪を使って回さないでください。けがをすることがあります。
- ご使用になるカメラの動作保証温度範囲内でご使用ください。
- 本機をほこりや湿気の多い場所で使用、保管しないでください。
- 本機の接点には触らないようにしてください。
- 本体、端子等の汚れは乾いた柔らかい布で拭いてください。濡れた雑巾やシンナー、ベンジン等の有機溶剤で洗浄しないでください。

専用フラッシュ

別売の専用フラッシュを使用して目的に応じたいろいろなフラッシュ撮影が行えます。カメラとの通信機能があり、TTL-AUTO、スーパー FP発光など多彩な調光モードで、このカメラのフラッシュモードを使うことができます。当社専用フラッシュは、カメラのホットシューに取り付けて使用します。また、ブラケットケーブル(別売)を使用して専用のフラッシュブラケットに取り付けることもできます。専用フラッシュの取扱説明書も合わせてご覧ください。

フラッシュ使用時は、シャッター速度の上限が1/250秒となります。

- 静音撮影およびフォーカスブラケット撮影時(P.95)は同調速度が1/50秒となります。また、ISO感度が8000以上に設定されている場合やISOブラケット撮影時(P.95)は、同調速度が1/20秒となります。

専用フラッシュの機能比較

専用フラッシュ	調光モード	GN (ガイドナンバー) (ISO100時)	RCモード
FL-900R	TTL-AUTO, AUTO, MANUAL, FP TTL AUTO, FP MANUAL, MULTI, RC, SL AUTO, SL MANUAL	GN58 (200mm* ¹ 時)	○
FL-600R	TTL-AUTO, AUTO, MANUAL, FP TTL AUTO, FP MANUAL	GN36 (85mm* ¹ 時) GN20 (24mm* ¹ 時)	○
FL-300R	TTL-AUTO, MANUAL	GN20 (28mm* ¹ 時)	○
FL-14	TTL-AUTO, AUTO, MANUAL	GN14 (28mm* ¹ 時)	×
STF-8	TTL-AUTO, MANUAL	GN8.5	○

*1 カバーできるレンズ焦点距離 (35 mmフィルムカメラ換算)

ワイヤレスRCフラッシュ撮影

RCモード機能付き専用フラッシュではワイヤレスフラッシュ撮影ができます。3つのグループのフラッシュと内蔵フラッシュを別々に発光制御できます。詳しくは専用フラッシュの取扱説明書をご覧ください。

1 ワイヤレスRCフラッシュをRCモードに設定して、配置します。

- 専用外部フラッシュの電源を入れMODEボタンを押して、RCモードにします。
- 専用外部フラッシュのチャンネルとグループを設定します。

2 撮影メニュー2 (P.88)の[RCモード撮影]を[On]にします。

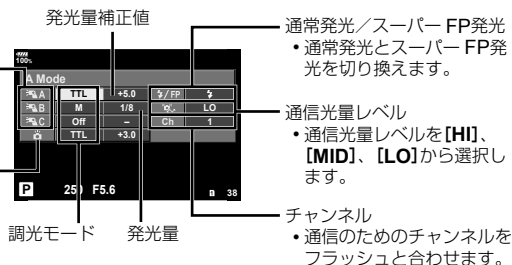
- LVスーパーコンパネがRCモードに切り換わります。
- INFO**ボタンを繰り返し押しすと、LVスーパーコンパネの表示を切り換えることができます。
- フラッシュモードを選択します。(RCモードでは赤目軽減発光はできません)

3 LVスーパーコンパネでグループごとに調光モードなどの設定をします。

グループ

- グループごとに調光モードを選択し、発光量補正します。MANUALでは発光量を選択します。

カメラ側のフラッシュの動作を設定します。



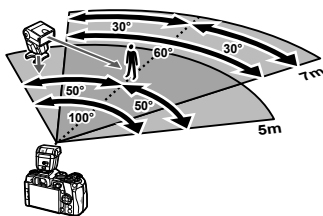
4 付属のフラッシュをカメラに取り付けて、カメラの電源を入れます。

- カメラとフラッシュの充電完了を確認してから確認撮影します。

■ ワイヤレスフラッシュの制御可能範囲

ワイヤレスフラッシュのリモートセンサーをカメラ側に向けて設置します。次の図は設置範囲の目安です。範囲は周辺環境により異なります。

- ワイヤレスフラッシュの設置数は1グループ最大3台を推奨します。
- 4秒を超える後幕シンクロ撮影や低振動モードの場合は、ワイヤレスフラッシュ撮影できません。
- 被写体が近すぎる場合、通信用の発光が露出に影響を与えることがあります。(カメラ側フラッシュをディフューザー等で減光すると症状が緩和されます。)
- RCモードで使用中は、フラッシュの同調秒時上限は1/250秒になります。



市販のフラッシュについて

ホットシューか外部フラッシュ端子に、シンクロコードを接続して使います。外部フラッシュ端子を使用しないときは必ずキャップを取り付けてください。

市販のフラッシュをカメラのホットシューに接続して使用する場合は、次のことにご注意ください。

- X端子に約250V以上の電圧がかかる古いタイプの市販フラッシュを接続すると故障します。
- 弊社規格外の通信端子のあるフラッシュを接続すると故障する可能性があります。
- 撮影モードを**M**にして、シャッター速度をフラッシュの同調速度以下にして、ISO感度を**[AUTO]**以外でお使いください。
- フラッシュで調光する場合は、フラッシュにカメラのISO感度と絞り値を設定する必要があります。フラッシュによる明るさを調整するには、いずれかをシフトします。
- レンズにあった照射角のフラッシュをお使いください。通常、照射角は35mmフィルムカメラ換算の焦点距離で表します。

主なアクセサリについて

リモートケーブル(RM-CB2)

マクロ撮影やバルブ撮影時などでシャッターボタン押下げによるカメラの振動を避けたいときに使います。カメラのリモートケーブル端子(P.11)に接続して使用します。

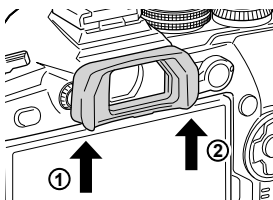
コンバーターレンズ

レンズに取り付けることで、手軽に魚眼撮影やマクロ撮影ができます。組み合わせ可能なレンズについては、当社ホームページをご覧ください。

アイカップ(EP-13)

大型のアイカップに交換することができます。

取り外し



システムチャート



□ : E-M1 Mark II 対応製品

■ : 市販製品

最新情報は当社ホームページをご確認ください。

※1 アダプターと組み合わせて使用できるレンズには制限があります。詳しくは当社ホームページをご覧ください。なお、OMシステムレンズの製造は終了となっております。

※2 取り付け可能なレンズについては、当社ホームページをご覧ください。

※3 Eye-Fiカードは、使用する国や地域の法律に従ってお使いください。

※4 ED 40-150mm f2.8 PROおよびED 300mm f4.0 IS PRO専用です。

レンズ



M.ZUIKO DIGITAL ED 8mm f1.8 Fisheye PRO
 M.ZUIKO DIGITAL ED 12mm f2.0
 M.ZUIKO DIGITAL 17mm f1.8
 M.ZUIKO DIGITAL 17mm f2.8
 M.ZUIKO DIGITAL 25mm f1.8
 M.ZUIKO DIGITAL 45mm f1.8
 M.ZUIKO DIGITAL ED 25mm f1.2 PRO
 M.ZUIKO DIGITAL ED 30mm f3.5 Macro
 M.ZUIKO DIGITAL ED 60mm f2.8 Macro
 M.ZUIKO DIGITAL ED 75mm f1.8
 M.ZUIKO DIGITAL ED 7-14mm f2.8 PRO
 M.ZUIKO DIGITAL ED 9-18mm f4.0-5.6
 M.ZUIKO DIGITAL ED 12-40mm f2.8 PRO
 M.ZUIKO DIGITAL ED 12-50mm f3.5-6.3 EZ
 M.ZUIKO DIGITAL ED 12-100mm f4.0
 M.ZUIKO DIGITAL ED 14-42mm f3.5-5.6 EZ
 M.ZUIKO DIGITAL ED 14-42mm f3.5-5.6 II R
 M.ZUIKO DIGITAL ED 14-150mm f4.0-5.6
 M.ZUIKO DIGITAL ED 40-150mm f4.0-5.6 R
 M.ZUIKO DIGITAL ED 40-150mm f2.8 PRO
 M.ZUIKO DIGITAL ED 75-300mm f4.8-6.7 II
 M.ZUIKO DIGITAL ED 300mm f4.0 IS PRO
 テレコンバーター MC-14^{※1}



MMF-2/MMF-3^{※1}
 フォーサーズアダプター



フォーサーズシステム
レンズ群



MF-2^{※1}
 OMアダプター 2

OMシステムレンズ群

コンバーター レンズ^{※2}

FCON-P01
 フィッシュアイ

WCON-P01
 ワイド

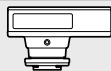
MCON-P01
 マクロ

MCON-P02
 マクロ

7

ご注意

フラッシュ



FL-14
 エレクトロニックフラッシュ



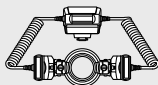
FL-900R
 エレクトロニックフラッシュ



FL-300R
 エレクトロニックフラッシュ



FL-600R
 エレクトロニックフラッシュ



STF-8
 マクロフラッシュ

カメラのお手入れと保管

カメラのお手入れ

カメラのお手入れの際は、カメラの電源を切り、電池を取り外します。

- 絶対にベンジンやアルコールなどの強い溶剤や化学雑巾を使わないでください。

カメラの外側：

- 柔らかい布でやさしく拭きます。汚れがひどい場合は、うすめた低刺激のせっけん水に布を浸して、固く絞ってから、汚れを拭き取ります。その後、乾いた布でよく拭きます。海辺でカメラを使用した場合は、真水に浸した布を固く絞って拭き取ります。

モニター：

- 柔らかい布でやさしく拭きます。

レンズ：

- 市販のレンズブローアードでほこりを吹き払います。レンズはレンズクリーニングペーパーでやさしく拭きます。

カメラの保管

- 長期間、カメラを使用しないときは、電池とカードを外してください。風通しがよく、涼しい乾燥した場所に保管してください。
- 電池は定期的に取り換えて、カメラの機能をテストしてください。
- ボディキャップ、リアキャップはゴミやほこりを落としてから装着してください。
- カメラにレンズを取り付けていないときは、ほこりの侵入を防ぐためボディキャップを装着してください。また、必ず前後のレンズキャップを取り付けて保管してください。
- 使用後は清掃して保管してください。
- 防虫剤のあるところに保管しないでください。
- 薬品を扱うような場所での保管は、腐食などの原因になるため避けてください。
- レンズを汚れたままにしておくと、カビがはえることがあります。
- 長期間使用しなかったカメラは、使用前に各部の点検をしてください。海外旅行などの大切な撮影の前には、必ず撮影をしてカメラが正常に動作することを確かめてください。

撮像素子のクリーニングとチェック

このカメラは撮像素子にゴミが附着しない構造にするとともに、撮像素子前面に付着したゴミやほこりを超音波振動により、払い落とす機能を備えています(ダストリダクション機能)。ダストリダクション機能は、カメラの電源を入れたときに働きます。また撮像素子と画像処理回路のチェックを行うピクセルマッピングを働かせる際にも同時に作動します。カメラの電源を入れるときはダストリダクションが働きますので、カメラをできるだけ正位置にしてください。

画像処理機能をチェックする — ピクセルマッピング

撮像素子と画像処理機能のチェックを同時に行います。最適な効果を得るため、撮影・再生直後より1分以上時間を空けた後に実行します。

1 カスタムメニュー **11**の[ピクセルマッピング] (P.123)を選択します。

2 **▷**を押して、**Ⓚ**ボタンを押します。

- ピクセルマッピング実行中の[処理中]バーが表示されます。終了するとメニューに戻ります。
- 誤って処理中にカメラの電源を切ってしまった場合は、必ずもう一度このチェックを行ってください。

アフターサービス

- 保証書はお買い上げの販売店からお渡しいたしますので「販売店名・お買い上げ日」等の記入されたものをお受け取りください。もし記入もれがあった場合は、直ちにお買い上げの販売店へお申し出ください。また保証内容をよくお読みの上、大切に保管してください。
- 本製品のアフターサービスに関するお問い合わせや、万一故障の場合はお買い上げの販売店、または当社サービスステーションにご相談ください。取扱説明書に従ったお取り扱いにより、本製品が万一故障した場合は、お買い上げ日より満1ヶ年間「保証書」記載内容に基づいて無料修理いたします。
- 保証期間経過後の修理等については原則として有料となります。
- 本製品の製造打ち切り後、7年間は本製品のアフターサービスについて対応いたします。但し、当該アフターサービス対応については、故障の状況、本製品に対応する補修用性能部品の有無、及び保有している場合はその期間(製造打ち切り後7年間を目安に保有いたします)等に応じ、当社の判断で、本製品の修理または同等品への交換(製品交換)のいずれかにて対応させていただきます。
- 本製品の故障に起因する付随的損害(撮影に要した諸費用、および撮影により得られる利益の喪失等)については補償しかねます。また、運賃諸掛かりはお客様においてご負担願います。
- 修理品をご送付の場合は、修理箇所を指定した書面を同封して十分な梱包でお送りください。また控えが残るよう宅配便または書留小包のご利用をお願いします。

こんなときは？

電池を入れてもカメラが動かない

電池が充電されていない

- 充電器で電池を充電してください。

低温下であり、一時的に電池の性能が低下した

- 電池は低温では性能が低下します。カメラから電池を取り出してポケットに入れるなどして少し温めてから使用してみましょう。

シャッターボタンを押しても撮影ができない

カメラが自動的に電源オフになっていた

- 低消費電力モードをOnにすると、設定した時間何も操作しないとスリープモードになります。シャッターボタンを半押しすると復帰します。
- カメラは何も操作しないと一定時間後にスリープモードと呼ばれる省電力状態に入ります。🔋【スリープ時間】(P.124)
さらに、スリープモード中に設定した時間が経過するとカメラの電源が切れます。🔋【自動電源Off】(P.124)

フラッシュが充電中である

- モニターの🔋マークが点滅していたらフラッシュが充電中です。点滅が終わるまで待つてからシャッターボタンを押してください。

ピント合わせができなかった

- 被写体に近すぎる場合やオートフォーカスの苦手な被写体の場合は、ピント合わせができません。(モニターの合焦マークが点滅します。)被写体との距離を十分にとったり、被写体と同じ距離にあるコントラストのはっきりしたものでピントを合わせてから、構図を決めて撮影してください。

オートフォーカスの苦手な被写体

次のような場合、オートフォーカスでピントが合いにくいことがあります。

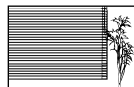
合焦マーク点滅
このようなものにはピントが合いません。



コントラストがはっきりしない被写体



画面中央に極端に明るいものがある場合

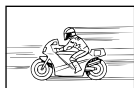


縦線のない被写体

合焦マークは点灯するが、写したいものにピントが合わない。



遠いものと近いものが混在する場合



動きの速いもの



被写体がAFターゲット内がない

長秒時ノイズ低減が作動している

- 夜景の撮影など、遅いシャッター速度で撮影する際、画像にはノイズが目立つようになります。このカメラは長秒時の撮影後にノイズを取り除く動作をしますが、この間の撮影はできません。**【長秒時ノイズ低減】は【Off】に設定することもできます。**

🔍 **【長秒時ノイズ低減】** (P.119)

AFターゲットの数が少なくなった

【デジタルテレコン】(P.90)、**【アスペクト比設定】**(P.55)、**【グループターゲット】**(P.40)の設定により、AFターゲットの数や大きさが変わります。

日時設定がされていない

購入時のままで使用している

- お買い上げ時のカメラの状態では日時設定はされていません。日時設定をしてからご使用ください。🔍 **「日時を設定する」** (P.19)

カメラから電池を抜いていた

- 電池を抜いた状態で約1日放置すると、日時の設定は初期設定に戻ります(当社試験条件による)。また、カメラに電池を入れていた時間が短い場合は、これよりも早く日時の設定が解除されます。大切なものを撮る前には日時の設定が正しいことを確認してください。

設定した機能が元に戻ってしまう

P/A/S/M以外の撮影モードでは、モードダイヤルを回したり電源を切ると設定した機能が初期設定に戻ります。

撮影した画像が全体的に白っぽい

逆光や半逆光で撮影すると起こる場合があります。フレアやゴーストといわれる現象によるものです。できるだけ画面内に強い光源が写らないように構図を考えましょう。画面内に光源がなくてもフレアは発生する場合があります。レンズフードを使って光源から直接レンズに光があたらないようにします。レンズフードでも効果がない場合は手などをかざして光を遮ってみましょう。🔍「交換レンズについて」(P.152)

被写体でない明るい点が写り込む

撮像素子のドット抜けの可能性があります。【ピクセルマッピング】を行ってください。また、消えないときは何度かピクセルマッピングを行ってみてください。🔍「画像処理機能をチェックする - ピクセルマッピング」(P.161)

メニューで選べない機能がある

メニューを表示したとき、十字ボタンを使っても選べない項目がある場合があります。

- 現在の撮影モードで設定できない項目の場合
- 設定済みの項目との組み合わせにより設定できない場合
【📷】(P.47, 55)と【長秒時ノイズ低減】(P.119)の組み合わせなど

被写体が歪んで写る

以下の機能では電子シャッターを使用します。

ムービー撮影(P.37)/静音撮影(P.48)/プロキャプチャー撮影(P.49)/ハイレゾショット(P.49)/フォーカスブラケット撮影(P.95)

動きの速い被写体の撮影やカメラを激しく動かした撮影をすると画像に歪みが出ます。カメラを激しく動かした撮影は避けるか、通常の連写で撮影してください。










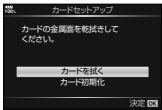


画像にすじが写る

電子シャッターを使った以下の機能では、蛍光灯やLED照明の光源下では、フリッカーなどにより画像にすじが写ることがあります。

ムービー撮影(P.37)/静音撮影(P.48)/プロキャプチャー撮影(P.49)/ハイレゾショット(P.49)/フォーカスブラケット撮影(P.95)

シャッター速度を遅くして撮影すると軽減できる場合があります。

エラーコード

モニター表示	原因	対処方法
 カードを認識できません	カードが入っていません。または認識できません。	カードを入れてください。またはカードを正しく入れなおしてください。
 ①このカードは使用できません	カードスロット1のカードに問題があります。	もう一度カードを入れてください。それでもこの表示が消えないときはカードを初期化してください。初期化できない場合、このカードはご使用になれません。
 ②このカードは使用できません	カードスロット2のカードに問題があります。	
 ①書き込み禁止になっています	カードスロット1のカードが書き込み禁止になっています。	カードの書き込み禁止スイッチが「LOCK」側になっています。スイッチを戻して解除してください。(P.150)
 ②書き込み禁止になっています	カードスロット2のカードが書き込み禁止になっています。	
 ①撮影可能枚数が0です	カードスロット1のカードの撮影可能枚数が0のため、撮影できません。	カードを交換するか、不要な画像を消してください。 大切な画像は消す前にパソコンに取り込んでください。
 ②撮影可能枚数が0です	カードスロット2のカードの撮影可能枚数が0のため、撮影できません。	
 ①カード残量がありません	カードスロット1のカードに十分な空き容量がありません。	
 ②カード残量がありません	カードスロット2のカードに十分な空き容量がありません。	
	カードが読み込めていません。またはカードが初期化されています。	<ul style="list-style-type: none"> ・【カードを拭く】を選択し、ボタンを押してカメラの電源を切ります。カードを抜いて乾いた柔らかい布で金属面を乾拭きしてください。 ・【カード初期化】 ▶ 【実行】の順に選択し、ボタンを押して初期化します。初期化すると、カード内のデータはすべて消去されます。

モニター表示	原因	対処方法
 ①画像が記録されていません	カードスロット1のカードに記録画像がないため画像が再生できません。	カードに画像が記録されていません。撮影してから再生してください。
 ②画像が記録されていません	カードスロット2のカードに記録画像がないため画像が再生できません。	
 ①この画像は再生できません	選択した画像に問題があり、再生できません。または、このカメラでは再生できない画像です。	パソコンの画像ソフトなどで再生してください。 それでも再生できない場合は、画像ファイルの一部が壊れています。
 ②この画像は再生できません		
 ①この画像は編集できません	他のカメラで撮影した画像などを選択している場合は編集できません。	パソコンの画像ソフトなどで編集してください。
 ②この画像は編集できません		
 ①この画像はプリントできません	他のカメラで撮影した画像などを選択している場合はプリントできません。	パソコンの画像ソフトなどでプリントしてください。
 ②この画像はプリントできません		
 しばらく使用できません カメラの内部温度が下がるまでお待ちください	連写などによりカメラの内部温度が上昇しています。	カメラの電源を切り、内部温度が下がるまでしばらくお待ちください。 しばらくすると、自動的に電源が切れます。 カメラの内部温度が下がって撮影可能になるまでしばらくお待ちください。
 電池残量がありません	電池残量がありません。	充電してください。
 接続されていません	カメラがパソコンやプリンター、HDMI機器に正しく接続されていません。	正しく接続しなおしてください。
 用紙がありません	用紙切れです。	用紙をプリンターに補充してください。

モニター表示	原因	対処方法
 インクがありません	インク切れです。	インクをプリンターに補充してください。
 紙づまりです	用紙が詰まっています。	詰まった用紙を取り除いてください。
プリンターの設定が変更されました	プリンター側で用紙カセットを取り出すなどの操作をした。	プリントの設定中にはプリンターの操作はしないでください。
 プリンターエラーです	エラーが発生しました。	カメラとプリンターの電源を切り、プリンターの状態を確認してから電源を入れなおしてください。
 この画像はプリントできません	他のカメラで撮影した画像などでは、プリントできないものがあります。	パソコンなどを使ってプリントしてください。
ズームリングを回し 繰り出してください	沈胴式レンズの、レンズが沈胴したままになっています。	レンズを繰り出してください。
レンズの状態を確認してください	レンズとの間でエラーが発生しています。	カメラの電源を切り、レンズとの接続状態を確認してから電源を入れなおしてください。

メニュー一覧

*1: [カスタム登録]が登録可能な機能

*3: [リセット] (標準)で初期設定に戻る機能

*2: [リセット] (フル)で初期設定に戻る機能

撮影メニュー

タブ	機能	初期設定	*1	*2	*3	🔍	
📷	リセット/カスタム設定	—		✓		88	
	ピクチャーモード	🐼 Natural	✓	✓	✓	62, 90	
	📷画質モード	📷 N	✓	✓	✓	57, 90	
	アスペクト比設定	4:3	✓	✓	✓	55	
	デジタルテレコン	Off	✓	✓	✓	90	
	📷/📷/📷	—	✓	✓	✓	47, 55, 91	
	📷/📷	☐	✓	✓	✓		
	インターバル撮影設定	Off					
	コマ数	99					
	撮影開始待ち時間	00:00:01					
	撮影間隔	00:00:01		✓	✓	92	
タイムラプス動画	Off						
タイムラプス 動画設定	ムービーサイズ フルームレート	FullHD 10fps					
📷	ブラケット撮影	Off				93	
	AE BKT	3f 1.0EV					
	WB BKT	A-B G-M	Off	✓	✓	✓	94
	FL BKT	Off					
	ISO BKT	Off					
	ART BKT	Off				95	
	Focus BKT	Off					
	深度合成	Off	✓	✓	✓	96	
	撮影枚数	99					
	フォーカスステップ	5				95	
	🔌充電待ち時間	0秒	✓	✓			
	HDR撮影	Off	✓	✓	✓	50, 96	
	多重露出撮影	コマ数	Off				
		自動ゲイン補正	Off		✓	✓	97
		再生画+多重	Off				
デジタルシフト撮影	Off	✓	✓	✓	98		
低振動[📷]/ 静音[📷]撮影	低振動[📷]撮影	[📷]0秒					
	静音[📷]撮影	[📷]0秒	✓	✓			
	静音[📷]長秒時ノイズ低減	Off					
	静音[📷]撮影時動作	—				99	
	電子音	禁止	✓	✓			
	AFイルミネーター	禁止					
フラッシュ	禁止						

タブ	機能		初期設定	*1	*2	*3	☰
2	ハイレゾショット	ハイレゾショット	0秒	✓	✓		100
		充電待ち時間	0秒				
	RCモード撮影		Off	✓	✓	✓	100, 156

📺 動画メニュー

タブ	機能		初期設定	*1	*2	*3	☰	
📺	📺モード		P		✓		103	
	📺画質設定	📺画質モード	MOV📺4K 30p	✓	✓	✓		
		📺高感度ノイズ低減	標準	✓	✓	✓		
		📺ピクチャーモード	Off	✓	✓			
	📺AF/手ぶれ補正設定	📺AF方式	C-AF	✓	✓	✓	44, 52,	
		📺手ぶれ補正	M-IS1	✓	✓	✓	54, 101	
	📺ボタンダイヤル/レバー							
	📺ボタン機能	Fn1 ボタン機能	[::]選択		✓		101	
		Fn2 ボタン機能	マルチFn		✓			
		REC ボタン機能	REC		✓			
		AEL ボタン機能	AEL/AFL		✓			
		Q ボタン機能	ピーキング		✓			
		QI ボタン機能	Q		✓			
		QI ボタン機能	QI		✓			
		↔ ボタン機能	ダイレクト機能		✓			
		D ボタン機能	電動ズーム		✓			
		☑ ボタン機能	ISO / WB		✓			
		B Fn1 ボタン機能	[::]選択		✓			
		B Fn2 ボタン機能	AEL/AFL		✓			
		📺📺 ボタン機能	ダイレクト機能		✓			
📺📺 ボタン機能		電動ズーム		✓				
📺📺 ボタン機能	ISO / WB		✓					
L Fn ボタン機能	AF停止		✓					
📺ダイヤル機能	P	露出補正 / 露出補正		✓				
	A	露出補正 / 絞り		✓				
	S	露出補正 / シャッター速度		✓				
	M	絞り / シャッター速度		✓				
📺Fnレバー機能		mode1		✓				
📺シャッターボタン機能		📺		✓				
📺電動ズーム速度		標準		✓				

タブ	機能		初期設定	*1	*2	*3		
	表示設定							
	Control表示		LVコントロール、LVスーパーコンパネ		✓		102	
	Info表示		カスタム表示1 / カスタム表示2 (動画エフェクト以外すべてOn)		✓			
	タイムコード設定	タイムコードモード	DF		✓			
		カウントアップ方式	レックラン		✓			
			タイムコード値設定	0:00:00		✓		
	残量表示		分		✓	✓		
	ムービー録音		On		✓	✓	✓	104
	録音レベル調整	内蔵	±0			✓		
		MIC	±0			✓		
	入カリミッター		On			✓		
	風切り音低減		Off			✓		
	プラグインパワー		Off			✓		
PCMレコーダー 接続	カメラ側録音調整	有効			✓			
	スレートトーン	Off		✓	✓			
		REC同期	Off		✓	✓		
ヘッドホン音量		8		✓	✓			
	HDMI出力						102	
	出力モード設定		モニターモード			✓		
	RECトリガー		Off		✓	✓		
		タイムコード	On		✓	✓		

▶ 再生メニュー

タブ	機能		初期設定	*1	*2	*3	🔍
▶	スライドショー	スタート	—				82
		BGM	Party Time		✓	✓	
		スライド	すべて	✓	✓	✓	
		1コマ再生時間	3秒	✓	✓		
	ムービー再生	ショート	✓	✓			
	回転再生	On	✓	✓	✓	106	
編集	画像選択	RAW編集	—				106
		JPEG編集	—				107
		ムービー編集	—				108
		録音	—				85, 108
	画像合成	—				108	
	プリント予約	—				147	
	全プロテクト解除	—				109	
	全コマコピー	—				109	
	スマートフォン接続	—				137	

ƒ セットアップメニュー

タブ	機能		初期設定	*1	*2	*3	🔍
ƒ	カードセットアップ		—				111
	日時設定		—	✓			19
	🔊		日本語				110
	モニター調整		🔊 ±0、🌞 ±0、Natural	✓	✓		110
	撮影確認		0.5秒	✓	✓		110
	Wi-Fi設定	Wi-Fi接続設定	プライベート		✓		140
		プライベートパスワード	—				
		全シェア予約解除	—				141
		Wi-Fi設定リセット	—				
	バージョン		—				110

＊カスタムメニュー

タブ	機能	初期設定	*1	*2	*3				
<div style="text-align: center; font-size: 2em; font-weight: bold;">8</div> 資料	AF/MF								
	A1	AF方式		S-AF	✓	✓	✓	44, 52, 112	
		AEL/AFL モード	S-AF	mode1	✓	✓	✓	112, 125	
			C-AF	mode2					
			MF	mode1					
		AFスキャン		mode2	✓	✓	✓	112	
		C-AF追従感度		±0	✓	✓	✓		
		AFリミッター		Off	✓	✓	✓		
				距離設定	セット1	✓	✓		✓
				レリーズ優先	On	✓	✓		✓
		[/•/÷/#]表示設定		すべてOn	✓	✓	✓		
		AFターゲット表示		On1	✓	✓	✓		
		A2	AFターゲットパッド		Off	✓	✓	✓	113
			[::]Home登録		[/•/÷/#]、		✓	✓	
	[::]カスタム設定		セット1	✓	✓	✓			
				[/•/÷/#]変更	✓	✓	✓		
				⊖変更	✓	✓	✓		
				⊕変更	✓	✓	✓		
				⊕変更	✓	✓	✓		
	AFイルミネーター		On	✓	✓	✓			
	⊙顔優先			✓	✓		41, 113		
	AF微調節		Off	✓	✓	✓	113		
	A3	プリセットMF距離		999.9 m	✓	✓	✓	114	
		MFアシスト	拡大	Off	✓	✓		114, 125	
			ピーキング	Off	✓	✓			
		MFクラッチ		有効	✓	✓	✓	114	
		フォーカスリング		C	✓	✓	✓		
BULB/TIME中MF		On	✓	✓	✓				
レンズリセット		On	✓	✓	✓				

タブ	機能	初期設定	*1	*2	*3		
設定 ボタン/ダイヤル/レバー	B ボタン機能	Fn1 ボタン機能	[::]選択				68, 114
		Fn2 ボタン機能	マルチFn				
		Fn ボタン機能	REC				
		AEL ボタン機能	AEL/AFL				
		Q ボタン機能					
		Q ボタン機能					
		Q ボタン機能					
		⇄ ボタン機能	[::]				
		⏪ ボタン機能	⏪	✓	✓		
		⏩ ボタン機能					
		B Fn1 ボタン機能	[::]選択				
		B Fn2 ボタン機能	AEL/AFL				
		PEM ◀ ボタン機能	[::]				
		PEM ▶ ボタン機能	⏪				
		PEM ▼ ボタン機能					
		L Fn ボタン機能	AF停止				
	PEM ◀ ロック	Off	✓	✓			
	ボタン機能	P	露出補正 / Ps				114
		A	露出補正 / 絞り				
		S	露出補正 / シャッター速度	✓	✓		
		M	絞り / シャッター速度				
		Menu	◀▶ / Δ▽/Value				
	ダイヤル方向	露出設定	ダイヤル1				114
		Ps設定	ダイヤル1	✓	✓		
	Fnレバー設定	Fn レバー機能	mode1		✓		114, 126
		Fn ボタン機能切換	Off		✓		
	Fnレバー / 電源レバー	Fn		✓			115
電動ズーム速度	標準		✓	✓			

タブ	機能	初期設定	*1	*2	*3																																																																															
 <div style="position: absolute; left: 0px; top: 50px; background-color: black; color: white; padding: 5px; border-radius: 50%; width: 30px; height: 30px; display: flex; align-items: center; justify-content: center;">8</div> 資料	リリース/連写/手ぶれ補正																																																																																			
	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">C1</div> リリース優先S リリース優先C L設定 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td rowspan="2"></td><td>連写速度</td><td>10fps</td><td>✓</td><td>✓</td><td>✓</td><td rowspan="11" style="text-align: center; vertical-align: middle;">115</td></tr> <tr><td>枚数リミッター</td><td>Off</td><td>✓</td><td>✓</td><td>✓</td></tr> <tr><td rowspan="2"></td><td>連写速度</td><td>18fps</td><td>✓</td><td>✓</td><td>✓</td></tr> <tr><td>枚数リミッター</td><td>Off</td><td>✓</td><td>✓</td><td>✓</td></tr> <tr><td rowspan="3">Pro Cap</td><td>連写速度</td><td>18fps</td><td>✓</td><td>✓</td><td>✓</td></tr> <tr><td>プリ連写枚数</td><td>8枚</td><td>✓</td><td>✓</td><td>✓</td></tr> <tr><td>枚数リミッター</td><td>On, 25枚</td><td>✓</td><td>✓</td><td>✓</td></tr> </table> H設定 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td rowspan="2"></td><td>連写速度</td><td>15fps</td><td>✓</td><td>✓</td><td>✓</td><td rowspan="11" style="text-align: center; vertical-align: middle;">115</td></tr> <tr><td>枚数リミッター</td><td>Off</td><td>✓</td><td>✓</td><td>✓</td></tr> <tr><td rowspan="2"></td><td>連写速度</td><td>60fps</td><td>✓</td><td>✓</td><td>✓</td></tr> <tr><td>枚数リミッター</td><td>Off</td><td>✓</td><td>✓</td><td>✓</td></tr> <tr><td rowspan="3">Pro Cap</td><td>連写速度</td><td>60fps</td><td>✓</td><td>✓</td><td>✓</td></tr> <tr><td>プリ連写枚数</td><td>14枚</td><td>✓</td><td>✓</td><td>✓</td></tr> <tr><td>枚数リミッター</td><td>On, 25枚</td><td>✓</td><td>✓</td><td>✓</td></tr> </table>		連写速度	10fps	✓	✓	✓	115	枚数リミッター	Off	✓	✓	✓		連写速度	18fps	✓	✓	✓	枚数リミッター	Off	✓	✓	✓	Pro Cap	連写速度	18fps	✓	✓	✓	プリ連写枚数	8枚	✓	✓	✓	枚数リミッター	On, 25枚	✓	✓	✓		連写速度	15fps	✓	✓	✓	115	枚数リミッター	Off	✓	✓	✓		連写速度	60fps	✓	✓	✓	枚数リミッター	Off	✓	✓	✓	Pro Cap	連写速度	60fps	✓	✓	✓	プリ連写枚数	14枚	✓	✓	✓	枚数リミッター	On, 25枚	✓	✓	✓	Off	✓	✓	✓	115
				連写速度	10fps	✓	✓		✓	115																																																																										
		枚数リミッター		Off	✓	✓	✓																																																																													
			連写速度	18fps	✓	✓	✓																																																																													
			枚数リミッター	Off	✓	✓	✓																																																																													
		Pro Cap	連写速度	18fps	✓	✓	✓																																																																													
			プリ連写枚数	8枚	✓	✓	✓																																																																													
			枚数リミッター	On, 25枚	✓	✓	✓																																																																													
			連写速度	15fps	✓	✓	✓		115																																																																											
			枚数リミッター	Off	✓	✓	✓																																																																													
			連写速度	60fps	✓	✓	✓																																																																													
			枚数リミッター	Off	✓	✓	✓																																																																													
		Pro Cap	連写速度	60fps	✓	✓	✓																																																																													
	プリ連写枚数		14枚	✓	✓	✓																																																																														
	枚数リミッター		On, 25枚	✓	✓	✓																																																																														
	On	✓	✓	✓	115																																																																															
	連写速度	10fps	✓	✓	✓	115																																																																														
	枚数リミッター	Off	✓	✓	✓																																																																															
	連写速度	18fps	✓	✓	✓																																																																															
	枚数リミッター	Off	✓	✓	✓																																																																															
	連写速度	18fps	✓	✓	✓																																																																															
	プリ連写枚数	8枚	✓	✓	✓																																																																															
	枚数リミッター	On, 25枚	✓	✓	✓																																																																															
	連写速度	15fps	✓	✓	✓		115																																																																													
枚数リミッター	Off	✓	✓	✓																																																																																
連写速度	60fps	✓	✓	✓																																																																																
枚数リミッター	Off	✓	✓	✓																																																																																
連写速度	60fps	✓	✓	✓																																																																																
プリ連写枚数	14枚	✓	✓	✓																																																																																
枚数リミッター	On, 25枚	✓	✓	✓																																																																																
手ぶれ補正	S-IS AUTO	✓	✓	✓	54, 115																																																																															
連写中手ぶれ補正	連写速度優先	✓	✓		115																																																																															
半押し中手ぶれ補正	On		✓																																																																																	
レンズ手ぶれ補正優先	Off	✓	✓	✓																																																																																
表示/音/接続																																																																																				
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">D1</div>	Control 表示	i/AUTO	ライブガイド	✓	✓	116, 126																																																																														
		P/A/S/M	LVスーパーコンパネ	✓	✓																																																																															
		ART	ARTメニュー	✓	✓																																																																															
	/Info 表示 設定	Info	表示Off、総合表示	✓	✓		✓																																																																													
		Q Info	すべてOn		✓																																																																															
		LV-Info	表示Off、カスタム表示1 (ヒストグラム表示)、カスタム表示2 (水準器)	✓	✓																																																																															
		表示	25、クリップスビュー、カレンダー表示	✓	✓																																																																															
	ピクチャーモード表示		すべてOn	✓	✓		116																																																																													
	/表示設定		、、、、、 Pro Cap 、、	✓	✓																																																																															
	マルチFn表示設定		以外すべてOn	✓	✓																																																																															

タブ	機能		初期設定	*1	*2	*3	
⚙️	D2	LVブースト	M	On1			116
			BULB/TIME	On2	✓	✓	
			COMP	Off	✓	✓	
			その他	Off			
		アートLVモード		mode1	✓	✓	
		フレームレート		標準	✓	✓	
	D3	LV拡大設定	LV拡大モード	mode2	✓	✓	117
			LVブースト	Off	✓	✓	
		プレビュー設定	ロック	Off	✓	✓	
			LVブースト	Off	✓	✓	
		フリッカー低減		オート	✓	✓	
		ガイド線表示設定		表示色	プリセット1	✓	
	D4	ガイド線表示設定	表示罫線選択	Off	✓	✓	
EVF反映			On	✓	✓		
ピーキング表示			ピーキング色	赤			
ピーキング表示		ピーキングレベル	標準	✓	✓	117	
		ピーキング背景の輝度調整	Off				
ヒストグラム警告設定		ハイライト表示	255	✓	✓		
	シャドウ表示	0					
モードガイド表示		Off	✓	✓			
自分撮りアシスト		On			117, 130		
電子音		On	✓	✓	✓	118	
HDMI	出力サイズ	HDMI出力	1080p優先		✓	118, 131	
		コントロール	Off		✓		
		出力フレームレート	60p優先				
	USB接続モード		オート		✓		✓
露出/ISO/BULB/測光							
E1	露出基準調整		±0	✓	✓	118	
	露出ステップ		1/3EV	✓	✓		✓
	ISO感度ステップ		1/3EV	✓	✓		✓
	ISOオート設定	上限/基準値設定	上限値：6400 基準値：200	✓	✓		✓
		低速限界設定	オート	✓	✓		✓
	ISOオート有効		All	✓	✓		
高感度ノイズ低減		標準	✓	✓	✓	119	
長秒時ノイズ低減		オート	✓	✓	✓		

タブ	機能		初期設定	*1	*2	*3	👉	
⚙️	🔧	BULB/TIMEリミッター	8分	✓	✓	✓	119	
		BULB/TIME輝度設定	-7	✓	✓			
		ライブBULB設定	Off	✓	✓			
		ライブTIME設定	0.5秒	✓	✓			
		コンボジット撮影設定	1秒	✓	✓		31, 119	
	📷	測光		☰	✓	✓	✓	46, 52, 119
		AEL測光モード		オート	✓	✓	✓	119
		[::]連動スポット測光	スポット	On	✓	✓	✓	
			スポットハイライト	On	✓	✓	✓	
	スポットシャドウ		On	✓	✓	✓		
フラッシュ								
🔧	⚡同調速度		1/250	✓	✓	✓	120, 132	
	⚡低速制限		1/60	✓	✓	✓		
	📷+📷連動		Off	✓	✓	✓	40, 61, 120	
	⚡+WB連動		WB AUTO	✓	✓		120	
画質/WB/色								
🔧	画質設定		📷-1 📷F、📷-2 📷N、📷-3 📷N、📷-4 📷N	✓	✓	✓	120, 132	
	ピクセルサイズ	📷Middle	3200 × 2400	✓	✓	✓		
		📷Small	1280 × 960	✓	✓	✓		
	シェーディング補正		Off	✓	✓	✓	120	
	WBモード		オート	A±0、G±0	✓	✓	✓	43, 53, 120
	全WBモード補正	All Set	—	✓	✓		120	
		All Clear	—					
	WBオート 電球色残し		On	✓	✓	✓	120	
カラー設定		sRGB	✓	✓	✓	67, 121		

タブ	機能		初期設定	*1	*2	*3		
	記録/消去							
	H1	カードスロット設定	記録設定	標準	✓	✓		121, 133
			記録スロット	①	✓	✓		
			記録スロット	①	✓	✓		
			スロット	①	✓	✓		
			記録フォルダ指定	指定しない	✓	✓		
		ファイルネーム	リセット	✓	✓		121	
		ファイルネーム編集	—	✓	✓			
		dpi設定	350dpi	✓	✓			
		著作権情報	著作権情報記録	Off	✓	✓		122
			撮影者入力	—				
	著作権者入力		—					
	レンズ情報登録*	Off		✓		122, 134		
	H2	ワンタッチ消去	Off	✓	✓	✓	122	
		RAW+JPEG消去	RAW+JPEG	✓	✓	✓		
		実行優先設定	中止優先	✓	✓	✓		
	EVF							
	I	EVF自動切換設定		On		✓		123
		EVF調整	EVF自動調光	On		✓		
			EVF調整	☺±0、☹±0		✓	✓	
EVF表示スタイル		スタイル3		✓		123, 135		
<input type="checkbox"/> Info表示設定		基本情報表示、 カスタム表示1（ヒストグラム表示）、 カスタム表示2（水準器）		✓	✓	123		
EVFガイド線表示設定		表示色	プリセット1	✓	✓			
		表示書線選択	Off		✓		✓	
<input type="checkbox"/> 半押し中水準器表示		On		✓	✓			
OVFシミュレーション		Off		✓	✓	✓		

* 個別のレンズ情報は【リセット】（フル）や【リセット】（標準）でも、初期設定には戻りません。

タブ	機能	初期設定	*1	*2	*3	🔍	
8 資料	その他						
	11 ピクセルマッピング	—				123, 161	
	ボタン長押し 時間調整	LV拡大枠/ 拡大表示	0.7秒	✓	✓		123
		LV拡大枠位置	0.7秒	✓	✓		
		 拡大枠	0.7秒	✓	✓		
		露出補正值	0.7秒	✓	✓		
		 設定値	0.7秒	✓	✓		
		 設定値	0.7秒	✓	✓		
		 設定値	0.7秒	✓	✓		
		AFターゲット 位置	0.7秒	✓	✓		
		EVF自動切換 設定	0.7秒	✓	✓		
		再生拡大枠/ 拡大表示	0.7秒	✓	✓		
		 / 	0.7秒	✓	✓		
		スレートトーン	0.7秒	✓	✓		
		デジタルシフト	0.7秒	✓	✓		
		デジタルシフト 設定値	0.7秒	✓	✓		
		 ロック	0.7秒	✓	✓		
		BKT撮影	0.7秒	✓	✓		
	水準器調整	—			✓		
	タッチパネル設定	On			✓		
	メニューカーソル保持	記憶する		✓	✓		
	12 電池設定	使用順序設定	PBH側優先	✓	✓		124
		ステータス表示	—	✓	✓		
	バックライト時間	Hold		✓	✓	✓	
	スリープ時間	1分		✓	✓	✓	
	自動電源Off	4時間		✓	✓	✓	
	低消費電力撮影	Off					
		バックライト 時間	8秒	✓	✓		
		スリープ時間	10秒				
	Eye-Fi 設定	On			✓		
	認証マーク表示	—					

工場出荷時のカスタムモードの設定

カスタムモードでは、一部の機能に通常の初期設定とは異なる独自の設定がプリセットされています。

- 撮影メニュー 1の[リセット] (P.88)で[フル]を選びカメラの設定をリセットした場合、以下の設定に戻ります。

カスタムモードC1

機能		カスタムモードC1の設定		
AFターゲット設定		 (オールターゲット)	40	
	 		92	
	 画質モード	 N+RAW	57	
	AF/MF			
	A1  AF方式	C-AF	112	
	AFターゲット表示	On2	113	
	A2 AFターゲットパッド	On	113	
	表示/音/接続			
	D2	LVブースト	M	On1
			BULB/TIME	On2
			COMP	Off
			その他	On1
	フレームレート		高速	116
D3	ガイド線表示設定	表示色	プリセット1	
		表示罫線選択		
			117	

カスタムモードC2

機能		カスタムモードC2の設定	🔍
AFターゲット設定		[+] (5点グループターゲット)	40
AFターゲット位置		中央	41
		☺ _{GH} (プロキャプチャー H)	92
		■N+RAW	57
⚙️ AF/MF			
A1		S-AF	112
	AFターゲット表示	On1	113
A2	AFターゲットパッド	On	113
表示/音/接続			
D2	LVブースト	M	On1
		BULB/TIME	On2
		COMP	Off
		その他	On1
フレームレート		高速	116
D3	ガイド線表示設定	表示色	プリセット1
		表示罫線選択	田

8

資料

カスタムモードC3

機能		カスタムモードC3の設定	🔍
AFターゲット設定		[.] (シングルターゲット)	40
AFターゲット位置		中央	41
		☺ _H	92
		■N+RAW	57
⚙️ AF/MF			
A1		S-AF	112
	AFターゲット表示	On1	113
A2	AFターゲットパッド	On	113
表示/音/接続			
D2	LVブースト	M	On1
		BULB/TIME	On2
		COMP	Off
		その他	On2
フレームレート		標準	116
D3	ガイド線表示設定	表示色	プリセット1
		表示罫線選択	田
J2	低消費電力撮影	On	124

仕様

■ カメラ

型式	
型式	マイクロフォーサーズ規格準拠レンズ交換式カメラ
使用レンズ	M.ZUIKO DIGITAL・マイクロフォーサーズシステムレンズ
レンズマウント	マイクロフォーサーズマウント
35 mmフィルムカメラ 換算焦点距離	レンズ焦点距離の約2倍
撮像素子	
型式	4/3型Live MOSセンサー
総画素数	約2177万画素
カメラ部有効画素数	約2037万画素
画面サイズ	17.3 mm (H) × 13.0 mm (V)
アスペクト比	1.33 (4:3)
ファインダー	
形式	電子ビューファインダー、アイセンサー有り
画素数	約236万ドット
視野率	100%
アイポイント	約21 mm (-1m ⁻¹ 時)
ライブビュー	
センサー	Live MOSセンサー使用
視野率	100%
モニター	
型式	3.0 型TFTカラー液晶、可動式、タッチパネル
総画素数	約104万ドット(アスペクト比 3 : 2)
シャッター	
型式	電子制御式フォーカルプレーンシャッター
シャッター速度	1/8000 ~ 60秒、バルブ撮影、タイム撮影
オートフォーカス	
型式	ハイスピードイメージャ AF
測距点	121点
測距点選択	自動選択・任意選択
露出制御	
測光方式	TTL測光方式(イメージャ測光) デジタルESP測光/中央重点平均測光/スポット測光
測光範囲	EV -2 ~ 20 (M.ZUIKO DIGITAL 17mm f2.8、ISO100相当)
撮影モード	i AUTO : iオート / P : プログラムAE (プログラムシフト可能) / A : 絞り優先AE / S : シャッター優先AE / M : マニュアル / C1 : カスタムモード C1 / C2 : カスタムモード C2 / C3 : カスタムモード C3 / ☒ : ムービー / ART : アートフィルター
ISO感度	LOW、200 ~ 25600 (1/3、1ステップ)
露出補正	±5.0EV (1/3、1/2、1EVステップ)
ホワイトバランス	
型式	撮像素子
設定方式	オート/プリセット(7種) / カスタムWB / ワンタッチWB (4件登録可)

記録	
記録媒体	SD / SDHC / SDXC / Eye-Fi UHS-II対応(スロット1) / UHS-I対応(スロット2)
記録方式	デジタル記録: JPEG (DCF2.0)、RAWデータ
対応規格	Exif 2.3、DPOF、PictBridge
静止画音声	Waveフォーマットに準拠
ムービー	MPEG-4 AVC/H.264 / Motion JPEGに準拠
音声	ステレオPCM 48kHz
再生	
表示形式	1コマ表示 / 拡大表示 / インデックス表示 / カレンダー表示
ドライブ関係	
ドライブモード	1コマ撮影 / 連写 / セルフタイマー
連写性能	最高15コマ/秒(連写 $\frac{1}{2}$ 時) 最高60コマ/秒(静音 $\frac{1}{2}$ / プロキャプチャー $\frac{1}{2}$ 時)
セルフタイマー	12秒後撮影 / 2秒後撮影 / カスタム
省電力機能	スリープモード移行: 1分、電源OFF: 4時間 (カスタマイズ可)
外部フラッシュ	
調光方式	TTL-AUTO (TTLプリ発光式) / MANUAL
同調速度	1/250秒以下
無線LAN	
対応規格	IEEE 802.11b / g / n
外部コネクタ	
USB端子(タイプC) / HDMIマイクログコネクタ(タイプD)	
電源	
電池	リチウムイオン電池 1個
大きさ・質量	
大きさ	134.1 mm (幅) × 90.9 mm (高さ) × 68.9 mm (奥行き) (突起部を除く)
質量	約574 g (電池 / カードを含む)
動作環境	
温度	-10℃ ~ 40℃ (動作時) / -20℃ ~ 60℃ (保存時)
湿度	30% ~ 90% (動作時) / 10% ~ 90% (保存時)
耐滴性能	保護等級1級(IPX1) : JISC0920/IEC60529相当(当社試験方法による)

HDMI、HDMIロゴ、およびHigh-Definition Multimedia Interfaceは、HDMI Licensing, LLCの商標または登録商標です。

HDMI™
HIGH-DEFINITION MULTIMEDIA INTERFACE

- 外観・仕様は改善のため予告なく変更することがありますので、あらかじめご了承ください。
- 最新の仕様は、当社ホームページをご覧ください。

■ フラッシュ

MODEL NO.	FL-LM3
ガイドナンバー	9.1 (ISO100・m) 12.7 (ISO200・m)
照射角	12mmレンズ(35mmフィルム換算24mm相当)の画角をカバー
大きさ	約43.6 mm (幅) × 49.4 mm (高さ) × 39 mm (奥行き)
質量	約51 g
防滴機能	種類 保護等級1級(IPX1) : JISC0920/IEC60529相当(当社試験方法による)

■ リチウムイオン電池

MODEL NO.	BLH-1
形式	充電式リチウムイオン電池
公称電圧	DC7.4 V
公称容量	1720 mAh
充放電回数	約500回(使用する条件により異なります。)
使用周囲温度	0℃～40℃ (充電)
大きさ	約45 mm (幅) × 20 mm (高さ) × 53 mm (奥行き)
質量	約74 g

■ リチウムイオン充電器

MODEL NO.	BCH-1
定格入力	AC100 V ~ 240 V (50/60 Hz)
定格出力	DC8.4 V、1100 mA
充電時間	約2時間(常温)
使用周囲温度	0℃～40℃ (動作時) / -20℃～60℃ (保存時)
大きさ	約71 mm (幅) × 29 mm (高さ) × 96 mm (奥行き)
質量(電源コード含まず)	約85 g

- 付属の電源コードは、本機専用のケーブルですので、他の機器に使用しないでください。
また、他の機器のケーブルを本機に使用しないでください。

- 外観・仕様は改善のため予告なく変更することがありますので、あらかじめご了承ください。
- 最新の仕様は、当社ホームページをご覧ください。

9 安全にお使いいただくために

安全にお使いいただくために

ご使用の前に、この内容をよくお読みの上、製品を安全にお使いください。

ここに示した注意事項は、製品を正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害と財産の損害を未然に防止するためのものです。内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠ 危険	「死亡や重傷を負うおそれ大きい内容」です。
⚠ 警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
⚠ 注意	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

⚠ 危険

電池は誤った使い方をしない

液漏れ、発熱、発火、破裂、誤飲などによる火災ややけど、けがの原因となります。

- 火の中に投下したり、電子レンジやホットプレート、高压容器で加熱しない
- 電磁調理器の上や傍らに置かない
- 端子を金属類で接続しない
- 電池とネックレスやヘアピン、鍵等の金属と一緒に持ち運んだり、保管しない
- 高温になる場所で使用・放置しない
直射日光のあたる場所、炎天下の車内、ストーブのそばなど
- 直接ハンダ付けしたり、変形・改造・分解をしない
端子部安全弁の破壊や、内容物の飛散が生じ危険です。
- コンセントや自動車のシガレットライターの差し込み口等に直接接続しない
- 電池の液が目に入った場合は、目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で十分に洗い流した後、直ちに医師の診断を受けてください。失明の恐れがあります。
- カメラから電池が取り出せなくなった場合、無理に取り出さず、お買い上げの販売店、当社修理センター、または当社サービスステーションにご相談ください。電池の外装にキズなどのダメージを加えますと、発熱・破裂のおそれがあります。

充電器は誤った使い方をしない

火災・破裂・発火・発煙・発熱・感電・やけど・故障の原因となります。

充電器が、熱い、異臭や異常音がする、煙がでているなど異常を感じたら、ただちに電源プラグをコンセントから抜いて使用を中止し、お買い上げの販売店、当社修理センター、当社カスタマーサポートセンター、または当社サービスステーションにご連絡ください。

- 充電器を濡らしたり、濡れた状態または濡れた手で触ったり持ったりしない
- 充電器を布などで覆った状態で使用しない
- 充電器を分解・改造しない
- 充電器は指定の電源電圧で使用する

⚠ 警告

製品の取扱いについて

- 可燃性ガス、爆発性ガス等が大気中に存在するおそれのある場所では使用しない
引火・爆発の原因となります。
- ほこりや湿気、油煙、湯気の多い場所で長時間使用したり、保管しない
火災・感電の原因となります。
- ファインダーでの撮影時は、定期的に休憩をとる
目の疲労や気分が悪くなったり、乗り物酔いに似た症状が出る場合があります。
必要な休憩の長さや頻度は個人によって異なりますので、ご自身でご判断ください。

疲労感、不快感などの異常を感じたときには、回復するまでファインダーの使用を控え、必要に応じて医師にご相談ください。

- フラッシュやLED（AFイルミネーター含む）を人（特に乳幼児）に向けて至近距離で発光させない
- カメラで日光や強い光を見ない
視力障害をきたすおそれがあります。
- 幼児や子供の手の届く場所に放置しない
以下のような事故が発生するおそれがあります。
 - 誤ってストラップを首に巻きつけ、窒息を起こす。
 - 電池などの小さな付属品を飲み込む
万一飲み込んだ場合は、直ちに医師にご相談ください。
 - 目の前でフラッシュが発光し、視力障害を起こす。
 - カメラの動作部でけがをする。
- フラッシュの発光部分を手で覆ったまま発光しない
- 連続発光後、発光部分に手を触れない
やけどのおそれがあります。
- 分解や改造をしない
感電・けがをするおそれがあります。
- 内部に水や異物を入れない
火災・感電の原因となります。
万一水に落としたり、内部に水や異物が入ったときは、すぐに電源を切り電池を抜き、お買い上げの販売店、当社修理センター、または当社サービスステーションにご相談ください。
- 本機の温度の高い部分に長時間触れない
低温やけどのおそれがあります。このような条件での使用が予想される場合は、あらかじめ三脚や手袋などを用意してください。
- 専用の当社製リチウムイオン電池、充電器以外は使用しない
発熱、変形などにより、火災・感電の原因となります。またカメラ本体または電源が故障したり、思わぬ事故がおきる可能性があります。専用品以外の使用により生じた傷害は補償しかねますので、ご了承ください。

- 通電中の充電器、充電中の電池に長時間触れない

充電中の充電器や電池は、温度が高くなります。長時間皮膚が触れていると、低温やけどのおそれがあります。

電池の取扱いについて

- 水や海水などの液体で濡らさない
- 濡れた手で触ったり持ったりしない
発熱・破裂・発火・感電・故障の原因となります。
- 所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は、充電を中止する
火災・破裂・発火・発熱の原因となります。
- 外装にキズや破損のある電池は使用しない、またキズを付けない
破裂・発熱・発火の原因となります。
- 膨れた電池を無理に機器に取り付けない
発熱、破裂、発火の原因となります。
- 落下や打撃により電池に強い衝撃を与えたり、投げたりしない
破裂・発熱・発火の原因となります。
- 充電器や機器に接続時、無理に接続しない
プラス・マイナスを逆に接続すると、電池が逆に充電され内部で異常な反応が起こり、漏液、発熱、破裂、発火の原因となります。
- 電子レンジや高圧容器などに入れない
急に加熱されたり、密封状態が壊れたりして、発熱、破裂、発火の原因となります。
- 電磁調理器の上や傍らに置かない
誤って加熱され、発熱、破裂、発火の原因となります。
- 充電中や放電中に可燃物を上に載せたり、覆ったりしない
発熱、破裂、発火させるおそれがあります。
- カメラの電池室を変形させたり、異物を入れたりしない
- 液漏れや異臭、変色、変形その他異常が発生した場合は使用を中止し、すぐに火気から遠ざける火災・感電の原因となります。
お買い上げの販売店、当社修理センター、当社カスタマーサポートセンター、または当社サービスステーションにご連絡ください。

- 電池の液が皮膚・衣類へ付着すると、皮膚に傷害を起こすおそれがあるので、直ちに水道水などのきれいな水で洗い流してください。

充電器の取扱いについて

- コンセントからの抜き差しは、必ず電源プラグを持つ
電源プラグを持たないと、火災・感電の原因となることがあります。

無線LAN機能について

- 心臓ペースメーカーを装着している方は装着部から22cm以上離す
本機からの電波がペースメーカーの作動に影響を与える場合があります。
- 病院内や医療用電気機器のある場所では電源を切る
本機からの電波が医療用電気機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因になります。
- 航空機内では電源を切る
運行の安全や支障をきたすおそれがあります。

▲ 注意

製品の取扱いについて

- 異臭、異常音、煙が出たりするなどの異常を感じたときは使用を中止する
火災・やけどの原因となることがあります。
やけどに注意しながらすぐに電池を取り外し、お買い上げの販売店、当社修理センター、当社カスタマーサービスセンター、または当社サービスステーションにご連絡ください。
(電池を取り外す際は、素手で電池を触らないでください。また可燃物のそばを避け屋外で行ってください。)
- 濡れた手でカメラを操作しない
故障・感電の原因となることがあります。
- カメラをストラップで掲げて持ち運んでいるときは、他のものに引っかからないように注意する
けがや事故の原因となることがあります。
- 高温になるところに放置しない
部品の劣化・火災の原因となることがあります。

電池の取扱いについて

- 乳幼児や動物・ペットには、電池の取り扱い、運搬をさせない(舐める、口に入れる、噛む等の危険防止)
- 電池を使ってカメラを長時間連続使用したあとは、すぐに電池を取り出さない
やけどの原因となることがあります。
- 長期間ご使用にならない場合は、カメラから電池を外しておく
液漏れ・発熱により、火災・けが・故障の原因となることがあります。
- 長期間保管する場合は、涼しいところに保管してください。
- 電池は、当社製リチウムイオン電池1個を使用します。指定の電池をお使いください。指定以外の電池を使用した場合、爆発(または破裂)の危険があります。
- 当社製リチウムイオン充電電池は、当社デジタルカメラ専用です。他の機器に使用しないでください。

充電器の取扱いについて

- 付属の電池は専用の充電器以外には使用しないでください。また、付属の充電器は専用の電池以外に使用しないでください。

電源コードの取扱いについて

- 付属の電源コードは、本製品専用のコードです。他の機器に使用しないでください。また、他の機器のコードを本製品に使用しないでください。

交換レンズの取り扱いについて

- レンズまたは光学ビューファインダー(外付け)で直接太陽や強い光を見ない
失明や視力障害を起こすことがあります。
- 使用しないときはレンズキャップを付けて保管する
太陽光が入射して、火災の原因になることがあります。

使用上のご注意

- 本製品には精密な電子部品が組み込まれています。
以下のような場所で長時間使用したり放置すると、動作不良や故障の原因となる可能性がありますので、避けてください。
 - 直射日光下や夏の海岸、窓を閉め切った自動車の中、冷暖房器、加湿器のそばなど、高温多湿、または温度・湿度変化の激しい場所
 - 砂、ほこり、ちりの多い場所
 - 火気のある場所
 - 水に濡れやすい場所
 - 激しい振動のある場所
 - カメラを落としたりぶついたりして、強い振動やショックを与えないでください。
 - レンズを直射日光に向けたまま撮影または放置しないでください。撮像素子の退色・焼きつきを起すことがあります。
 - ファインダーを直射日光や強い光源に向けて放置しないでください。焼きつきを起すことがあります。
 - カメラをご使用に際は、必ず電池/カードカバーを閉じロックをしてください。
 - 寒い戸外から暖かい室内に入るなど急激に温度が変わったときは、カメラ内部で結露が発生する場合があります。
ビニール袋などに入れてから室内に持ち込み、カメラを室内の温度になじませてからご使用ください。
 - カメラを長期間使用しないと、カビがはえるなど故障の原因となることがあります。
使用前には動作点検をされることをおすすめします。
 - テレビ、電子レンジ、ゲーム機、スピーカー、大型モーター、電波塔や高圧線の近くでカメラを使用すると磁気や電磁波、電波、高電圧の影響で、カメラが誤動作する場合があります。カメラが正常に動作しない場合は、電源を切ってから、電池を抜き差しして再度電源を入れてください。
 - カメラのそばにクレジットカードや磁気定期券、フロッピーディスクなどの磁気の影響を受けやすいものを近づけないでください。データが壊れて使用できなくなる場合があります。
 - SD/SDHC/SDXC/Eye-Fiカード以外は、絶対にカメラに入れない
- その他のカードを誤って入れた場合は、無理に取り出さず、お買い上げの販売店、当社修理センター、または当社サービスステーションにご相談ください。
- 大切なデータは万一の場合に備え、パソコン等の他の記録媒体に定期的にバックアップしてください。
 - 本製品によるデータの破損につきましては、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
 - 三脚を着脱する際は、カメラを回さず三脚のネジを回してください。
 - カメラを持ち運ぶ際は、当社純正アクセサリ以外(三脚など)は取り外してください。
 - 本体の電気接点部には手を触れないでください。
 - 水につけたり水をかけたりしないでください。
 - 落下したり強い力を加えないでください。
 - 各カバーの開け閉めや電池の交換時は、本機の水分を十分拭き取ってから行ってください。
 - レンズの可動部で保持しないでください。
 - レンズ面に直接触れないでください。
 - 電気回路接点部に直接触れないでください。
 - 急激な温度変化をかけないでください。
 - カメラの消費電力は、使用条件などにより大きく異なります。
以下の条件では撮影をしなくても電力を多く消費するため、電池の消費が早くなります。
 - ズーム動作を繰り返す。
 - 撮影モードでシャッターボタンを半押しして、オートフォーカス動作を繰り返す。
 - 長時間、モニターで画像を表示する。
 - プリンターとの接続時。
 - 消耗した電池をお使いのときは、電池残量警告が表示されずにカメラの電源が切れることがあります。
 - 電池の端子は、常にきれいにしておいてください。汗や油で汚れていると、接触不良を起す原因となります。
充電や使用する前に、乾いた布でよく拭いてください。

- 充電式電池をはじめてご使用になる場合、また長時間使用していなかった場合は、ご使用の前に必ず充電してください。
- 一般に電池は低温になるに従って一時的に性能が低下することがあります。寒冷地で使用するときは、カメラを防寒具や衣服の内側に入れるなど保温しながら使用してください。低温のために性能の低下した電池は、常温に戻ると性能が回復します。
- 海外では地域によって電池の入手が困難な場合があります。長期間の旅行などには、予備の電池を用意されることをおすすめします。
- 使用済みの充電式電池は貴重な資源です。充電式電池を捨てる際には、端子をテープなどで絶縁してから最寄の充電式電池リサイクル協力店にお持ちください。

- 詳しくは一般社団法人JBRC ホームページ(<http://www.jbrc.com>)をご覧ください。



Li-ion

- モニターは強く押さないでください。画面上ににじみが残ったり、画像が正しく再生されなくなったり、モニターが割れたりするおそれがあります。万一破損した

場合は中の液晶を口に入れしないでください。液晶が手足や衣類に付着した場合は、直ちにせっけんで洗い流してください。

- モニターの画面上下に光が帯状に見えることがあります。故障ではありません。
- 被写体が斜めるとき、モニターにギザギザが見えることがあります。故障ではありません。

記録される画像には影響ありません。

- 一般に低温になるに従ってモニターは点灯に時間がかかったり、一時的に変色したりする場合があります。寒冷地で使用するときは、保温しながら使用してください。低温のために性能の低下したモニターは、常温に戻ると回復します。
- 本製品のモニターは、精密度の高い技術でつくられていますが、一部に常時点灯あるいは常時点灯しない画素が存在することがあります。これらの画素は、記録される画像に影響はありません。また、見る角度により、特性上、色や明るさにむらが生じることがありますが、モニターの構造によるもので故障ではありません。ご了承ください。

その他のご注意

- 本書の内容については将来予告なしに変更することがあります。商品名、型番等、最新の情報については当社カスタマーサポートセンターまでお問い合わせください。
- 本書の内容の一部または全部を無断で複製することは、個人としてご利用になる場合を除き、禁止します。
また、無断転載は固くお断りします。
- 本製品の不適当な使用による万一の損害、逸失利益、または第三者からのいかなる請求に関し、当社では一切その責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本製品の故障、当社指定外の第三者による修理、その他の理由により生じた画像データの消失による、損害および逸失利益などに関し、当社では一切その責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本書の内容については、万全を期して作成しておりますが、万一ご不審な点、誤り、記載もれなどお気づきの点がございましたら当社カスタマーサポートセンターまでご連絡ください。

機器認定について

本製品には、電波法に基づく認証を受けた無線設備が内蔵されています。認証ラベルは無線設備に添付されています。次の事項を行った場合、法律で罰せられることがあります。

本製品を分解、または改造すること

本製品の証明ラベルをはがすこと

この機器の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業、科学、医療用機器のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局(免許を要する無線局)及び特定省電力無線局(免許を要しない無線局)並びにアマチュア無線局(免許を要する無線局)が運用されています。

1. この機器を使用する前に、近くでこれらの無線局が運営されていないことを確認してください。
2. 万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、すみやかに場所を変更するか、または電波の使用を停止してください。

3. その他、この機器から移動体識別用の特定省電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことがおきたときは、カスタマーサポートセンターへお問い合わせください。

本機は、2.4GHz周波数帯を使用するDSSS/OFMD変調方式を採用しており、与干渉距離は、40 m以下です。



本製品を購入した地域以外での無線LAN機能の使用については、その国の電波管理規則に違反する場合がありますので、当社では一切の責任は負えません。

電波障害自主規制について

この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

VCCI-B

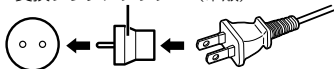
接続ケーブル、ACアダプター（ACアダプター対応機種のみ）は、必ず、当製品指定のものをお使いください。

指定品以外では、VCCI 協会の技術基準を超えることが考えられます。

海外での使用について

- 充電器は、世界中のほとんどの家庭用電源 AC100 ~ 240V (50/60Hz) でご使用になれます。ただし、国や地域によっては、コンセントの形状が異なるため、変換プラグアダプター（市販）が必要になる場合があります。

変換プラグアダプター（市販）



Eye-Fiカードについて

- Eye-Fiカードは使用する国や地域の法律に従ってお使いください。飛行機の中など使用を禁止される場所では、カードをカメラから取り出すか、カードの機能を停止してください。
- Eye-Fiカードは使用時に熱くなることがあります。
- Eye-Fiカードを使用すると電池の消費が早くなることがあります。
- Eye-Fiカードを使用するとカメラの動作が遅くなる場合があります。

商標について

Windowsは米国Microsoft Corporationの登録商標です。

MacintoshおよびAppleは米国アップル社の商標または登録商標です。

SDXCロゴは、SD-3C,LLCの商標です。

Eye-FiはEye-Fi,Incの登録商標です。

階調自動調整機能は、Apical Limitedの特許技術を使用しています。



Micro Four Thirds / Four Thirdsおよび Micro Four Thirds / Four Thirdsロゴマークはオリンパス(株)の日本・米国・EU・その他各国の商標または登録商標です。

Wi-Fiは、Wi-Fi Allianceの登録商標です。

Wi-Fi CERTIFIEDロゴは、Wi-Fi Allianceの認証マークです。



その他本説明書に記載されているすべてのブランド名または商品名は、それらの所有者の商標または登録商標です。

カメラファイルシステム規格について

カメラファイルシステム規格とは、電子情報技術産業協会(JEITA)で制定された規格「Design rule for Camera File system/DCF」です。

THIS PRODUCT IS LICENSED UNDER THE AVC PATENT PORTFOLIO LICENSE FOR THE PERSONAL AND NONCOMMERCIAL USE OF A CONSUMER TO (i) ENCODE VIDEO IN COMPLIANCE WITH THE AVC STANDARD ("AVC VIDEO") AND/OR (ii) DECODE AVC VIDEO THAT WAS ENCODED BY A CONSUMER ENGAGED IN A PERSONAL AND NON-COMMERCIAL ACTIVITY AND/OR WAS OBTAINED FROM A VIDEO PROVIDER LICENSED TO PROVIDE AVC VIDEO. NO LICENSE IS GRANTED OR SHALL BE IMPLIED FOR ANY OTHER USE. ADDITIONAL INFORMATION MAY BE OBTAINED FROM MPEG LA, L.L.C. SEE [HTTP://WWW.MPEGLA.COM](http://www.mpegla.com)

このカメラの内部のソフトウェアは第三者作成のソフトウェアを含んでいます。第三者作成のソフトウェアは、その所有者または著作権者により所定の条件が課せられており、その条件に基づいてあなたに配布されています。この条件の中であなたに告知するものがある場合には、以下のURLのウェブサイトが必要に応じて準備された **software notice PDF** ファイル内に見出すことができます。

<http://www.olympus.co.jp/en/support/ormsg/digicamera/download/notice/notice.cfm>

10 ファームウェアによる追加・変更

カメラのファームウェアのアップデートにより、以下の機能が追加・変更されます。

ファームウェア Ver2.0の追加・変更機能



撮影時の情報表示	193
プロキャプチャー撮影(バッファリング容量の拡大)	193
プロキャプチャー撮影(対応レンズ改善)	193
アートフィルター (【ブリーチバイパス】追加)	193
AFターゲットモード(【スモールターゲット】追加)	194
再生拡大倍率設定	194
フリッカースキャン	195
フィッシュアイ補正撮影	195
ボタン機能 【フリッカースキャン】、【フィッシュアイ補正】追加	196
初期設定	197
フォーカスブラケット撮影(P.95)でフラッシュの禁止設定廃止	—

ファームウェア Ver3.0の追加・変更機能



ファインダーとモニターの表示	198
アートフィルター (【ネオノスタルジー】追加)	198
AFターゲットモード(【25点グループターゲット】追加)	198
Mモード時の露出補正	199
水中撮影時のプログラムシフト	199
ISO感度	199
ホワイトバランス補正	199
WBオート 電球色残し	200
ピクチャーモード	200
複数の画像を一括で処理する	200
深度合成	201
表示設定 (【ビューアシスト】追加)	201
AF+MF	202
AF方式 (【C-AF MF】、【C-AF+TR MF】追加)	202
クラスター表示	202
C-AF中央スタート	203
C-AF中央優先	203

10

ファームウェアによる追加・変更

ファームウェア Ver3.0の追加・変更機能




フリッカーレス撮影

204

LVブースト

204

 低感度画像処理

205

静止画再生時のコマ送り

205

カード書き込み中の動作

205

Olympus WorkspaceのRAW編集での動作

205

メニュー一覧 ( 動画メニュー、 カスタムメニューの変更)

206

ファームウェア Ver3.2の追加・変更機能



EVF自動切替設定

215

10

ファームウェアによる追加・変更

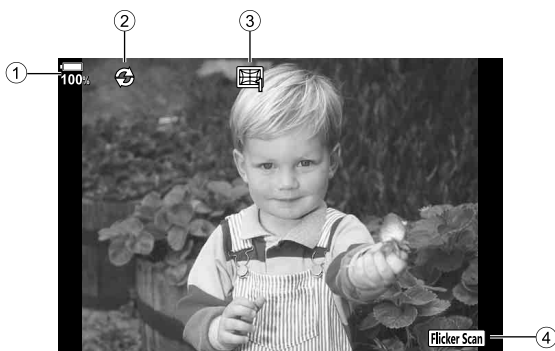
ファームウェア Ver2.0の追加・変更機能

撮影時の情報表示

静止画像撮影時のモニター表示

電池残量のアイコンが変更されました。

プロキャプチャー撮影、フリッカースキャン、フィッシュアイ補正撮影のアイコン表示が追加されました。



- ① 電池残量表示
- ② プロキャプチャー撮影…P.193
- ③ フィッシュアイ補正撮影…P.195
- ④ フリッカースキャン…P.195

プロキャプチャー撮影(バッファリング容量の拡大)

プロキャプチャー撮影(P.49)の[プリ連写枚数]が35枚まで撮影可能になりました。カスタムメニュー (MENU → * → 4) の[□L設定]、[□H設定]の[⌘] (P.115) で、[プリ連写枚数]を設定できます。

プロキャプチャー撮影(対応レンズ改善)

プロキャプチャー撮影(P.49)できるレンズが増えました。プロキャプチャー撮影で使用可能なレンズについては、当社ホームページをご覧ください。

アートフィルター（[ブリーチバイパス]追加）

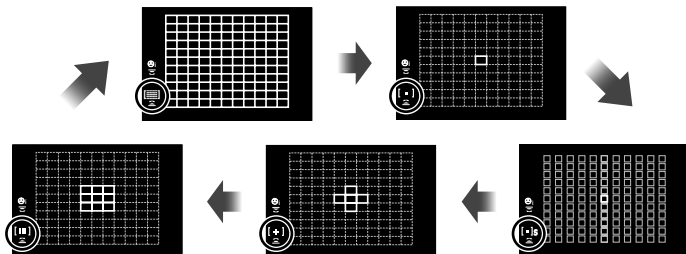
アートフィルター（P.34）に[ブリーチバイパス]が追加されました。

ブリーチバイパス I / II	映画撮影などで用いられた「銀残し（ブリーチバイパス）」の効果を加えることで、街並みなどの情景や金属の質感をより印象的に表現します。
--------------------	---

IIは、オリジナル（I）に対して変化をつけたものです。

AFターゲットモード（[スモールターゲット]追加）

AFターゲットモード（P.40）に[スモールターゲット]が追加されました。



(オールターゲット)	すべてのAFターゲットからカメラが自動的にピントを合わせるAFターゲットを選びます。
(シングルターゲット)	1つのAFターゲットを選びます。
(スモールターゲット)	サイズの小さいAFターゲットに変更できます。
(5点グループターゲット)	選択した5点グループの中からカメラが自動的にピントを合わせるAFターゲットを選びます。
(9点グループターゲット)	選択した9点グループの中からカメラが自動的にピントを合わせるAFターゲットを選びます。

再生拡大倍率設定

クローズアップ再生（P.81）で画像を拡大するときの倍率を設定できるようになりました。

カスタムメニュー（MENU → * → D2）（P.116）に下記設定が追加されました。

メニュー項目	説明
再生拡大倍率設定	前回倍率、等倍、×2、×3、×5、×7、×10、×14から選択できます。等倍表示にすると、モニターに 1:1 が表示されます。

フリッカースキャン

室内のLED照明環境下での撮影で、ライブビューで確認しながら、すじが写らないようにシャッター速度を細かく変更して撮影できます。

フリッカースキャンが[On]のときに絞りや露出補正などの撮影機能を設定する場合は、**INFO**ボタンを押して、表示をフリッカースキャン設定画面以外に切り換えます。戻るには、フリッカースキャン設定画面が表示されるまで**INFO**ボタンを押します。

- 拡大画面(P.42)を使用すると、フリッカーの状態を確認しやすくなります。
- フリッカースキャン設定時、設定できるシャッター速度の範囲が狭くなります。

静止画撮影時

カスタムメニュー (MENU → * → 2) (P.119)に下記設定が追加されました。

モードダイヤルが、**S**または**M**で、静音撮影[♥]、プロキャプチャー撮影、ハイレゾショットの場合に設定が可能になります。

メニュー項目	説明
📷 フリッカー スキャン	[On]にして、フロントダイヤル(🔍) / リアダイヤル(📷)または十字ボタンの△▽で、フリッカーが軽減されるシャッター速度に設定します。

動画撮影時

動画メニュー (MENU → 📹 → 📹モード設定) (P.101)に下記設定が追加されました。

モードダイヤルが📹の時に、📹モードを**S**または**M**にすると、設定が可能になります。

メニュー項目	説明
📹 フリッカー スキャン	[On]にして、フロントダイヤル(🔍) / リアダイヤル(📷)または十字ボタンの△▽で、フリッカーが軽減されるシャッター速度に設定します。

フィッシュアイ補正撮影

フィッシュアイレンズの歪みを補正して、超広角レンズのように撮影できます。対応するフィッシュアイレンズ^{*1}を装着した場合にのみ、設定が可能です。

カスタムメニュー (MENU → * → 1) (P.123)に下記設定が追加されました。

メニュー項目	説明
フィッシュアイ 補正撮影	[On]にして十字ボタンの▶を押すと、詳細設定ができます。画角(1~3)と水中補正[On] / [Off]を設定します。

*1 M.ZUIKO DIGITAL ED 8mm f1.8 Fisheye PROが対応しています。(2018年2月末現在)

ボタン機能

静止画撮影時

カスタムメニュー (MENU → ☆ → B → ボタン機能) (P.68)に下記設定が追加されました。

メニュー項目	説明
フリッカー スキャン	ボタンを押すとフリッカースキャンを[On]にします。長押しで解除します。フロントダイヤル(☉) / リアダイヤル(☉)または十字ボタンの△▽でシャッター速度を設定します。 [On]の状態でもう一度ボタンを押すと情報表示が切り換わります。 <ul style="list-style-type: none">モードダイヤルが、SまたはMで、静音撮影[♥]、プロキャプチャー撮影、ハイレゾショットの場合に設定が可能になります。
フィッシュアイ 補正	ボタンを押すとフィッシュアイ補正撮影を[On]にします。もう一度ボタンを押すと解除します。ボタンを押しながらフロントダイヤル(☉)またはリアダイヤル(☉)を回すと、補正レベルが選択できます。

動画撮影時

動画メニュー (MENU → ☞ → ☞ボタン/ダイヤル/レバー → ☞ボタン機能) (P.101)に下記設定が追加されました。

メニュー項目	説明
フリッカー スキャン	ボタンを押すとフリッカースキャンを[On]にします。長押しで解除します。フロントダイヤル(☉) / リアダイヤル(☉)または十字ボタンの△▽で、シャッター速度を設定します。 [On]の状態でもう一度ボタンを押すと情報表示が切り換わります。 <ul style="list-style-type: none">モードダイヤルが☞の時に、☞モードをSまたはMにすると、設定が可能になります。

初期設定





新機能の初期設定および初期設定が変更された機能は以下の通りです。

*1：[カスタム登録]が登録可能な機能




*2：[リセット]（フル）で初期設定に戻る機能

*3：[リセット]（標準）で初期設定に戻る機能

動画メニュー

タブ	機能		初期設定	*1	*2	*3	
	モード設定	 モード	P		✓		103
		 フリッカースキャン	Off	✓	✓	✓	195

カスタムメニュー

タブ	機能		初期設定	*1	*2	*3	
	D2	再生拡大倍率設定	前回倍率	✓	✓		194
	E2	 フリッカースキャン	Off	✓	✓	✓	195

ファームウェア Ver3.0の追加・変更機能

ファインダーとモニターの表示

モニターを開いた状態でも、アイセンサーの働きによってモニターとファインダーの表示が自動的に切り換わるようになりました。

アートフィルター（[ネオノスタルジー]追加）

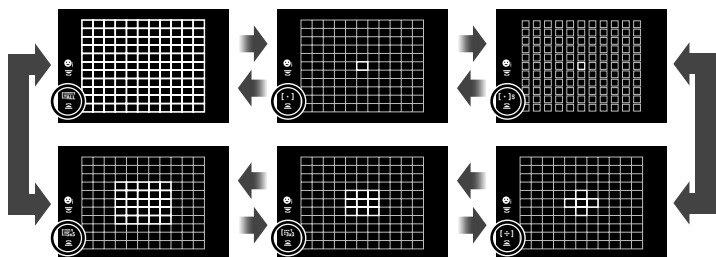
アートフィルター（P.34）に[ネオノスタルジー]が追加されました。





ネオノスタルジー	フィルム特有の人物の肌のトーンや暗部の色の変化を、現代風にアレンジして表現します。
----------	---

ピクチャーモード（P.62）やART BKT（P.95）でも[ネオノスタルジー]が追加されます。

AFターゲットモード（[25点グループターゲット]追加）

AFターゲットモード（P.40）に[25点グループターゲット]が追加されました。



 (オールターゲット)	すべてのAFターゲットからカメラが自動的にピントを合わせるAFターゲットを選びます。
 (シングルターゲット)	1つのAFターゲットを選びます。
 (スモールターゲット)	サイズの小さいAFターゲットに変更できます。
 (5点グループターゲット)	選択した5点グループの中からカメラが自動的にピントを合わせるAFターゲットを選びます。
 (9点グループターゲット)	選択した9点グループの中からカメラが自動的にピントを合わせるAFターゲットを選びます。
 (25点グループターゲット)	選択した25点のグループの中からカメラが自動的にピントを合わせるAFターゲットを選びます。

Mモード時の露出補正

Mモード時に露出補正(☒)ボタンで露出補正を設定できるようになりました。

露出補正ボタンで露出補正を使用するには、あらかじめボタン機能(P.68)でいずれかのボタンに[☒ (露出補正)]を割り当てておく必要があります。

[ISOオート有効] (P.118)を**[ALL]**に設定し、**[ISO感度]** (P.43, 52)を**[AUTO]**に設定すると、露出補正を設定できます。

露出補正ボタンを押しながらフロントダイヤル(☉)またはリアダイヤル(☉)を回します。

水中撮影時のプログラムシフト

☒/☑ (水中ワイド/水中マクロ)ボタンでプログラムシフトが設定できるようになりました。

☒/☑ (水中ワイド/水中マクロ)ボタンを使用するには、あらかじめボタン機能(P.68)でいずれかのボタンに[☒/☑ (水中ワイド/水中マクロ)]を割り当てておく必要があります。

水中撮影時にリアダイヤル(☉)を回すと、画面の☒/☑が☒s/☑sと表示されます。プログラムシフトを解除するには、「s」が消えるまでリアダイヤル(☉)を逆に回します。

ISO感度

静止画のISO感度(P.43, 52)の**[LOW]**が、**[L100]**と**[L64]**から選択できるようになりました。

<p>L64, L100, 200 ~ 25600</p>	<p>ISO感度を手動で設定します。ISO200はノイズと画像の階調のバランスが最もとれる設定です。[L100]や[L64]は、絞り値を小さくしたいときや、できるだけシャッター速度を遅くしたいときに設定します。[L64]はISO64相当、[L100]はISO100相当です。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [L64]および[L100]は、露出ステップの設定に関わらず選択ができます。 • [L64]または[L100]に設定しているときは、画像の階調が低下します。
--	---

ホワイトバランス補正

ホワイトバランス(P.43, 53)の**[CWB]** (カスタムホワイトバランス)で、ホワイトバランス補正(P.53)が可能になりました。

WBオート 電球色残し

カスタムメニュー (MENU → * → G → [WBオート 電球色残し])の設定が、ホワイトバランス(P.43, 53)で[AUTO]選択時にINFOボタンで設定できるようになりました。



[WBモード]のメニュー

ピクチャーモード

ムービー撮影専用のピクチャーモードで[*2 OM-Log400]が選択できるようになりました。

撮影したムービーを編集するときに、カラーグレーディングなどの色調編集をしやすいように、ダイナミックレンジを優先した階調で記録することができます。[ピクチャーモード] (P.101)を[On]にしたときに[ピクチャーモード] (P.62)で選択できます。

*1 Flat	カラーグレーディングに適したフラットな階調で記録します。
*2 OM-Log400	より自由度の高いカラーグレーディングに適したLOGカーブに合わせた階調で記録をします。

- [シャープネス]、[コントラスト]、[彩度]、[階調]の設定はできません。
- [ISO感度]の下限がISO400に制限されます。
- ムービー撮影専用のピクチャーモードで記録されたムービーを編集する際に使用するLUTファイルを用意しています。詳しくは当社ホームページをご覧ください。

複数の画像を一括で処理する

複数の画像を一括で選択したり、プロテクトが可能になりました。

- ✓の付いていない画像を表示して、◎ボタン(☑ボタン)を押しながらフロント/リアダイヤルを回すと、その間に表示される画像に✓が付きます。その間の✓がついた画像は、変更されません。
- ✓がついた画像を表示して、◎ボタン(☑ボタン)を押しながらフロント/リアダイヤルを回したときは、その間に表示される画像の✓は消えます。✓の付いていない画像は、そのまま変更されません。
- AEL/AFLボタン(Onプロテクトボタン)で同様の操作を行うと、画像がプロテクトされます。
- インデックス再生やクローズアップ再生で画像を選択したときも同様の操作ができます。

深度合成

深度合成(P.96)の撮影枚数を3～15枚の間で設定できるようになりました。

画面に、合成後の画像に写る範囲を表す枠が表示されるようになりました。

枠内に被写体が収まるように調整してください。



🔗表示設定([🔗ビューアシスト]追加)

動画メニュー (MENU → 🔗 → [🔗表示設定])に[🔗ビューアシスト]が追加されました。

ピクチャーモードがムービー専用の[🔗1Flat]や[🔗2OM-Log400]に設定されているとき、モニターに表示する映像を見やすい画質に調整します。

メニュー項目	説明
🔗ビューアシスト	[On] : 映像を見やすい色合いに調整して表示します。アイコンなどの色合いが通常と違って見える場合があります。 [Off] : 調整しません。

- この機能は、記録するムービーには影響しません。
- [🔗1Flat]や[🔗2OM-Log400]の設定で撮影されたムービーをカメラで再生したときには適用されません。また、テレビで再生する場合にも適用されません。

10

ファームアップによる追加・変更

AF+MF

カスタムメニュー (MENU → * → A1) に [AF+MF] が追加されました。

AFとMFを併用するかどうかを設定できます。

[On]にすると、オートフォーカスでピントを合わせた状態から、レンズのフォーカスリングを操作してピントを調整できます。

メニュー項目	説明
AF+MF	[On] : AF設定時に、MF操作を有効にします。[S-AF]、[C-AF]、[C-AF+TR]にMFが表示されます。 [Off] : AF設定時に、MF操作を無効にします。

- 初期設定では[Off]になっています。[S-AF MF]、[C-AF MF]、[C-AF+TR MF]を表示するには[On]にしてください。
- AF動作を他のボタンに割り当てているときも、同様の動作をします。[AEL/AFLモード] (P.125)
- [BULB]、[LIVE TIME]、[LIVE COMP]設定時は、露光中のマニュアルフォーカスは、[BULB/TIME中MF]の設定で動作します。
- フォーカスリングを動かしてAFを中断する動作は、M.ZUIKO PRO (マイクロフォーサースPRO)レンズ、M.ZUIKO DIGITAL ED 12-200mm F3.5-6.3でのみ可能です。その他のレンズでの対応は当社ホームページをご覧ください。

AF方式([C-AF MF]、[C-AF+TR MF]追加)

AF方式(P.44)に[C-AF MF]、[C-AF+TR MF]が追加されました。

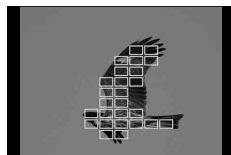
マニュアルフォーカス動作が有効になります。*カスタムメニュー A1 [AF+MF]で[On]に設定すると選択できます(P.202)。

C-AF MF、 C-AF+TR MF (C-AFとMFの 併用)	C-AFやC-AF+TRで動作中、フォーカスリングを動かして、マニュアルフォーカスに切り換えることができます。再度オートフォーカスを行うときは、シャッターボタンを半押しし直してください。露光中や[連写L]での連写中のマニュアルフォーカスも可能です。
--	--

クラスター表示

[AF方式]の[S-AF]でもクラスター表示が可能になりました。

[オールターゲット]で、[AF方式] (P.44)が[S-AF]、[S-AF MF]、[C-AF]、[C-AF MF]のいずれかで、[AFターゲット表示] (P.113)が[On2]のとき、AFターゲットはクラスター表示になります。ピントの合っている箇所のAFターゲットが表示されます。



📷C-AF中央スタート

カスタムメニュー (MENU → * → M1)に[📷C-AF中央スタート]が追加されました。

メニュー項目	説明
📷C-AF中央スタート	シングルターゲット以外の設定で[C-AF]、[C-AF MF]、[C-AF+TR]、または[C-AF+TR MF]でオートフォーカスするとき、最初のオートフォーカスのみ選択エリアの中央で行います。その後は、選択エリア内でオートフォーカスをします。広いエリアのAFターゲット設定と組み合わせることで、動きの激しい被写体をとらえやすくなります。

- チェックボックスに✔を付けたAFターゲットモードで動作します。
- [📷C-AF中央優先] (P.203)が設定されているときは機能しません。

📷C-AF中央優先


カスタムメニュー (MENU → * → M1)に[📷C-AF中央優先]が追加されました。

メニュー項目	説明
📷C-AF中央優先	グループターゲットの設定で[C-AF]または[C-AF MF]でオートフォーカスするとき、常に選択エリアの中央を優先してオートフォーカスを繰り返します。中央でオートフォーカスできないときは、選択エリアの周辺のAFターゲットを使います。速度は速くても、比較的動きの読める被写体をとらえやすくなります。一般的な撮影では中央優先でお使いください。

- チェックボックスに✔を付けたAFターゲットモードで動作します。

フリッカーレス撮影

カスタムメニュー (MENU → * → **02** → フリッカー低減)がカスタムメニュー (MENU → * → **01** → フリッカー低減)に変更されました。下記設定が変更・追加されました。

メニュー項目	説明
フリッカー低減	<p>[フリッカーレスLV] : 蛍光灯などの照明の環境下で発生する画面のちらつき(フリッカー)を抑えて表示します。画面がちらついて見えにくいときなどに有効です。</p> <p>[フリッカーレス撮影] : 照明のフリッカーのある環境下で撮影したときなど、明るさがばらついて写ることがあります。フリッカーによるちらつきの周期を自動的に判断して、シャッターを切るタイミングを制御します。この機能は、機械式シャッターによる撮影で有効な機能です。</p> <ul style="list-style-type: none">• [On]に設定すると、画面にFLKが表示されます。  <ul style="list-style-type: none">• 静音撮影やハイレゾショット撮影、プロキャプチャー撮影などの電子シャッターによる撮影時は動作しません。• 環境によってはフリッカーが検出できないことがあります。その場合は、通常のタイミングでシャッターが切れます。• シャッター速度が遅いときは、通常のタイミングで撮影されます。• シャッターが切れる際にタイムラグが生じたり、連写速度が低下する場合があります。

LVブースト

カスタムメニュー (MENU → * → **02** → [LVブースト])で[On2]に設定時、[LV表示速度優先]、[LV画質優先]が選択可能になりました。

LV表示速度優先	表示速度を優先します。 表示される色が正しくなかったり、画質が粗くなることがあります。
LV画質優先	画質を優先します。 暗い撮影シーンで表示のフレームレートが遅くなることがあります。

📷低感度画像処理

カスタムメニュー (MENU → ⚙️ → ④)に[📷低感度画像処理]が追加されました。ISO感度が低い設定で撮影した画像にかける、画像処理の方法を設定します。

メニュー項目	説明
📷低感度画像処理	[連写優先]：連写継続枚数に影響を与えないように画像処理をします。 [解像優先]：解像を優先した画像処理をします。

静止画再生時のコマ送り

[📷記録設定] (P.56)が[自動切換]に設定されているときは、1枚目のカードの最後と2枚目のカードの先頭は、自動的に切り換えて再生します。

カード書き込み中の動作

カード書き込み中でも、再生・設定の変更が可能になりました。

Olympus WorkspaceのRAW編集での動作

Olympus Workspace (Ver1.1以降)のRAW編集で、カメラのエンジンを使って高速処理ができるようになりました。

カメラにUSBケーブルを接続すると、USBケーブルの接続先を選択する画面が表示されるので、[🖥️PC RAW]を選択します。

メニュー一覧

*1: [カスタム登録]が登録可能な機能

*3: [リセット] (標準)で初期設定に戻る機能

*2: [リセット] (フル)で初期設定に戻る機能

機能の追加により、メニュー構成が以下のとおり変更になりました。

🔧 動画メニュー

タブ	機能	初期設定	*1	*2	*3	🔍	
🔧	🔧モード設定	🔧モード	P		✓	103	
		🔧フリッカーキャン	Off	✓	✓	195	
🔧	画質設定	🔧画質モード	MOV🔧4K 30p	✓	✓	✓	101, 103
		🔧高感度ノイズ低減	標準	✓	✓	✓	
		🔧ピクチャーモード	Off	✓	✓		
🔧	AF/手ぶれ補正設定	🔧AF方式	C-AF	✓	✓	✓	44, 52, 54, 101
		🔧手ぶれ補正	M-IS1	✓	✓	✓	
🔧ボタン/ダイヤル/レバー							
🔧	ボタン機能	Fn1 ボタン機能	[::]選択		✓		101
		Fn2 ボタン機能	マルチFn		✓		
		○ ボタン機能	🔴REC		✓		
		AEL ボタン機能	AEL/AFL		✓		
		○ ボタン機能	ピーキング		✓		
		Q ボタン機能	Q		✓		
		I/O ボタン機能	I/O		✓		
		↔ ボタン機能	ダイレクト機能		✓		
		D ボタン機能	電動ズーム		✓		
		📷 ボタン機能	ISO / WB		✓		
		B Fn ボタン機能	[::]選択		✓		
		B Fn2 ボタン機能	AEL/AFL		✓		
		PBw ◀ ボタン機能	ダイレクト機能		✓		
		PBw ▶ ボタン機能	電動ズーム		✓		
PBw ▼ ボタン機能	ISO / WB		✓				
L Fn ボタン機能	AF停止		✓				
🔧	ダイヤル機能	P	露出補正 / 露出補正		✓		
		A	露出補正 / 絞り		✓		
		S	露出補正 / シャッター速度		✓		
		M	絞り / シャッター速度		✓		
🔧Fnレバー機能			mode1		✓		
🔧シャッターボタン機能			📷		✓		
🔧電動ズーム速度			標準		✓		

10

ファームアップによる追加・変更

タブ	機能	初期設定	*1	*2	*3		
表示設定	Control表示	LVコントロール、 LVスーパーコン パネ		✓		102	
	Info表示	カスタム表示1 / カスタム表示2 (動画エフェクト 以外すべてOn)		✓			
	タイムコード 設定	タイムコードモード	DF		✓		
		カウントアップ方式	レックラン		✓		
		タイムコード値設定	0:00:00		✓		
	残量表示	分		✓	✓		
	ビューアシスト	Off			✓	201	
	ムービー録音		On	✓	✓	✓	104
	録音レベル 調整	内蔵MIC	±0		✓		
		MIC	±0		✓		
	入力リミッター		On		✓		
	風切り音低減		Off		✓		
	プラグインパワー		Off		✓		
	PCMレコー ダー接続	カメラ側録音調整	有効		✓		
スレートトーン		Off		✓			
REC同期		Off		✓	✓		
ヘッドホン音量		8		✓	✓		
HDMI出力	出力モード設定	モニターモード		✓		102	
	RECトリガー	Off		✓	✓		
	タイムコード	On		✓	✓		

☆カスタムメニュー

タブ	機能	初期設定	*1	*2	*3	👉	
☆	AF/MF						
	A1						
		AF方式	S-AF	✓	✓	✓	44, 52, 112, 202
		AF+MF	Off	✓	✓	✓	202
	AEL/AFL モード	S-AF	mode1	✓	✓	✓	112, 125
		C-AF	mode2				
		MF	mode1				
	AFスキャン		mode2	✓	✓	✓	112
	C-AF追従感度		±0	✓	✓	✓	
		C-AF中央スタート	1/2 (オールターゲット)	✓	✓	✓	203
		C-AF中央優先	5点 / 9点 / 25点	✓	✓	✓	
	A2	[:::]Mode表示設定*					
	AFターゲット表示		On1	✓	✓	✓	113
	AFターゲットパッド		Off	✓	✓	✓	
	[:::]Home登録		AFターゲットモード、 AFターゲット位置		✓	✓	
	[:::]カスタム設定		セット1	✓	✓	✓	
		[:::]mode変更		✓	✓	✓	
		⊙変更		✓	✓	✓	
		⊕Pos変更		✓	✓	✓	
		⊕Pos変更		✓	✓	✓	
	A3	AFリミッター					
	距離設定		セット1	✓	✓	✓	112
	レリーズ優先		On	✓	✓	✓	
	AFイルミネーター		On	✓	✓	✓	113
		顔優先	Q1	✓	✓		41, 113
	AF微調節		Off	✓	✓	✓	113
	A4	プリセットMF距離					
999.9 m			✓	✓	✓	114	
MFアシスト	拡大	Off	✓	✓		114, 125	
	ピーキング	Off	✓	✓			
MFクラッチ		有効	✓	✓	✓	114	
フォーカスリング		Q	✓	✓	✓		
BULB/TIME中MF		On	✓	✓	✓		
レンズリセット		On	✓	✓	✓		

* 機能名 [[:::]表示設定] を [[:::]Mode表示設定] に変更しました。

タブ	機能	初期設定	*1	*2	*3	👉	
⚙️	ボタン/ダイヤル/レバー						
	B	Fn1 ボタン機能	[::]選択				68, 114
		Fn2 ボタン機能	マルチFn				
		⊙ ボタン機能	⊙REC				
		AEL ボタン機能	AEL/AFL				
		📷 ボタン機能	📷				
		🔄 ボタン機能	🔄				
		O ボタン機能	O				
		↔️ ボタン機能	[::]				
		▶️ ボタン機能	⚡	✓	✓		
		📷 ボタン機能	📷/🔋				
		B Fn1 ボタン機能	[::]選択				
		B Fn2 ボタン機能	AEL/AFL				
		PRN ◀️ ボタン機能	[::]				
		PRN ▶️ ボタン機能	⚡				
		PRN ▼ ボタン機能	📷/🔋				
	L Fn ボタン機能	AF停止					
	PRN 🔒 ロック	Off	✓	✓		114	
	📷 ダイヤル機能	P	露出補正 / Ps				
		A	露出補正 / 絞り				
		S	露出補正 / シャッター速度	✓	✓		
		M	絞り / シャッター速度				
		Menu	◀️▶️ / ▲▼/Value				
		▶️	📷Q / コマ送り/戻し				
	ダイヤル方向	露出設定	ダイヤル1	✓	✓		
		Ps設定	ダイヤル1				
	📷 Fnレバー設定	📷 Fnレバー機能	mode1		✓		114, 126
		🔍 ボタン機能切換	Off		✓		
	Fnレバー / 電源レバー		Fn		✓		115
	📷 電動ズーム速度		標準	✓	✓		

タブ	機能	初期設定	*1	*2	*3				
	レリーズ/連写/手ぶれ補正								
		レリーズ優先S	Off	✓	✓	✓	115		
		レリーズ優先C	On	✓	✓	✓			
		L設定							
			連写速度	10fps	✓	✓	✓	115	
			枚数リミッター	Off	✓	✓	✓		
			連写速度	18fps	✓	✓	✓		
			枚数リミッター	Off	✓	✓	✓		
			連写速度	18fps	✓	✓	✓		
			プリ連写枚数	8枚	✓	✓	✓		
			枚数リミッター	On、25枚	✓	✓	✓		
		H設定							
			連写速度	15fps	✓	✓	✓	115	
			枚数リミッター	Off	✓	✓	✓		
			連写速度	60fps	✓	✓	✓		
			枚数リミッター	Off	✓	✓	✓		
			連写速度	60fps	✓	✓	✓		
			プリ連写枚数	14枚	✓	✓	✓		
			枚数リミッター	On、25枚	✓	✓	✓		
		フリッカー低減	フリッカーレスLV	オート	✓	✓		204	
			フリッカーレス撮影	Off	✓	✓			
			手ぶれ補正	S-IS AUTO	✓	✓	✓	54, 115	
			連写中手ぶれ補正	連写速度優先	✓	✓		115	
			半押し中手ぶれ補正	On	✓	✓			
			レンズ手ぶれ補正優先	Off	✓	✓	✓		
		表示/音/接続							
			Control表示	iAUTO	ライブガイド	✓	✓	116, 126	
			P/A/S/M	LVスーパーコンパネ	✓	✓			
			ART	ARTメニュー	✓	✓			
		Info表示設定		Info	表示Off、総合表示	✓	✓	116, 128	
				Q Info	すべてOn		✓		
				LV-Info	表示Off、カスタム表示1 (ヒストグラム表示)、カスタム表示2 (水準器)	✓	✓		
				表示	25、クリップスビュー、カレンダー表示	✓	✓		
		ピクチャーモード表示	すべてOn		✓	✓			
		表示設定		表示設定				Pro CapH、	116
		マルチFn表示設定		以外すべてOn	✓	✓			

10

ファームアップによる追加・変更

タブ	機能		初期設定	*1	*2	*3		
⚙️	D2	LVブースト	M	On1			116, 204	
			BULB/TIME	On2				
			COMP	Off	✓	✓		✓
			その他	Off				
		アートLVモード		mode1	✓	✓		
		フレームレート		標準	✓	✓		✓
		LV拡大設定	LV拡大モード	mode2	✓	✓		
			LVブースト	Off	✓	✓		
	再生拡大倍率設定		前回倍率	✓	✓		194	
	プレビュー設定	ロック	Off	✓	✓		117	
		LVブースト	Off	✓	✓			
	D3	ガイド線表示 設定	表示色	プリセット1	✓	✓	117	
			表示罫線選択	Off	✓	✓		
			EVF反映	On	✓	✓		
ピーキング 表示		ピーキング色	赤			117		
		ピーキング レベル	標準	✓	✓			
		ピーキング背景 の輝度調整	Off					
ヒストグラム 警告設定		ハイライト表示	255	✓	✓	117, 130		
		シャドウ表示	0					
モードガイド表示		Off	✓	✓				
自分撮りアシスト		On		✓				
D4	電子音		On	✓	✓	✓	118	
HDMI	出力サイズ	HDMI出力	1080p優先		✓	118, 131		
		HDMIコント ロール	Off		✓			
	出力フレーム レート	60p優先						
USB接続モード		オート		✓	✓	118		
露出/ISO/BULB/測光								
E1	露出ステップ		1/3EV	✓	✓	✓	118	
	ISO感度ステップ		1/3EV	✓	✓	✓		
	ISOオート 設定	上限/基準値設 定	上限値：6400 基準値：200	✓	✓	✓		
		低速限界設定	オート	✓	✓	✓		
	ISOオート有効		All	✓	✓			
	高感度ノイズ低減		標準	✓	✓	✓		119
低感度画像処理		連写優先	✓	✓	✓	205		
長秒時ノイズ低減		オート	✓	✓	✓	119		

タブ	機能		初期設定	*1	*2	*3	👉	
⚙️	E2	BULB/TIMEリミッター	8分	✓	✓	✓	119	
		BULB/TIME輝度設定	-7	✓	✓			
		ライブBULB設定	Off	✓	✓			
		ライブTIME設定	0.5秒	✓	✓			
		コンボジット撮影設定	1秒	✓	✓		31, 119	
	📷フリッカースキャン	Off	✓	✓	✓	195		
E3	測光		☀️	✓	✓	✓	46, 52, 119	
	AEL測光モード		オート	✓	✓	✓	119	
	[L]連動スポット測光	スポット	On	✓	✓	✓		
		ハイライト	On	✓	✓	✓		
		スポットシャドウ	On	✓	✓	✓		
	露出基準調整	☑️	±0	✓	✓		118	
📷								
📹								
フラッシュ								
F	⚡同調速度		1/250	✓	✓	✓	120, 132	
	⚡低速制限		1/60	✓	✓	✓		
	🔗+🔗連動		Off	✓	✓	✓	40, 61, 120	
	⚡+WB連動		WB AUTO	✓	✓		120	
画質/WB/色								
G	画質設定		👉-1 F、👉-2 N、👉-3 N、👉-4 S N	✓	✓	✓	120, 132	
	ピクセルサイズ	Middle	3200 × 2400	✓	✓	✓		
		Small	1280 × 960					
	シェーディング補正		Off	✓	✓	✓	120	
	WBモード		オート	A±0、G±0	✓	✓	✓	43, 53, 120
	全WBモード補正	All Set	—	✓	✓		120	
		All Clear	—					
	WBオート 電球色残し		On	✓	✓	✓	120, 200	
カラー設定		sRGB	✓	✓	✓	67, 121		


タブ	機能		初期設定	*1	*2	*3		
	記録/消去							
	H1	カードスロット設定	記録設定	標準	✓	✓		121, 133
			記録スロット	①	✓	✓		
			記録スロット	①	✓	✓		
			スロット	①	✓	✓		
			記録フォルダ指定	指定しない	✓	✓		
		ファイルネーム	リセット	✓	✓		121	
		ファイルネーム編集	—	✓	✓			
		dpi設定	350dpi	✓	✓			
		著作権情報	著作権情報記録	Off	✓	✓		122
			撮影者入力	—				
	著作権者入力		—					
	レンズ情報登録*	Off		✓		122, 134		
	H2	ワンタッチ消去	Off	✓	✓	✓	122	
	RAW+JPEG消去	RAW+JPEG	✓	✓	✓			
	実行優先設定	中止優先	✓	✓	✓			
	EVF							
	I	EVF自動切換設定		On		✓		123
		EVF調整	EVF自動調光	On		✓		
			EVF調整	☺±0、☹±0		✓		
EVF表示スタイル		スタイル3		✓		123, 135		
Info表示設定		基本情報表示、 カスタム表示1（ヒストグラム表示）、 カスタム表示2（水準器）	✓	✓		123		
EVFガイド線表示設定		表示色	プリセット1	✓	✓			
		表示野線選択	Off	✓	✓			
半押し中水準器表示		On	✓	✓				
OVFシミュレーション		Off	✓	✓	✓			

* 個別のレンズ情報は【リセット】（フル）や【リセット】（標準）でも、初期設定には戻りません。

タブ	機能	初期設定	*1	*2	*3	👁		
⚙	その他							
	[1] ピクセルマッピング	—				123, 161		
	ボタン長押し 時間調整	LV拡大枠/ 拡大表示	0.7秒	✓	✓		123	
		LV拡大枠位置	0.7秒	✓	✓			
			0.7秒	✓	✓			
		 拡大枠	0.7秒	✓	✓			
		露出補正值	0.7秒	✓	✓			
		 設定値	0.7秒	✓	✓			
		 設定値	0.7秒	✓	✓			
		 設定値	0.7秒	✓	✓			
		AFターゲット 位置	0.7秒	✓	✓			
		EVF自動切換 設定	0.7秒	✓	✓			
		再生拡大枠/ 拡大表示	0.7秒	✓	✓			
		 	0.7秒	✓	✓			
		スレートトーン	0.7秒	✓	✓			
		デジタルシフト	0.7秒	✓	✓			
		デジタルシフト 設定値	0.7秒	✓	✓			
		 ロック	0.7秒	✓	✓			
		BKT撮影	0.7秒	✓	✓			
		フリッカース キャン	0.7秒	✓	✓			
	水準器調整	—		✓				
	タッチパネル設定	On		✓				
	メニューカーソル保持	記憶する		✓	✓			
	フィッシュアイ補正撮影	Off		✓	✓			
	[2] 電池設定	使用順序設定	PBH側優先	✓	✓		124	
			ステータス表示	—	✓	✓		
		バックライト時間	Hold	✓	✓	✓		
		スリープ時間	1分	✓	✓	✓		
		自動電源Off	4時間	✓	✓	✓		
		低消費電力撮影	バックライト 時間	8秒	✓	✓		
			スリープ時間	10秒				
Eye-Fi 設定			On		✓			
認証マーク表示	—							

ファームウェア Ver3.2の追加・変更機能

EVF自動切換設定

カスタムメニュー（MENU → * →  → [EVF自動切換設定]）で[On1]、[On2]が選択可能になりました。




メニュー項目	説明
EVF自動切換設定	<p>[Off]：ファインダーに目を近づけても表示は切り換わりません。表示を切り換えるには O ボタンを押します。</p> <p>[On1]：ファインダーに目を近づけると自動的に表示を切り換えます。 O ボタンを長押しすると[EVF自動切換設定]の設定画面を表示します。</p> <p>[On2]：ファインダーに目を近づけると自動的に表示を切り換えます。モニターを開いているときは、表示は切り換わりません。 O ボタンを長押しすると[EVF自動切換設定]の設定画面を表示します。</p>

初期設定

新機能の初期設定および初期設定が変更された機能は以下の通りです。

- *1：[カスタム登録]が登録可能な機能
- *2：[リセット]（フル）で初期設定に戻る機能
- *3：[リセット]（標準）で初期設定に戻る機能

★カスタムメニュー

タブ	機能	初期設定	*1	*2	*3	
 	EVF自動切換設定	On1		✓		123

索引

アイコン

(水中ワイド/水中マクロ).....	69
(言語切り換え).....	110
Home登録.....	113
カスタム設定.....	113
(顔優先AF).....	41
L設定.....	115
H設定.....	115
Info表示設定.....	123
/Info表示設定.....	128
/・/+/#表示設定.....	113
/心表示設定.....	116
同調速度.....	132
低速制限.....	132
+ 連動.....	120
+WB連動.....	120
RCモード.....	156
コントロール (カメラコントロール).....	118
(インデックス再生).....	81
(クローズアップ再生).....	81
(1コマ消去).....	84
(画像選択).....	84

英数

1コマコピー.....	83
A (絞り優先撮影).....	27
ACアダプター.....	154
AdobeRGB.....	67
AEL/AFLモード.....	125
AEL測光モード.....	119
AEロック.....	46, 69, 125
AFイルミネーター (AF補助光).....	113
AFスキャン.....	112
AFターゲット選択.....	41
AFターゲット設定.....	40
AFターゲットパッド.....	113
AFターゲット表示.....	113
AF微調節.....	113

AF方式.....	44, 52
ムービー.....	101
AFリミッター.....	112
ART (アートフィルター).....	34
BKT (ブラケット撮影).....	93
BULB.....	30
BULB/TIME輝度設定.....	119
BULB/TIME中MF.....	114
BULB/TIMEリミッター.....	119
C-AF.....	44
C-AF+TR.....	44
C-AF追従感度.....	112
Control表示	
静止画.....	116, 126
ムービー.....	102
dpi設定.....	121
DPOF.....	147
EVFガイド線表示設定.....	123
EVF自動切換設定.....	123
EVF調整.....	123
EVF表示スタイル.....	135
Exif情報.....	122
Eye-Fi 設定.....	124
Fn レバー機能	
静止画.....	114
ムービー.....	101
GPSログ.....	139
HDMI.....	118, 131
HDMI出力.....	102
HDR撮影.....	50, 96
Home登録 (Home登録).....	113
iAUTO ().....	32
INFO.....	23, 79, 126
Info表示設定	
/Info表示設定.....	128
Info表示設定.....	123
ISOオート設定.....	118
ISOオート有効.....	118
ISO感度.....	43, 52

ISO感度ステップ	118
JPEG編集	107
LIVE TIME	30
LV-Info	129
LV拡大設定	117
LVスーパーコンパネ	51
LVブースト	116
M (マニュアル撮影)	29
MFアシスト	125
MF切換	69
MF (マニュアルフォーカス)	44
[∴]カスタム設定	113
OI.Share	136
OLYMPUS Viewer 3	143
OVFシミュレーション	123
P (プログラム撮影)	26
PictBridge	145
PreMF	45
Ps (プログラムシフト)	26
RAW	57
RAW+JPEG消去	122
RAW編集	106
RCモード(⇓ RCモード撮影)	156
S (シャッター優先撮影)	28
S-AF	44
S-AF+MF	44
SDカード	150
フォーマット(初期化)	111
sRGB	67
USB接続	142
USB接続モード	118
WBオート電球色残し	120
WB (ホワイトバランス)	43
Wi-Fi設定	140
あ	
アートLVモード	116
アートフィルター	34
アートフェード*	38
アクセサリ	157
アスペクト比設定	55
圧縮率	57, 132, 151

位置情報	139
印刷	145
インストール	143
インターバル撮影	92
インデックス再生	81, 129
オールドフィルム	38
音声録音	
静止画	85
ムービー	105
音量調整	82

か

カード	15, 150
カードスロット設定	133
カードセットアップ	111
階調	64
回転	81
回転再生	106
ガイド線表示設定	117
顔優先AF	41
拡大枠AF	42
画質設定	132
静止画	120
ムービー	103
画質モード	
静止画	57
ムービー	103
カスタム設定([∴]カスタム設定)	113
カスタム登録	89
カスタムメニュー	112, 172
画像合成	108
画像サイズ	151
静止画	57, 132
ムービー	58, 103
画像転送	138
画像編集	106
カメラコントロール	118
画面表示	20
再生時	78
カラークリエーター	73
カラー設定	67, 121
カレンダー再生	81, 129

記録スロット	133
記録設定	133
記録フォルダ指定	133
クイック撮影	77
クローズアップ再生	81
ケーブルクリップ	13
言語切り換え	110
言語設定 (●/☺)	110
効果	66
高感度ノイズ低減	119
交換レンズ	152
合焦音(電子音)	118
コンティニユアスAF	44
コントラスト	63
コンポジット撮影設定	119

さ

再生	
静止画	80, 81
ムービー	80, 83
再生スロット	133
再生メニュー	106, 171
彩度	64
撮影	
静止画	24
ムービー	38
撮影確認	110
撮影可能枚数	151
撮影メニュー	88, 168
撮影モード	24
シェア予約	84
シェーディング補正	120
実行優先設定	122
自動電源Off	124
自分撮りアシスト	130
絞り優先撮影(A絞り優先撮影)	27
シャープネス	63
シャッター優先撮影 (Sシャッター優先撮影)	28
充電	13

消去	
1コマ消去	84
全コマ消去	111
選択コマ消去	84
初期化	111
シングルAF	44
水準器	23
水準器調整	123
水中ワイド/水中マクロ (☒/☑)	69
スーパーコンパネ	51
スーパースポットAF(拡大枠AF)	42
ストレージ	142
スマートフォン接続	136
スライドショー	82
スリープ時間	18
スロー撮影	77
静音撮影	48, 99
静止画切り出し	108
セットアップメニュー	110, 171
セルフタイマー	47, 55, 91
全プロテクト解除	109
全WBモード補正	120
全コマコピー	109
専用フラッシュ	155
測光	46, 52
ソフトウェア	143

た

タイムコード設定	102
タイム撮影	30
タイムラプス動画	92
ダイヤル機能	
静止画	114
ムービー	101
ダイヤル方向	114
多重露出	97
タッチAF	36
タッチパネル	36, 86
タッチパネル設定	123
縦横比設定(アスペクト比設定)	55
試し撮り撮影	69
長時間露出(BULB/TIME)	30

調色	66	ヒストグラム警告設定	117
長秒時ノイズ低減	119	ヒストグラム表示	23
著作権情報	122	ビットレート	103
追尾AF	44	瞳優先AF	41
低消費電力撮影	124	ファイル形式	151
低振動撮影	48, 99	ファイルサイズ	151
低速制限	132	ファイルネーム	121
デジタルシフト撮影	98	ファイルネーム編集	121
デジタルテレコン	90	フィルター効果	65
手ぶれ補正	54	フォーカスマード(AF方式)	44
ムービー	101	フォーカスリング	114
テレビ	131	フォーマット	111
電子音	118	ブラケット撮影	93
電池残量	18	フラッシュ	59
電動ズーム	71	フラッシュ低速制限	132
電動ズーム速度		フラッシュ同調速度	132
静止画	115	フラッシュ補正	61
ムービー	101	プリセットMF	45, 114
動画エフェクト	38	フリッカー低減	117
動画メニュー	101, 169	プリンター	145
同調速度	132	プリント	145
トリミング	109	フレームレート	104, 116
な		プレビュー	69
日時設定	19	プレビュー設定	117
は		プロキャプチャー撮影	49
バージョン	110	プログラム撮影(Pプログラム撮影)	26
ハイダイナミックレンジ		プログラムシフト	26
(HDR)撮影	50, 96	保護(プロテクト)	83
ハイライト&シャドウコントロール	67	補助光(AFイルミネーター)	113
ハイレゾショット	49, 100	ボタン機能	68
パソコン	142	ムービー	101
バックライト時間	124	ボタン長押し時間調整	123
バルブ撮影	30	ホワイトバランス	43, 53
パワーバッテリーホルダー	153	ホワイトバランス補正	53
半押しし手ぶれ補正	115	ま	
ピーキング	70, 125	マイクリップス	74
ピクセルサイズ	120, 132, 151	マニュアル撮影(Mマニュアル撮影)	29
ピクセルマッピング	161	マニュアルフォーカス(MF)	44
ピクチャーモード	62, 90	マルチFn	70
ピクチャーモード表示	116	マルチFn表示設定	116
		マルチエコー	38

マルチファンクション	71
ムービー効果(動画エフェクト)	38
ムービー再生	83
ムービー撮影	37
ムービーテレコン	39
ムービーモード	103
ムービー録音	104
無線LAN	140
メニュー	87, 168
メニューカーソル保持	123
モードガイド表示	117
モニター調整	110

や

ユーザー登録	143
--------------	-----

ら

ライトボックス表示	128
ライブBULB/TIME設定	119
ライブガイド	32
ライブコントロール (LVコントロール)	127
ライブコンポジット撮影	31
リセット	88
リモート撮影	138
レバー機能	126
レリーズ優先	115
連写	47, 55
連写中手ぶれ補正	115
レンズ情報登録	134
レンズ手ぶれ補正優先	115
レンズリセット	114
連動スポット測光	119
録音(静止画)	85
録音設定(ムービー)	104
露出基準調整	118
露出ステップ	118
露出補正	40

わ

ワイヤレスRCフラッシュ	156
ワンショットエコー	38
ワンタッチWB	69
ワンプッシュ消去	122

発行日 2016.8.

OLYMPUS

オリンパス株式会社

● インターネットでの情報入手

<https://olympus-imaging.jp/>

製品仕様、パソコン接続、OS 対応、Q&A などの各種最新情報は、
オリンパスホームページで簡単にご確認いただけます。
上記 URL より [サポート / ダウンロード] のページへお進みください。

● 電話でのお問合せ（オリンパスカスタマーサポートセンター）



0570-073-000

ナビダイヤル

* 携帯電話・PHS からのご利用になれます。

FAX 042-642-7486

* 調査等の都合上、回答までにお時間をいただく場合がありますので、ご了承ください。

営業時間：平日および土曜・日曜・祝日 9:30 ~ 18:00

* 年末年始、システムメンテナンス日はお休みさせていただきます。

※記載内容は変更されることがあります。